



大阪市立大学 同窓会報

有恒

yuko

2021 january vol.21

●有恒会(商・経・法・文・創 同窓会) ●理学部同窓会 ●工学部同窓会 ●医学部同窓会 ●生活科学部同窓会 ●よつば会(看護系同窓会)



住吉大社「太鼓橋」

「大阪公立大学」開学特集

初代学長予定者インタビュー

辰巳砂 昌弘氏

「新大学への期待」メッセージ

吉村洋文 大阪府知事

松井一郎 大阪市長

西澤良記・公立大学法人大阪 理事長

経済3団体(会長・会頭・代表幹事)

Osaka City University Alumni



 HANWA CO., LTD.

ロケ地：オオサカホイール（日本最大級の高さ123m。全ゴンドラがシースルー。設計・制作、阪和興業。）

ハートを動かす、商社へ。

鉄鋼を中心に、金属原料、非鉄金属、食品、
石油・化成品、木材、機械など。
私たちは、世界中の「モノ」を動かしながら、
その先にある感動をうみだすことを心がけています。

STEADY SPEEDY STRATEGIC
SUSTAINABLE な収益体質と経営基盤の強化

 阪和興業株式会社

目 次

新年のご挨拶	大阪市立大学 同窓会 会長・有恒会 会長	岡本直之	2
新年挨拶	大阪市立大学 学長	荒川哲男	
新年のご挨拶	大阪市立大学 前同窓会会長	児玉隆夫	
各学部同窓会長新年のご挨拶			3
	(理)会長 三木久巳、(工)会長 宇野勝久、(医)理事長 生野弘道、(生)会長 小西洋太郎、(看)会長 朽木悦子		
「大阪公立大学」開学特集			4
	辰巳砂昌弘学長予定者インタビュー 市・府・関経連・同友会・商工会議所などTOPメッセージ「新大学への期待」		
市大偉人列伝 野村徳七 野村證券の創業者			9
新大学設置に向け東奔西走の公立大学法人大阪	理事	田頭吉一	10
特別インタビュー「ざっくばらん」	写真映像作家	松井みさき	12
大阪市立大学 経済学部 斎藤幸平 准教授に「テレワークとコロナ禍の経済」について聞く!			14
コロナ、遠隔授業、そして「新しい生活様式」についての雑感	大阪市立大学文学研究科准教授	古賀哲男	16
新型コロナウイルスの感染拡大に寄せて 其の二		田中祐尾	18
市大OB・OG紹介 正義感強く美しい、トランスジェンダーの弁護士 仲岡しゅん			20
市大OB・OG紹介 日中の架け橋としての熱い思い!	日中福祉プランニング代表	王 青	21
宇宙の始まりは?宇宙の果ては? 素粒子の究極理論を目指す		森山翔文	22
大阪医史蹟巡り ⑤ウイルスと戦った人たち		田中祐尾	24
学園だより			26
	大学ニュース 就職活動状況について/留学生インタビュー/杉本キャンパス公式キャラクター「杉本カメイチ」が誕生/夢基金で緊急支援給付金制度などを実施		
	クラブ紹介 大阪市立大学交響楽団/スキー・スノーボード部/学生団体 結丸		
同窓会ニュース			29
	同窓会定期総会/戦没学友の碑 献花の集い/OCUSA会長新任のご挨拶/大学統合に対するOCUSAの対応/創都会 会長 新年のごあいさつ/新型コロナウイルス感染症の対応の日々/『新・五代友厚伝』出版記念碑建立披露式典 開催/生活科学部の新型コロナウイルス感染症への取り組み/工学部同窓会の「COVID-19困窮学生」支援/女性部会(WPC) からのお知らせ/大学院創造都市研究科の歴史(下)		
論壇随想			34
	三木露風童謡「赤とんぼ」の歌詩について思うこと/東日本大震災から10年~復興から再生へ大きく前進~/記録を残し、記録を楽しむ/コロナについての考察/変われ!変わろう!雲雀丘学園の7年/岩崎弥太郎と生活科学部/旧三商大対抗 討論会の思い出		
同窓短信			39
	木水 勲(法昭54卒)/嘉村雅彦(商昭57卒)/高林真理子(文平27卒)/西仲 桂(法昭59卒)/村上啓次(商昭47卒) /梅村晋一(法昭55卒)/高橋美子(生昭50卒)/江尻加奈子(看平4卒)/洲鎌 亮(医平12卒)		
支部だより			42
	「地域に生きる同窓会」②愛知支部/大阪南支部/台湾支部/シンガポール支部/香港支部/ニューヨーク支部/支部 連絡先一覧表		
会員のひろば	陸上競技部創部100周年記念誌を発刊いたしました		47
読者の声	門口武史(商昭45卒)		48
読者の作品	梅村晋一(法昭55卒)/伴 享子(看昭35卒)		49
同窓生の図書紹介			50
追悼のことば			52
事務局のお知らせ			54
投稿規定・編集後記			56

新年おめでとうございます



大阪市立大学同窓会 会長
有恒会 会長

岡本直之

明けましておめでとうございます。同窓生の皆様方におかれましては、ご家族共々麗しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年11月3日の大阪市立大学同窓会総会にて、凶らずも不肖私が第2代会長に就任させていただくこととなりました。初代会長の児玉隆夫先生には2012年11月より8年間の長きにわたり、大学・在校生支援ばかりでなく、支部ネットワーク拡大・支部全学化推進、五代友厚像建立、同窓会会報「有恒」発行、『新・五代友厚伝』出版等々ご尽力されましたことに対し、あらためて心からの謝意を表したいのであります。

来年2022年4月には大阪市立大学と大阪府立大学が統合し、世界レベルを目指す大阪公立大学(仮称)が誕生します。両大学の同窓会につきましては、二つの同窓会が融合する大阪公立大学同窓会(仮称、以下新大学同窓会)の新設を両大学当局と連携しながら検討しております。本年の役員会(4月)、総会(6月)での新大学同窓会発足、新大学同窓会則承認を経て、来年4月新大学同窓会に在学学生全員が加入する予定となっております。

まずは両大学同窓会の優れたノウハウを融合させながら、幅広い年代層にまたがる会員の増強を目指して会員の組織化、ネットワークづくりを進めたいと思います。また、ウィズコロナ時代に合わせて地域に根付いた支部活動の定着・活性化、一部同窓会組織の運営体制の見直し、そして新大学同窓会財政基盤が確固たるものになるよう努力してまいります。

ところで昨年は大学設立140周年でしたが、コロナ禍で各種行事が中止となりました。特に1回生はリモート講義のため、キャンパスを訪れることがほとんどなかったと聞き及んでおります。コロナ収束の折には大学、教育後援会及び全学同窓会が一体となって、大阪市立大学に入って良かったと思ってもらえるような新生ウエルカム行事ができるよう各同窓会総力を挙げて協力していきたいと思っております。時運に即応し、堅実に発展を図ることが私の責務であると思っております。

皆様にとりまして、実り多き一年となるとともに同窓会にとってさらなる飛躍の年になるよう祈念申し上げご挨拶といたします。

新年挨拶



大阪市立大学 学長
荒川哲男

皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は、年明けから未曾有のコロナ禍に見舞われ、生活様式の変革を余儀なくされる1年となってしまいました。

これをネガティブに捉える人は多いと思います。しかし、一生に1度経験するかないかの貴重な時期を過ごしたと考えることもできます。オンライン技術が進み、現場に行くことが学業・仕事であった時代から、いつでも、どこからでも学業・仕事ができることが実証できたことは大きな成果でした。

また、一方で、人間社会にとって、対面によるコミュニケーションがいかに大事かを思い知らされたことも事実です。このことは、自然科学優位のアルゴリズムの世界への警告かもしれません。アート・人文科学の価値を再認識するよい機会にもなったと感じます。

今年度は、本学にとって140周年ですが、想定外の状況となり、140周年募金に「新型コロナウイルス感染症と闘うためのご寄附(学生救済、研究支援、医療支援)」を追加募集したところ、令和2年9月10日の時点で600件を超える支援(4480万円)をいただきました。さっそく活用させていただきました。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



大阪市立大学 前同窓会 会長
児玉隆夫

卒業生の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年の春以来続いておりますコロナ禍のため、社会の活動は大きな変革を余儀なくされました。今後ともしばらくはこの試練の時を過ごさなければならないようです。

さて、私は全学同窓会発足より8年間にわたり会長を務めさせていただきましたが、昨年の総会をもちまして退任いたしました。今後は相談役として岡本直之新会長のもとでお手伝いをさせていただきます。

最初はタブロイド判で発行しました会報も有恒会のご理解により全学同窓会報「有恒」として全ての卒業生にお届けできるようになりましたし、同窓会のホームページやメールマガジンも充実してきました。また、この間、五代友厚の銅像建立、大学の夢基金への協力、『新・五代友厚伝』の発行、およびコロナ禍のため「困窮する学生への支援のお願い」など、何度も卒業生の皆さんに寄付のお願いをいたしましたが、そのたびに温かい支援をいただき、無事にこれらの事業を進めることができました。あらためて皆様のご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

大学および同窓会は来年に迫りました府大との統合で大きな変革を迎えます。今後とも同窓会への協力の程をよろしくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございます



理学部同窓会 会長
三木久巳(理博昭55修)

皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年3月から新型コロナがまん延し、全学同窓会活動も理学部同窓会活動もほとんど止まった状態

です。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年こそ新型コロナが緩和し、同窓会活動が活発化することを祈るだけです。2022年4月1日から大阪公立大学の第1期生が入学します。理学部同窓会としても、市大と府大の同窓会の一体化を進め、皆様と共に前進していきますので、ご協力をお願いします。



工学部同窓会 会長
宇野勝久(工院昭51修)

工学部同窓会は、昨年創立60周年を迎えました。しかし、新型コロナウイルス禍という大きな試練にさらされました。このような状況下で、新型コロナ

ウイルス禍の影響により経済的困窮状態に陥っている工学生への支援として「COVID-19困窮OCU工学生支援制度」が創設され、工学部同窓会は、現有資金や教員・卒業生からの新たな募金により、大学へ数百万円の寄付をさせていただきました。

今後とも、同窓会活動の大きな柱として、大学へ様々な支援活動を継続していきたいと考えています。



医学部同窓会 仁滯会 理事長
生野弘道(医昭44卒)

新大学の名称、学長予定者も決まり初めての新年にご挨拶申し上げます。都構想の結果に関わらず府大と市大の統合は既に府大の辰巳砂昌

弘学長予定者のもとで着々と進み、2025年には森之宮学舎の新設も決まっております。

市大医学部からは早くから西澤良記氏(昭45卒)が統合の実行委員長として、また荒川哲男氏(昭50卒)が市大大学長としての基礎固めに専念したことは周知のとおりです。新型コロナウイルスのまん延に全てが停滞した昨年の9カ月でしたが、本年もまた恐らくさほど進展しない状況に、一人大阪市の真ん中で日々多数の診療に当たる医学部には「コロナウイルス・ワクチンとその特効薬」の研究成果に熱い期待が寄せられています。他大学や研究機関と連携し一刻も早い成果が待たれます。新大学のすべての人々の熱い支援を望みます。



生活科学部同窓会 会長
小西洋太郎(生院昭50修)

あけましておめでとうございます。平素は生活科学部同窓会の活動にご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。昨年生活科学部は創立70周年を

迎え、記念誌を発行しました。しかし、予定した記念祝賀会は新型コロナ禍の影響で先延ばしとなり、記念講演会はオンライン方式で実施しました。

昨年来、私たちの行動や生活様式を大きく変えた新型コロナウイルスの出現は、人類が生物界の頂点にあるという考えを打ち砕いたと言えるでしょう。ゲリラ豪雨や巨大台風の発生と同様に、人類が地球環境に負荷を与え続けてきたことの倍返しかもしれません。私たちは今一度地球環境を謙虚に見つめ直すべきではないでしょうか。

2022年に誕生する新大学構想によると、生活科学部・生活科学研究科はそのまま継続されますが、食品栄養科学科の場合、府大総合リハビリテーション学類栄養療法学専攻(いずれも管理栄養士養成施設)との統合によって、学生定員が倍増します。25年予定の森之宮キャンパスへの移転まで期間中、仮に既存の施設を利用することになると、新入生は杉本と羽曳野キャンパスに分かれて授業を受ける事態になってしまい、混乱が予想されます。新大学12学域・学部、15研究科が同時に無事にスタートできることを願っています。



看護系同窓会よつば会 会長
朽木悦子(看昭51卒)

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症に明け暮れ、私たち看護職にとっても試練の年でした。

防護服で患者さんに対応したり、保健所等では接触者調査や相談など、緊張の日々。第一線で奔走する姿に、医療従事者への感謝も多く聞かれ、また、新たな仕事のあり方も模索する機会となりました。今年はワクチンや有効な治療薬により、感染をコントロールできることを願っています。

新大学の設立に伴い、よつば会のあり方も検討していきたいと思っております。

皆様の今年一年のご健康とご活躍を祈念しております。

「大阪公立大学」 開学特集

開学特集
第一弾

大阪をけん引する「知」の拠点、世界の高度研究型大学を目指す大阪市立大学と大阪府立大学の統合新大学の名称が昨年6月、大阪府、大阪市、公立大学法人大阪の3者で検討の結果、「大阪公立大学」に決定、同年9月には推薦募集の結果、初代学長予定者に大阪府立大学学長の辰巳砂昌弘氏が選ばれました。これらを踏まえ同法人は翌10月に文科省に新大学の設置認可を申請、順調に行けば今年8月には認可される見通しで、正式に「大阪公立大学」としてスタートします。そこでいよいよ来春に開学する新大学の「開学特集第一弾」として新学長のインタビューのほか、「新大学に期待する」をテーマに行政、経済界代表の方々のメッセージを掲載します。

辰巳砂 新大学学長インタビュー

来春開学する大阪市立大学と大阪府立大学の統合新大学「大阪公立大学」の初代学長に辰巳砂昌弘・大阪府立大学学長が就任されることが決まりました。「大阪発グローバルに発展する高度研究型大学」を目指す辰巳氏。「10年をめぐりに世界大学ランキング200位以内も視野に」と意欲は尽きない。日本化学会賞などを受賞された研究者の半面、テニスやバドミントン、軟式野球などにも親しみ、少数意見も重んじるフェアな活動派。日本最大の公立大学をどうけん引されるのか、インタビューさせていただいた。

(聞き手は小林俊介・有恒会副会長)



『「チーム学長」として市大、府大のみなさんと一緒に新大学をつくっていききたい』とにこやかに語る辰巳氏（手前は小林副会長）

「チーム学長」で一緒に新大学をつくる

一まずは注目される大阪公立大学の初代学長に就任されることになった感想をお聞かせください。

辰巳砂 私にとって背負えないほどの重責を担うことになったというのが率直な感想です。少子化で我が国の大学統合が進んでいるとはいえ、その中でもこれまで全く前例のない大きな統合で、身の引き締まる思いです。ただ、私個人としては微力ですが、学長の仕事はチーム戦と思っているので「チーム学長」として、市大、府大のみなさんと一緒に新大

学をつくっていく。任期の3年間は新しい大学の進むべき方向性の基礎を築くことにまい進したいと考えています。

一当面、開学の2022年から25年までの3年間は実質的には旧大学との共存となりますね。

辰巳砂 そうですね。旧大学そのものは、22年春で新生入は入ってこなくなります。しばらくの間は旧大学の学生の方が多い状態で推移します。しかし次第に新大学生の割合が増えてくるというイメージです。その過渡期をスムーズに移行することが重要ですが、旧大学の学生は、入っ

た大学で卒業していくわけですので、卒業式などでは学生に寄り添っていかなければならないと思っています。

一方で、3つ大学が併存していることをメリットと捉え、この多様性がある場合こそ様々な新しい試みに挑戦できると考え、それを最大限に生かしていきたい。また、2025年の大阪・関西万博では新大学の存在感を示し、そのレガシーを森之宮に引き継いでいきたいと思っています。

駅からキャンパスまで架け橋を

—その新大学のメインキャンパスとなる森之宮地区ですが、どのようにして「都心キャンパス機能」を実現するのか、お聞かせください。

辰巳砂 2025年に第1期の森之宮キャンパスができ、同時に杉本、阿倍野、中百舌鳥などのキャンパスの改修や整備を粛々と行っていきたい。またスマートシティ計画も含めた森之宮地区周辺のまちづくり計画ですが、大阪城東部地区のまちづくりに関する会合において大きな絵が描かれた状況です。それはイノベーションフィールドシティと呼ばれており、大学がコアとなり拠点となってまちを作っていくという構想です。そのまちづくりを学生らが体験し、実証していくという計画です。

この計画の中で私がぜひ実現したいと思っているのがJR大阪城公園駅からキャンパスまで橋を架けることです。いわゆるデッキですが、いろんなアイデアが出ており、例えば鉄道好きな人が集まるカフェができるなど世界中の人から「これはすごい」と思われるような橋を架けたい。ただこの橋はJRの操車場などがある関係で2025年の万博が終わるまでは手が付けられないので、建設は25年以降になりますが、地区全体の将来形も含めて、こんな素晴らしいまちができるんだよと、できるだけ早く学生たちに示してモチベーションを上げていきたいと思っています。

大阪発グローバルに発展する高度研究型大学

—大阪公立大学は名前の通り大阪色が強いと思われがちですが、世界への発信を考えると東京、首都圏への情報発信も必要と思います。

辰巳砂 新大学の基本構想ではその役割として大阪が抱える都市課題の解決や大阪の産業の競争力強化が上っており、大阪のためにあるというのは当然ですが、私は大阪のためだけの大学が本当に皆さんから信頼される大学になり得るかというところではないと思っています。

新大学は大阪をけん引する「知」の拠点と位置づけていますが、私が考えていることを言葉で言えば「大阪発グローバルに発展する高度研究型大学」となります。つまり大阪だけでなく世界から認められる研究大学として立たなければならない。旧帝大7校に早稲田、慶応、東工大、筑波大を加えた「リサーチユニバーシティイレブン」(※)

に、将来、ぜひ食い込みたい。この気概で打って出なければ世界大学ランキングで200位以内は目指せないと思います。

※研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学(Research University)による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアム

—具体的にどのようにして世界大学ランキング200位を目指しますか。

辰巳砂 様々な大学が様々な戦略でランキングを上げようとしていますが、海外の人たちのサポートを得るような仕掛けや全教員が国際会議などに出かけるときに大学の広報をしていくことも必要でしょう。しかし、大きい大学であればあるほど小手先では順位は上がらない。本質的には実力を上げていく以外にない。

学生数が1万6000人となると皆さんの研究力や教育力を本当に上げていかないと絶対に上がらない。大変なことですが、論文の引用数向上や留学生の誘致、若手の研究環境の整備など地道に取り組み、良い研究者、教育者が集まってくるような体制を作っていきたい。10年をめぐりに取り組んでいこうと思っています。



「大阪発グローバルな高度研究型大学を目指したい」と熱い思いを吐露する辰巳砂氏=いずれも大阪府立大学で

—いよいよ開学まであと1年。開学後も行政、経済界の協力も必要と思いますが、いかがでしょうか。

辰巳砂 もちろん行政、経済界にはぜひともバックアップしていただきたい。単に2つの大学が1つになるだけでなく、新大学では府市のデータを扱うデータマネジメンセンターを使うなど、大阪という地域だけでなく経済界にもお役に立つ、信頼できる大学になるのが目標です。そういう意味からも特に経済界の皆様には多大なご協力、ご支援をいただきたいと思っています。

同窓会は最強の応援団

一新大学の開学後も大阪市立大学同窓会は大阪府立大学同窓会と共に新大学を支え、支援していけるよう検討していますが、同窓会に対してご要望などをお聞かせください。

辰巳 砂 同窓会は大学にとって最強の応援団だと思います。新大学では、新大学、市大、府大の3つの大学の教職員、学生など構成員が一丸となり相互理解しながら協調して進んでいかねばなりません。ぜひそこに同窓会も入っていただいてそれをけん引し、垣根を下げる活動にご協力いただきたい。そのためにも旧大学の同窓会の皆さんが力を合わせて応援いただけるのが一番いい形になるのではないかと思います。

—最後にご自身のことをお聞きしたいのですが、「辰巳砂」というのは珍しい名字ですね。

辰巳 砂 確かに珍しい名前ですが家族以外に出会ったことはありません。私自身は大阪生まれですが、祖先は西宮市の出身でえびす様を奉る西宮神社と関係があると聞いています。高校時代はバドミントン部を創ろうとしたり、ボウリングにはまって年間365ゲームを達成したり。今は健康のためにテニスをやっています。アメリカに1年間留学しているときにはあまりの安さに魅せられて庶民ゴルフをやっていました。

大学時代には研究室対抗の軟式野球をしていました。当時は大学の広い駐車場で試合をやっていて柵もないので頭を越えたらボールを取りに行くのが大変でした。おそらく新大学の森之宮キャンパスも初めはそのように何にもないところに新入生が入ってくるわけで、今はこうだけど将来このようになるんだと思ってもらい、入学生にモチベーションを持ってもらえるようにしたいと思います。

性格的には白黒付けることに対して、「絶対白」「絶対黒」はないと思っています。選択肢で正解、不正解はない。その時点で不正解を選んだとしてもそれなりに次の手があると



多数の報道関係者が集まり開かれた大阪公立大学学長予定者決定の記者会見

思っています。いろいろな人がいろいろな意見を言いますが、それぞれ意味があり、そういう少数の意見もお聞きして少しでもよいものを創っていきたくと思っています。

—ありがとうございました。

文責 藤山純一(法昭51卒)



記者会見で西澤良記・公立大学法人大阪理事長とと共にマスコミの写真撮影に応じる辰巳砂氏＝写真はいずれも2020年9月、公立大学法人大阪で

◎略歴

辰巳 砂 昌弘(たつみさご まさひろ) 1955年11月8日生まれ。78年大阪大学工学部応用化学科卒業、80年大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博士前期課程修了、大阪府立大学工学部助手、96年大阪府立大学工学部教授、2019年から同大学学長兼公立大学法人大阪副理事長。専門領域は無機材料化学、固体イオニクス、ガラス科学。工学博士。日本セラミックス協会学術賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、日本化学会賞などを受賞。



市大府大の融合による新大学のイメージ
＝写真は公立大学法人大阪提供

市・府・関経連・ 同友会・商工会議所など TOPメッセージ 「新大学への期待」

世界の中で 存在感のある大学に



吉村洋文 大阪府知事

新年あけましておめでとうございます。大阪市立大学は、創立140年の歴史と伝統を有し、これまで教育・研究において数々の実績を上げ、大学としての価値を高めてこられました。これもひと

えに、卒業生の皆様のご活躍の賜物であります。

さて、大阪府では、日本の成長を支える国際競争力を持つ拠点都市をめざし、府市による取り組みを進めており、その一つとして、令和4(2022)年度、大阪府立大学と大阪市立大学の統合により、全国ナンバーワンの公立大学となる新たな総合大学「大阪公立大学」が誕生します。

新大学では、両大学それぞれの強みがより強固に効果的に組み合わせることにより、大阪の発展を牽引する「知の拠点」として、更に高度な融合研究が展開されるとともに、より質の高い教育が提供されるものと期待しています。

特に、新大学では新たに「都市シンクタンク」機能と「技術インキュベーション」機能の2つの機能を備えることとしており、これまで両大学で培われた高度な知見や産官学のネットワークを最大限に活用することによって、都市課題の解決や大阪産業の競争力強化など、さらなる発展に大きく貢献されるものと考えています。

新大学が国立大学でも私立大学でもない、大阪の“公立大学”としてその存在意義を存分に発揮され、府民生活の豊かさや大都市・大阪の成長・発展を支えるとともに、世界の中で存在感のある新しい大学として益々発展していくことを大いに期待しています。

日本有数の総合大学に



松井一郎 大阪市長

卒業生の皆様、新年あけましておめでとうございます。

我が国は、成熟社会を迎えるとともに予測困難な時代となり、これまでになく様々な課題に直面しています。その中で、高等教育

を担い高い研究力を有する大学の役割は、ますます重要となっています。一方で、若年人口が大幅に減少し、大学間競

争が激しさを増す中、国内外で知名度を上げ、選ばれる大学となる必要があります。

大阪市立大学、大阪府立大学、大阪市、大阪府では、大阪における公立大学のあり方について議論を重ね、令和4(2022)年度に両大学を統合して、新たに大阪公立大学(仮称)を開学し、大阪の発展を牽引する「知の拠点」をめざすこととしました。

大阪市立大学は140年の長い歴史と伝統を持つ公立では数少ない総合大学であり、この間、社会に有為な人材を育成・輩出してまいりました。大阪府立大学と統合し、理系・文系・医療系の幅広い学問体系を擁する日本有数の総合大学となることにより、両大学の伝統・歴史を継承しつつ、新しい研究分野を開拓し、高度な成果を生み出していくことや、質の高い教育を提供し、ますます有為な人材を輩出していくことができるものと考えています。

令和7(2025)年度には森之宮に新キャンパスも開設予定です。アジア、さらには世界中の人たち、若い研究者・学生が行きたい、チャレンジできる、NO.1の公立大学となり、大阪・日本の発展に大いに寄与する大学となることを期待しています。

大阪発、世界レベルの 大学に



西澤良記 公立大学法人大阪理事長

大阪市立大学と大阪府立大学の統合による新大学構想についての議論が始まったのは、私が大阪市立大学の理事長兼学長であった2012年のことでした。以

来、本当に多くの方々にご協力をいただきながら徐々に検討を積み重ね、ちょうど10年の時を経て、2022年4月に「大阪公立大学(仮称)」が誕生することとなりました。

大阪公立大学は11学部・1学域、15研究科の幅広い学問領域を擁し、学生数約1万6000人の日本最大規模の公立大学となります。140年に及ぶ歴史と伝統のある両大学の強みを活かして、多彩な学問領域の融合により創出された新たな教育・研究を大都市の立地を生かして展開し、従来の公立大学の枠を超えた、大阪から発信する世界レベルの大学を目指して参ります。

また、「大阪・関西万博」が開催される2025年には、森之宮に先進的な都心キャンパスの整備を計画しております。この地で「スマートユニバーシティ」を実現していくことで、

大阪城東部地区における新たな賑わいと文化を発信する牽引役を果たせるのではないかと考えております。どうぞご期待ください。

大阪商業講習所から連綿と続く大阪市立大学のDNAは、新大学へと受け継がれていきます。新大学は大阪市立大学の卒業生の皆様の母校であり、卒業生の皆様は我々にとっての大切な宝です。皆様の誇りとなるような魅力ある大学づくりに取り組んで参りますので、今後ともご支援をよろしくお願い致します。

世界レベルの特色ある 大学に



松本正義
関西経済連合会会長

新大学の誕生を祝福いたします。私は一橋大学出身で、学生時代に陸上競技部員として旧三商大戦で競ったことが思い出され、大阪市立大学には親しみを感じております。

この度、市立大学、府立大学という素晴らしい歴史と伝統を持つ両校の良さを受け継ぎ、わが国最大規模の公立大学として大阪公立大学が誕生することで、関西の魅力がさらに高まるものと期待をしております。

特に、研究力という面においては、両校の持つ特色が融合され、関西の強みである獨創性に優れた研究力が一層強化されるものと考えています。また、新たに設置されるメインキャンパスにも期待を寄せています。大阪の都心部に学生が集うことで、活気にあふれた新たな拠点が生まれることを楽しみにしています。

関西はいま、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けておりますが、ワールドマスターズゲームズや大阪・関西万博など、ビッグイベントを控えており、世界から注目を集める地域となっています。そのような中で、新大学が世界レベルの特色ある大学として飛躍を遂げられることを祈念しております。

グローバルな 人材輩出を



尾崎裕
大阪商工会議所会頭

大阪市立大学の源流である大阪商業講習所は、大阪商工会議所の初代会頭・五代友厚により、1880年に当時の日本経済の中心地・大阪に設立されました。以来140年、大阪市立大学は、優秀な人材の輩出と研究成

果の社会還元で、大阪の成長に貢献されています。

2022年4月に大阪市立大学と大阪府立大学は統合されますが、理学・医学、人文・社会科学、工学・農学・獣医学など各大学のこれまでの強みを發揮されると共に、新設の情報学研究科では、府市とのデータ連携の強みを活かした、都市の様々なデータを集約する、産学官のオープンなデータプラットフォームを構築され、都市課題の解決や産業力強化、ビックデータ時代にふさわしい人材育成において、重要な役割を担われることを期待します。

大阪では、2025年に万博が開催され、スマートシティの実現も目指しており、未来への限りないフィールドが広がっています。大阪・関西、日本そして世界を変革するグローバルな人材を多く輩出されますとともに、統合で多くの研究が交わり、融合することで、最先端の研究をもリードする大学として、さらに飛躍されますことを祈念いたします。

新大学には、 “やってみなはれ”で



深野弘行
関西経済同友会代表幹事

獨創的な研究や地域に根差した産学連携に特色を持つ大阪府立大学と、五代友厚もその前身校の創立にかかわった商都に相応しい大阪市立大学、この両大学を包括した大阪公立大学の開学が実現することは誠に喜ばしいことです。

日本は研究開発立国を目指してきましたが、大学院博士課程履修者が年々減少するなど、社会全体として学問、研究への意欲低下が見られます。また、社会課題解決やイノベーションを目指した大学と社会の共創が不足しているとも言われています。

こうした中で、日本で最大クラスの総合大学として誕生する大阪公立大学には「やってみなはれ」の精神で、学部や学科を超えた横断的な研究プロジェクトや、ダブルメジャーの考え方で起業者教育の実施など、新しい試みに挑戦しアカデミアの魅力を上向きさせ、社会との接点拡大に取り組んで頂きたいと思っております。

日本の大学はPR下手と言われております。成果を上手くPRし、世界から注目される大学となられることを期待致します。

日本の大学はPR下手と言われております。成果を上手くPRし、世界から注目される大学となられることを期待致します。

新大学開学特集

市・府・関経連・
同友会・商工会議所など
TOPメッセージ
「新大学への期待」

市大偉人列伝

野村徳七 野村証券の創業者

野村徳七は関西財界の重鎮として、また貴族院議員として重要な足跡を残した逸材である。

1878年、大阪東区で両替商・株式現物問屋を営んでいた初代野村徳七の長男として生まれ、堅実な父親と気丈な母親に育てられた。1892年大阪市立商業学校(現在の大阪市立大学)に入学。しかし在学中に肺炎になり中途退学し、家業に専念した。学校をやめた後、両替商を弟実三郎に任せ、株式売買を始めた。その後、父に資本として2万円を与えられ野村商店として独立し、近代的な証券業を始める。

具体的な施策としては当時蔑まれていた証券業に証券業界で初めて調査部を設置したことが挙げられる。その調査結果を一般顧客に知らせる「大阪野村商法報」を発刊することで、証券業に不信感を持つ顧客に対して株の安心感を与えた。後に「調査の野村」と呼ばれるようになるきっかけとなった。また、教育を受けた大学卒の人材や女子社員を積極的に採用した。

1907年、初代徳七の隠居により2代目徳七を襲名した。翌年には8カ月間、欧米旅行に出かけ、欧米金融市場の知識を吸収した。その成果を生かし、帰国後には証券業で初めて国債引受業務に進出するため先駆的役割を果たしている。

海外事業にも熱心で、ボルネオやスマトラ、ブラジルで事業を開始した。1917年、個人経営であった野村商店を資本金500万円の株式会社野村商店に改めた。その後、昭和5年には野村の資本から離れ、大阪屋証券(現コスモ証券)となる。1918年、証券業者である徳七は異例となる銀行の設立に踏み切った。その資産を利用し財閥形成の道を歩んだ。1922年に

は現野村財閥である野村合名会社を設立している。

野村徳七は教養深く、教育事業にも取り組んだ。中でも有名なのは、1927年大阪商科大学の経済研究所設置資金100万円を寄付したことである。この資金を利用し、経済研究所は大阪市における中小商工業金融調査の基礎調査に関する物など様々な分野の出版物を刊行した。また、自身が病気になったことで弟が勉学を断念せざるを得なくなった経験から、野村奨学部を創設し恵まれない子どもへの支援を行った。

1928年には若くして貴族院議員に勅撰された。議会では予算委員、決算委員を務め、その間真摯な姿勢で仕事を積み重ねたという。その後、日仏文化協会創立に関わったことが文化の発展への寄与になったとして、フランス政府から勲章を受けた。また、茶や能楽にも堪能だった。茶号得庵と称し別邸碧雲荘を築木、数多くの茶会を催した。その碧雲荘には能舞台も設置した。1945年に死去。

「常に一步前進することを心がけよ。停止は退歩を意味する」という言葉のように新しい考えを進んで取り入れた人物である。

文責 福田夏実(文3)

参考

- <https://www.nomuraholdings.com/jp/company/basic/founder/05.html>
- <https://www.nomuratrading.co.jp/pdf/history.pdf>
- 有恒会百年史



野村美術館 提供

新大学設置に向け東奔西走の公立大学法人大阪

田頭吉一 理事



2019年春、文部科学省より公立大学法人大阪の新大学設置準備担当に來られた理事の田頭吉一さん。目前に迫った新大学開学を前に東奔西走の日々についてお聞きしました。



—森之宮の立地地点について。

大阪の東の都心部で、新大学が新都心発展のトリガーになることを目指したいです。「知の拠点」として大阪・関西の企業・研究ラボとのコラボ、また将来的には若い学生が2万人近く集まる若人の街、キタ・ミナミに続くヒガシとしての賑わいを期待したいですね。駅からのアクセスや学園風景も魅力のあるものにしたいですよ。リハビリについては森之宮周辺に病院が多数あり、地元からも大きな期待が寄せられています。栄養だってそうです。食の町大阪の食の発展に企業の方々にも参加いただきこれに寄与する。関係する先生方も意欲と野心をもって開学の準備に臨んでおられます。

—統合作業の難しさは。

大学設置申請という膨大な作業が存在しますが、本当に難しいのはそこではないですね。両大学には、それぞれかけがえのない長い歴史と伝統・文化があります。これを統合という一つの言葉でくくるのは乱暴であり、むしろ互いの優れたものを尊重し、どんな形で一つの大学の中に残し、互いをどうやって紡ぎ合いながら新しい風を吹かせていくか模索し作り上げる過程に、経験した人でなければ表し尽くせない苦労や難しさがあるものだと思います。

文化の違う者同士の融合は本当に難しいですが、今、教職員が一步一步ベクトルを合わせお互いの信頼関係が醸成してきていると考えています。私のところの市大・府大から集まっていたいる設置準備室のメンバーを近くで見ている、そのような感じでアイデア・意見を出し合っより良いものを作ろうというムードで臨んでいますね。

—新大学のネームバリューについて。

新大学が名実ともに名声を浴びるようになると、優秀な学生が全国から入学を希望するようになります。そのため卒業してもなお続く大学カラーの仕掛け・工夫をこらしていきたいです。もちろん両大学卒業生、OBの皆様とともにです。両大学の同窓会の皆様のご理解やご協力がこの事業には不可欠だと思います。そして、大阪だけでなく全国・海外からの学生を歓迎することが大事だと思います。

学生時代に過ごした土地というのは、人格形成に大きな影響があり、卒業後も強く覚えているものです。一人でも多くの卒業生が大阪の街で過ごした青春時代を胸に、「この大学に、大阪に育ててもらった」、「大阪を忘れない」、「何らかの形で大阪に関わっていきたい」、そう言わせる大学ができた時に、真のネームバリューができたと言って良いのではないのでしょうか。

—これまでの経歴について。

鹿児島生まれで平成元年に文部省に入省し、義務教育から高等教育まで教育行政を経験しました。直近では岡山大学から京大に勤務し現在に至っています。大学時代はボート部。猛烈にハードな練習に明け暮れましたが、成果が上がり、朝日レガッタで国内1位、国体で準優勝も果たすことができました。

おかげで体力だけは人並み以上でちょっとだけ自慢ですが、大学も1年余分に勉強させられました。専攻は理学部で理詰めの性格のはずなのですが、芋焼酎も大好きで気さくな薩摩隼人でごわす(笑)。着任した折には、郷里の大先輩“五代友厚どん”の銅像に「よろしくお願ひいたします」とまず挨拶に参りました。知事や市長よりも先に(笑)。

—国内の大学統合の流れと新大学設置のスケジュールは。

大学統合を国が進めようとするのは、最近の少子化に伴った大学経営の見合いもありますが、日本の個々の大学が国際的に通用するためには、一定の規模と幅広い分野によって国際化が進展しやすい環境を作ることが必要となってきました。それぞれの大学が強みを融合することで、より社会実装が可能な研究分野や、学生一人一人の個性を生かした教育の幅も生まれるものと思います。

例えば、これは法人統合ですが、名古屋大学と岐阜大学の場合、岐阜大には獣医学科があり、名大には創薬に力を入れた生命科学も行われています。こうした分野の融合が期待できる、あるいは、大学は離れているが一定の期間相手大学に修学し、その間の単位を相互に互換できたりすることも可能となり、教育のバリエーションは広がることとなるでしょう。

今回の大阪の統合はさらに融合を深める大学統合ですが、相互に教育研究上のメリットがあり、例えば医療や最新工学等で統合効果を出したいと検討されています。社会科学と情報学の融合などもこれからの社会実装には不可欠。数えだしたら切りがありません。

スケジュール的には2021年8月に認可予定で、2022年4月の開学を目指し、膨大な作業に追われています。スケジュールはタイトですが英知を終結させて臨みたいです。

—大阪の特色を生かしたカリキュラムやイベントの企画について。

もちろん産業、福祉・医療の点でも大阪の特色を生かした取り組みはたくさん構想があります。一つ文化という点で申し上げれば、大阪は独特の食と文化の街。森之宮だけではないのですが、森之宮で言えば、先ほど話をしました栄養科学。現在の両大学の学生さんも素晴らしい活動を行っていますよ。食品会社や食べ物屋さんコラボして学生参加のもと盛り上げてもらえればいいなと思ったりします。

文学研究科も私は大いに期待しています。人間行動や社会学の見地でも文学部・文学研究科の活躍は、スマートシティー作り、大阪文化の発展等々、町づくりや市民参加

の活動の多岐に及ぶことになるでしょう。楽しみで仕方ありません。

—同窓生、学生にひと言。

なかなかコロナ禍の影響やお互いに時間がない中ですが、多くの方々とこの統合について語り合いたいです。もし寂しさを感じておられるならその思いも受け止めたいです。統合は何かを無くすのではなく、これまでの価値を尊敬尊重しつつ新しい価値を創造するものと思っております。市大・府大と合わさって、質量とも倍以上のスケールメリットを見出し、新ブランドが社会の一大勢力になり、誇りとなるよう、皆さんと一緒に仕掛けていければと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

聞き手:小林俊介

新大学の教育研究組織

新大学では、両大学の同種の分野を集約することを基本とした上で、新たに情報学研究科を設置するとともに、農学部・研究科、獣医学部・研究科、看護学部・研究科を独立（1学域 11学部 15研究科）
 新大学の規模は現状と同規模（学生数 約16,000人 教員数 約1,400人。学部学生入学定員数では国公立大学で全国第3位）
 →これまで以上に多様な人材によるシナジー効果が期待される

- 全学の基幹教育（共通教育）を企画運営するため基幹教育機構を設置。基幹教育においては全学部生を対象として「教養」、「専門的能力」、「情報収集・分析力」、「行動力」、「自己表現力」などの能力を身につけて社会の中で発揮できる人間を養成
- 関西の主要国立大学に匹敵する公立の総合大学として、学部・研究科の枠を超えた異分野融合研究・教育を実践
- 戦略領域などニーズに対応した研究を企業・国・自治体等と連携して推進するための拠点を設置。研究領域は、臨機応変に再編
- 教員組織は、教育研究組織とは別に、研究分野をベースに設置
- 新領域の学部・研究科は、引き続き選択と集中により検討

現在の学部・学域

市立大学
商学部
経済学域
法学部
文学部
理学部
工学部
医学部
生活科学域

府立大学
高等教育推進機構
現代システム科学域
工学域
生命環境科学域
地域保健学域

新大学の教育研究組織

学域・学域	大学院
国際基幹教育機構（新設）	
現代システム科学域	現代システム科学研究科
文学部	文学研究科
法学部	法学研究科
経済学域	経済学研究科
商学部	経営学研究科
	都市経営研究科
	情報学研究科（新設）
理学部	理学研究科
工学部	工学研究科
農学部（独立）	農学研究科（独立）
獣医学部（独立）	獣医学研究科（独立）
医学部	医学研究科
	リハビリテーション学研究科
看護学部（独立）	看護学研究科（独立）
生活科学部	生活科学研究科

現在の大学院

市立大学
経営学研究科
経済学研究科
法学研究科
文学研究科
理学研究科
工学研究科
医学研究科
生活科学研究科
都市経営学研究科
看護学研究科

府立大学
工学研究科
生命環境科学研究科
理学系研究科
経済学研究科
人間社会システム科学研究科
看護学研究科
総合リハビリテーション学研究科



ダイワハウスの分譲マンション

PREMISTシリーズ

『PREMIST（プレミスト）』は、住まう方々が思い描く多彩なライフスタイルにお応えするために生まれたブランド。

ハウスメーカーとしてのノウハウを駆使しながら、長寿命の住まいに欠かせない基本性能や快適性、安全性、管理体制、アフターサービスまで一貫体制でトータルに価値を追求し、快適な暮らしをお届けいたします。

プレミスト九段 ※分譲済 ©Forward Stroke Inc.

大和ハウス工業株式会社 東京本社マンション事業推進部
 法人提携グループ TEL.03-5214-2253 ■営業時間/10:00~17:00 ■定休日/土・日・祝

全国物件情報はこちら

ダイワ プレミスト 検索



写真映像作家にとどまらず、 起業コンサルジュまで

—東京とNY拠点に、活動範囲はますます多彩に、多岐に—

写真映像作家 **松井みさき**さん (経平7卒)

今号の「ざっくばらん」は、東京とニューヨーク(NY)を拠点に、写真映像作家としての才能を果敢に発揮されている松井みさきさん。その活躍ぶり取材しました。市大卒業後、日系・外資系広告会社でのマーケティングプランナー勤務が社会人としての起点でした。日本で趣味として写真をされていたが、写真家を目指して2008年に渡米。活動は写真映像作家の域にとどまらず、多彩な経歴を経て今や起業コンサルジュまでされています。

これからも新たな分野での飛躍が予感できるほどのエネルギーが伝わってきました。今回は、様々な活動の中でも比較的新しい、2019年NYで出版された英語ガイドブック写真集と2020年夏からの起業コンサルジュを主とするインタビューとなりました。

■なぜニューヨーク(NY)?

当時の日本の写真コンテストは年齢制限があるものが多く、写真家を目指したのが遅かった私には不利であり、また、美大出身でもなく、東京に写真家のつてもなく、日本で新しいキャリアに挑戦する難しさ、限界を思い知りました。そこで、逆説的な発想で、NYで結果を出して自分を逆輸入させようと思い立ちました。

なぜNYかというと、自身のアイデンティティと行動力で勝負できる街だと直感で思えたからです。NYには様々な国や人種、バックグラウンドの人がいて、日本では不利な条件を抱えた自分でもフラットな状態でスタートできる最適地だと思いました。実際、そのときの判断は今でも間違っていなかったと思っています。

■経歴が多彩で、そして活動領域が創造的ですね。

経験を組み合わせるのではなく、掛け合わせる。足し算でなく、掛け算です。

広告会社でマーケティングプランナー時代に、ブランディングや、調査設計から報告までをしていました。写真映像作家となり、アーティスト・ステイトメントやコンセプト、作品の一貫性について常に考え、意識しています。また、ドキュメンタリー映画を撮るときに、監督・撮影だけでなく、自らインタビュー、ナレーションも行い、昔のスキルを活かしてい

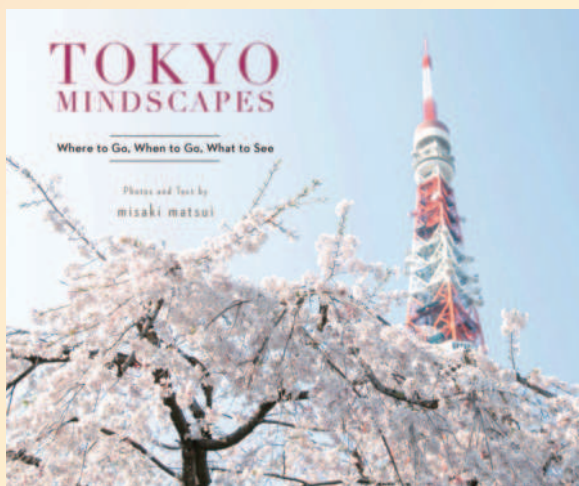
ます。作品は、アメリカ、ロンドンでの国際写真コンペ、ロンドン、モナコ、東京などでの国際映画祭等に入選しています。

■英語ガイドブック写真集「Tokyo Mindscapes (東京心風景)」をNYから出版されましたね。

私は、日本生まれの日本育ちで、大人になってからNYで生活したので、日本人の視点と外国から見た国際的な視点の両方を持つことができると考えています。NYの出版社MUSEYON社からお声がけいただき、日米両方の人が見ても自然で違和感がなく、美しいと思える写真集のような英語ガイドブックにしたいと思い、2019年に出版させていただきました。



ニューヨークコニーアイランドにて (photo by Akira Okimoto)



英語ガイドブック写真集『Tokyo Mindscapes』

今回の写真集は、淡い色で構成しようと決めていました。外国の写真家が撮る日本の風景は、色が濃いめに強調されています。日本観光のガイドブックが置いてあるコーナーも文字が赤いのが多く、派手めな印象です。しかし、実際の現代の東京の風景は、ライトグレーのビルが建ち並び、淡い色で構成されています。街でよく見かける桜も濃いピンクではなく淡いピンクですよ。

また、インバウンドのリピーター向けにマイナーな観光スポットも取り上げ、日本人の方にも興味深く読んでもらえるように編集したつもりです。コロナの影響で、旅行することが叶わない状況であっても、読み物としても楽しんでいただけるようになっているので、こういう時だからこそ手にとってほしいですね。

■ 起業コンシェルジュとしての、新たな活動も始められたのですね。

2020年8月より、立川の東京創業ステーション内にある、STARTUP HUB TOKYO TAMA(スタハTAMA)にて、起業コンシェルジュを始めさせていただいており、起業したい方のご相談にのり、アイデアや理念を具体化するお手伝いをしています。

私は写真映像作家ですが、広告会社で企業や商品のプランニングを担当していたこともあり、戦略思考とイメージアウトプットの両視点からアドバイスさせていただければと思います。写真映像作家と起業コンシェルジュでは、共通点がなさそうに見えるかもしれませんが、例えば、まず自分がどんな人間なのかを内省し、セルフブランディングしたうえで、そのイメージを的確にプレゼンテーションするのがポートレート(プロフィール写真)だったりします。

プレゼンテーションについては、日本人は信念や情熱

はあるのに、シャイでその思いをうまく伝えられないことが往々にしてあります。欧米人のパフォーマンス力は素晴らしいですが、時に内容が浅いこともあったりします。でも、引き込まれるものがあるのです。その差は、単純に幼少期からの「場数」によるものです。そのような状況には前々から歯痒さを感じていたので、セルフプレゼンテーションでもお手伝いをしていければと思います。

■ 個人としての強みは何ですか。

『no moment without hope(希望のない瞬間はない)』。これが私のすべての作品・活動を通しての共通のテーマです。渡米してからずっと、人々に希望を思い起こさせることを使命としています。

また、私は「出逢いはご縁である」という思いが常にあり、いつも「人」からインスピレーションを得て創作しています。今後もそれを大切にしていきたいです。

また、私は会社員から写真映像作家という道を辿りましたが、前述の掛け合わせの発想により、人生で回り道と思うようなことも、いつか点と点がつながり、線となる時がくるといつも信じています。

インタビュー：奥山正昭(経昭44卒)

文責：加藤菜々子(経令2卒)



STARTUP HUB TOKYO TAMAにて起業コンシェルジュ

話題作『未来への大分岐』(集英社新書)が5万部突破!

大阪市立大学 経済学部 斎藤幸平准教授に 「テレワークとコロナ禍の経済」について聞く!



◆一説ではコロナ禍で2割程度の人々がテレワークへ移行したと言われています。今後テレワークが定着化すると経済に対する影響度は大きくなりますか。

根本的にテレワークでできるような仕事は、所詮社会にとって意味がないもので私はあまり興味がありません。自粛期間中も多くの人が普通に社会生活を送ることができたのは、物流、保育、介護、お店で販売をされている方々、農家など、テレワークができない人たちが、リスクを負いながら行動し続けたことが、結果的に社会が回り続けた大きな要因だと考えています。



例えばコンサルタントや投資銀行、広告会社、電通などは基本的にいらぬものです。私は全く興味がありません。むしろこれを機にどんどんなくなってほしいというスタンスです。そういったものがなくても、社会が回るということに人々が気づいたことがコロナ禍の意義であると思います。

実際テレワークをしている人たちは、スマートフォンを横に置き音楽を聴きながら友人とFacebookやLINEでチャットをするといったほとんど価値のないことをしています。意味のないテレワークをしている当の本人たちでさえも気がついていないことを、コロナを契機に気づき始めたのです。いったん気づいてしまうと、資本主義下で毎日満員電車で揺られ出勤し、真面目に残業して働いてきた。そういうものが全部崩れ落ちてしまう、これではいけないとばかりに、テレワークを止めてまた以前のように満員電車で揺られて会社に出勤する。そういったバックラッシュが今起きています。

経済成長のV字回復をめざしコロナ禍の前と同じことを続けていると、日本型の働き方を支えてきたような、不合理さと言うものがどんどんあらわになってきます。テレワークを“合理化”と捉えて最初はいいように見えるのですが、行き着くとこまで行き着くと、ほとんどの仕事は必要なかった、と言うことになりかねない。それに気づいている人たちはすでにおいて、資本家の側の企業の人たちの中にはそのことに怯えている人たちもいるのではないかと私は勝手に思っています。

◆おっしゃったようなことは企業だけでなく、学校や教育面でも同じ状況が生まれているのでしょうか。

小・中学校はなかなかテレワークができないです。社会性を教えたり、悩みを先生が聞いたり、社交や日常生活におけるコミュニケーションをはかることがテレワークでは完全に排除されてしまいます。遠隔授業ではゼミ生と距離を縮めるのが難しい面があると感じます。たとえば授業の

始まる前に学生と「最近どう?」といったような日常的な話が遠隔ではできないのです。

会社の中でも同じようなことがあると思いますが、教育において割とこういったことが問題になります。本質的に私はこれを「ケア労働」と呼んでいます。「ケア労働」というものは基本的にテレワークには向かないのです。テレワークには向かないけれども、社会の成立や再生産にとっては極めて本質的なことであり、私はこういった「ケア労働」こそが評価されるような社会に転換してほしいと思います。

しかし現実的には「ケア労働」の方が俄然、低賃金長時間労働になってしまっているのが今の社会の矛盾です。コロナ禍のように危機のときには皆「ケア労働」の人たちに頼りますが、そういう人たちは日常ではこの社会のシステムの犠牲になってしまっているのです。

◆資本主義では環境危機を乗り越えられない。エコロジカル社会主義を構築したいとされていますが、現在のコロナウイルス、パンデミックは経済学にどのような影響を与えるのでしょうか。

経済成長を社会の進歩の指標としてみなすような「経済成長パラダイム」においては企業の業績がどれくらいで、GDPがどれくらいかということに社会の成長や進歩と言うものを我々は同一視してしまうわけです。しばしば言われる話ですがGDPには、一定の人々の幸福やストレスを含めた心理的な負荷や今のエコロジカル社会主義で言えば、環境破壊がどれくらいされているとか、そういったものは反映されないのです。逆に言えば今回のパンデミックも、以前からずっと警告されてきたことなのです。

世界中で大規模農業経営をある種の大型のアグリビジネスとして企業がやってきたことの矛盾が、今回のパンデミックであり、また昨今九州各地で大雨を降らせたような気候変動なのです。それをもたらししている原因は、地球全体を市場にしてあらゆるものを自然から奪って人間のために売りさばく商品に変えていくいわば終わりのないプロセスです。経済成長をどんどんしているんなものを消費していく。こういうことを続けていると、パンデミックも当然起きるし気候変動も干ばつも熱波も洪水も起こります。それは本当にこの30年ぐらいで相当ひどくなっているわけです。我々はこのようなことを本当にこのまま100年続けるのですか、ということ一度立ち止まって考えるきっかけにすべきだと思います。

経済活動をスローダウンしてGDPが下がれば大変なこと、私たちの生活は崩壊すると脅かされてきました。実際

2カ月間のコロナ自粛期間で仕事を失った人や倒産した会社もたくさんあります。けれどもこの自粛で国民の大多数が餓死する、といったことには全くならなかったわけです。本当に何が必要で、生活を支えてくれている人たちがどういう労働をしていて、何が私たちの生活にとって本当に必要なかがわかったわけです。

例えば梅田に人がいなくなっても、渋谷のハチ公前の広告がなくなっても私たちの生活レベルは全く下がらなかったわけです。その意義を考えることで、経済成長こそが私たちの繁栄や幸せを実現するものであるというある種盲目的な考え方を、一度止めてあたりをもう一回見回すようなチャンスとしてパンデミックを捉えると、気候変動を今後もやってくる危機に対して立ち向かうための最後のチャンスにできるかもしれない私は思っています。

◆今こそSDGsをやっている国連が先導して国際的な連携をどんどん深めるべきだと思いますが、実際は権威主義や独裁国家が台頭し前に進みません。何か良い処方箋みたいなものないのでしょうか。

私が心配しているのは人口密度がすごく高い地域で、衛生状態も非常に悪い中で感染爆発が起きると極めて深刻な事態が起きてしまう可能性があることです。先進国は自分の国の経済を回復させることばかり考えてワクチンや治療薬の開発に勤しんでいます。けれどもその開発された成果は、本来ならば途上国の人たちにこそまず渡される

必要があるにもかかわらず結局先進国により独占されてしまうのです。

治療を受けられないような国にこそワクチンが先にシェアされる社会であるべきなのです。貧しくても途上国で生まれたとしても、普遍的な人権は保障されなくてはなりません。国連の世界人権宣言や原理が本来そうになっているわけですが、そのことを大事にするようなリーダーであるとか、製薬会社のリーダーやトップである人材がこの先出てくれると本当によいと思います。

しかし現実には人権の理念との乖離は厳しく、どう解決するかが今求められているのです。

聞き手:小林俊介(法昭44卒)

文責:中村祐子(文平27卒)



Cominix

お客様の生産性向上に貢献する高度専門商社

代表取締役社長
柳川 重昌

工学部 応用物理学科 1969年(S.44) 3月24日卒



株式会社 Cominix

コロナ、遠隔授業、 そして「新しい生活様式」に ついての雑感

大阪市立大学文学研究科准教授
古賀哲男



疫病は人類の歴史において少なからず影響を及ぼしてきた。

『サピエンス全史』(Sapiens: A Brief History of Humankind, 2014)や『ホモ・デウス』(Homo Deus: A Brief History of Tomorrow, 2016)等が昨今のベストセラーとなった著者のハラリ(Yuval Noah Harari, 1976-)が『タイム』誌(Time, March 15, 2020)に投稿したエッセイ「人類はコロナウイルスといかに闘うべきか—今こそグローバルな信頼と団結を」“In the Battle Against Coronavirus, Humanity Lacks Leadership”において、この文明史家は次のように警告する。

「多くの人が新型コロナウイルスの大流行をグローバル化のせいにし、この種の感染爆発が再び起こるのを防ぐためには、脱グローバル化するしかないと言う。壁を築き、移動を制限し、貿易を減らせ、と。だが、感染症を封じ込めるのに短期の隔離は不可欠だとはいえ、長期の孤立主義政策は経済の崩壊につながるだけで、真の感染症対策にはならない。むしろ、その正反対だ。感染症の大流行への本当の対抗手段は、分離ではなく協力なのだ」。※1

まずはこのように世界が協力しあって感染を封じ込める必要を説くのだが、その後、数々と展開される感染症の歴史において「1918年以来の100年間に、人口の増加と交通の発達が相まって、人類は感染症に対してなおさら脆弱になった」「ところが実際には、感染症の発生率も影響も劇的に減少した。エイズやエボラ出血熱などの恐ろしい感染爆発はあったものの、21世紀に感染症で亡くなる人の割合は、石器時代以降のどの時期と比べても小さい」

「20世紀には、世界中の科学者や医師や看護師が情報を共有し、力を合わせることで、病気の流行の背後にあるメカニズムと、大流行を阻止する手段の両方を首尾良く突き止めた」「感染症の大流行の原因がいったん解明されると、感染症との戦いははるかに楽になった」という具合に比較的楽観的な観測がなされている。そして以下のように論を結んでいる。

「今回の危機の現段階では、決定的な戦いは人類そのものの中で起こる。もしこの感染症の大流行が人間の間の不和と不信を募らせるなら、それはこのウイルスにとって最大の勝利となるだろう。人間どうしが争えば、ウイルスは倍

増する。対照的に、もしこの大流行からより緊密な国際協力が生じれば、それは新型コロナウイルスに対する勝利だけでなく、将来現れるあらゆる病原体に対しての勝利ともなることだろう」。※2

たしかにコロナ禍は天災ではないが、それを契機として紛争や暴動(後者は米国で起こった)が生じたならば、さらなる感染拡大に向かうという警告はもっともなものだ。このようにグローバルな視点でなくとも、昨今でもワクチン開発がなされるまではどんなに小さな共同体においても人々が協力して感染を阻止しなければならないとする「常識」は当然ながら、「新しい生活様式」として言及される様々な感染症対策への呼び声となっている。

このような「非日常」的的日常が恒常的なものとなった現在においては、「遠隔」という名の人同士の接触を排した生活様式としてのオンラインによる在宅ワークやオンライン授業、「ソーシャル・ディスタンス」やマスク着用といった行動規制、その他、非常事態宣言にはなるほど経済に壊滅的な打撃となった様々な規制や行動制限等が行われることになったわけだが、以下はそのような日常に対する一大学教員のつぶやきである。

「遠隔授業って楽しいか?」。この問い自体、当然「対面の方がいいから、楽しくない」という答えを前提としたようにみえて学生にアンケートをするとそうでもないらしい。

「無理して大学に行く必要がなくなった」「好きな時間・場所で授業を受けられる」「対面とは違う環境でむしろ集中して学習ができた」などの肯定的な意見も聞かれた。※3

もちろん、教師としては果たして「教材提示」「動画配信」「テレビ会議システムによるオンライン授業」といった方法でどれだけ「対面式授業」によって行われる部分が補われるのかが疑問になるわけであるが、日頃からYouTubeを観て、ライン等で映像を伴ったチャットを行っている世代にはそんなに「オンライン」という敷居が高いわけではない。むしろそういったネット環境が恒常化しつつある時代において、本来の「学習」とは何かを再び考えさせる重要な契機となったことも事実である。

インターネットなしには研究でさえ進まない時代に「遠隔」という物理的距離を電子の力で超えることの意味は学問研究にとっても人類がそもそもパピルスに文字を記録することから情報を伝達しようとしたメディアとしての言語媒体の意味さえ再考することになっていると思われる。

例えば、「録音」という音声メディアの記録が様々な媒体を通じて今日まで伝承され、「レミックス」といったような音楽の創造技術においても活用されていることを想えば、人類がテクノロジーとして手に入れた ITという情報技術こそ21世紀的な課題として我々を規定する意味では、伝統的に「書」という形の文献研究を担ってきた研究科に属する者としても、このような技術の意味を人間表現の意味と切り離して考えることもできないことは切実な課題と思われる。



カナダ・ビクトリア大学語学研修引率にて

この雑文は同窓会報へのものであるので、一言、市大についての想いを述べて終わりたい。

想えば、小生がこの大学の教壇に立って優に30年が経過するが、就職して講師として授業するにあたり、当時はいまだに新左翼の過激派の学生が授業妨害などを行っており、「立ち番」と称して大学教員も守衛のような業務もあったことが未だに思い起こされる。でも学生寮の取り壊しや裁判にまでなった事態について、この大学がそもそも目指していた極めてリベラルで公平な思想風土の重要性を今更ながらに感じているのは私だけであろうか。

確かに極左の学生運動が浅間山荘事件やその後のオウム事件へと発展した経緯についてはここでは述べないが、やはりそのような否定的な学生運動の側面を差し引いても30年前には今よりもはるかに「順応的」でない学生自身の主張があったのはこの大学の記憶と共に私のなかにはある。

私自身は関わっていないが、釜ヶ崎の野宿者への調査を行われた先生方と懇意にしていたせいか、大学が地域と共にあるという意味を噛みしめながら、今後も自らの研究を続け、できれば社会にも貢献したいという想いは強くある。来年には大阪府立大学と合併して新大学となるが、そのような転機に今一度、この大学の建学の精神を振り返ることも21世紀に歩む大学の姿として重要であるという、極めて月並みな感想で終わらせていただきたい。

- ※1 柴田浩之訳(ウェブに公開された記事
<http://web.kawade.co.jp/bungei/3455/>を参照)。
- ※2 同上から引用。
- ※3 このような意見があることについては厳密な調査やアンケートに基づいているわけではないが、少なくとも当方が担当したクラスでのアンケートの結果にはこのような答えも返ってきた。

願いをこめた新薬を、 世界のあなたに届けたい。

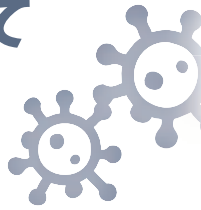
「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」

わたしたちは、新薬の開発に挑み続けます。

待ち望まれるくすりを、一日でも早くお届けするために。

新型コロナウイルスの 感染拡大に寄せて 其二

田中祐尾(医昭44卒)



前回、昨年4月の時点での新型コロナウイルスの症状を説明し、医療、蔓延経過と今後の予測などについて紹介した。夏になれば伝染力が弱まるだろうという旧来のインフルエンザへの予測は見事に外れて8月18日



付各有力紙には「新型コロナ 大阪で重症者が急増」という記事が1面を占める始末。医療従事者たちの必死の努力で何とか最低限の死者数を保っていたが、ここへ来て1日の重症者数が20人から3倍に跳ね上がり、最も肝心な砦である重症者用ベッドの4割が埋まっているとのこと。その内容は高齢者施設でのクラスターが6月の4カ所から8月には12カ所159人に、また病院内のクラスターは8月になり4カ所で82人を占め、受診と初期検査の遅れが指摘されている。加えて猛暑の脱水症状で救急搬送される患者たちの発熱や脱力感、低酸素症といった初期症状がコロナ感染と区別がつかず(PCR検査の結果が直ぐには出ないから)、隔離の問題で混乱しているという。三密を避け、消毒とマスク(拒否する国もある)ぐらいが精一杯、特効薬もワクチンも期待できぬ現状は古くからの天然痘・麻疹・風疹・ポリオ・インフルエンザといったウイルス疾患に晒されっぱなしだった時代と何ら変わらぬ不安を与えていて医療者、研究者への信頼感が揺らいでいる。

今回は余り専門的な表現は避け、日常生活でのこのコロナウイルスとの共存(あまり快い言葉でないが)の中で、その都度どこへ焦点を当てて行動すべきかのヒントを示してみたいと思います。

【新型コロナ感染の後遺症について】

昨年6月末、NHKの重症者統計で入院した数千人中1370人が退院されていて、そのうち深刻な後遺症が97人とあった。13人に1人である。内訳は呼吸不全が進行して働けない人が47人、筋肉の痩化による車椅子生活27人、認知症など持病の悪化が23人だった。このウイルスは感染後、嵐のように増える自己免疫細胞が血管の内皮を食い破り小血管に血栓を起こすのが原因といわれ、中には突然脳梗塞を発症し意識不明となる場合がある。後遺症としては倦怠感(何とも言えぬだるさ)、頭痛(強く長い)、呼吸苦(低酸素症)、咳(絞り出すような)、関節痛、胸痛、味覚・嗅覚が鈍くなる、目の乾燥・充血、口の乾燥、鼻炎・喉の痛み、めま

い、下痢、微熱が続くなど。大抵は二つ以上の合併が多く、一時的に良くなったりするので何よりも不安に陥る人が多い。他の疾患と明らかにその程度が違うのは肺の進行性崩壊からくるレントゲン像(前回参照)と今一つが低酸素症で、「血中酸素飽和度」が90%以下(正常値95%以上)、多くは60から70%まで低下する。重症化したインフルエンザの初期でも、これほどは下がらない。これは手の指先を挟む小さな器械で測定が可能で自分でもできる。価格は7000円前後。この新型コロナウイルス感染症が広がって約半年。その実態がまだ判明しきっていない今、後遺症と呼ぶのに少し無理があると思うが、一方で一応の症状回復を診て退院された人たちのその後の経過、すなわち後遺症らしき症状の追求こそが今後必須の課題となる。

【年齢別または環境別特徴】

圧倒的に高齢者に感染そして死亡が多く8月13日、NHKによる約1000人のコロナによる死亡者を対象にした調査結果では、90歳代—145人、80代—342人、70代—256人、60代—91人、50代—31人、40代—9人、30代—3人、20代—1人、10代ゼロ、10歳以下ゼロとなっていて計878人、洩れた数は追跡が出来なかったものと推定される。そしてクラスター発症の頻度が高い六大環境として、宴会(向かい合った席での食事酒宴など)・バスツアー・カラオケ(長時間での飛沫)・ジム(掛け声やマッサージ)・集会特に講演や勉強会・医療機関(院内感染)となっている。ただ、六つともあまり気にしない人、辛抱じらい人がいて、または防ぎきれない事情があって一向に感染者が減らない。

【我が国の事情】

それにしても世界各国での今回のコロナウイルスに対する政策とその結果としての数字の差がありすぎて戸惑うのが日本の実情である。このコロナによる死者数のトップが何と米国、次いでブラジル、メキシコそしてヨーロッパの主要国が続いているが、実態が不明または隠蔽する大国があってWHOが苦慮している。島国である日本はここまで数々の幸運が重なりコロナ死の総数が先日漸く1100人を超えたところ、米国は8月7日で16万人とその差は二桁、アジアではベトナムと台湾が飛びぬけて低く、共に1100人以下といった状況である。この2国は政治的執行力がずば抜けて高く早く、とくに初期感染時の対策が優れていた。アジアで屈指の低い死者数を示す日本では今までに、その対策に政治的強制はなく、都道府県別の4段階程度の自粛要請が唯一の手立てであった。8月現在、感染者と重症者が急に増えたという報道にも世論は未だ平静で呑気であるが、我が国の死者が少ない明確な原因を探ってみたい。「マスクと手洗いなどの消毒を積極的にする」「水が豊富で多くの人が毎日入浴し、洗髪も頻繁」「経済的格差が比較的少なく、日々の行動に規制がない。その反面自制もし易い」「ハグしたりキスの習慣が薄く、握手も余りしない(接触感染が薄い)」「土足で居間に入らず。居間着に着かえる人が多い」「BCGなど幼児期からワクチンの種類が

多く、接種率も高い。そのうちのどれかの抗体がこのコロナウイルスに効いている可能性がある」「コロナ患者に限らず呼吸器疾患に対する高度医療の実績が厚い」「無症状感染者の率が19%前後と高く、遺伝的に免疫力が高いと推定される」「先進國中唯一、国民皆健康保険制度が健在で、国民一人当たりの訪医率がおそらく世界一に近い。幼児期から頻りに薬を処方され、もともとインフルエンザなど疫病の情報も得やすい(8月26日、厚生労働相は来る冬に予想される『従来型インフルエンザ』の流行を見越して、高齢者らへのワクチン投与を優先すると発表した)。またドイツでは、かかりつけ医制度が進んでいるが、彼らは寧ろ濃厚な処方箋を切らない」など、山中伸弥教授ほか多くの人の意見を引用した。

以上の現象を認識して、近い将来に襲ってくるであろう2次感染(昨年8月がそうだという学者もいる)、そして3次感染に対して如何に対峙すべきかを真剣に且つ早急に考える必要あり。また最近、罹患した患者の抗体が短期間で消えたという報告がありこのウイルスのしたたかな変異が予想され、拡一的なワクチンの出現に暗い影を投げかける。Social distanceやマスク・消毒など以外、対抗する武器を持たぬ今、研究者や知識人そして為政者に期待を寄せる以前に、このワクチンと特効薬といった武器をただ待ちわびるだけでなく、コロナについての可能な限り科学的知識を学ぶこと、利己的で軽率な日常行動を慎むべきで

あることは論を待たない。ストイックな生活が求められるのではなく、無知と気付かぬ無知、特にSNSなどによる感染陽性者に対する誹謗・中傷。または無関心・無気力を貫く人たちの行動などが他の先進国と比べて我が国の意外な特徴となっている。頭脳を持たぬこのウイルスに今のところなすがままになっているヒトは、唯一の武器であるその頭脳を本気で防御に傾ける時が来ている。



《写真説明》

4月25日NewYorkはBrooklyn HospitalのICU病室で兄のミゲル63歳がほんの今亡くなった。コロナウイルス感染症で5日前に入院以来病室はおろか病院にも近付けなかった。妹のリディアは完全防御服で医師に誘導され、ゴム手袋越しに兄の胸に触って別れを告げた。ほんの数秒間だった。入院以降終始兄はICUにいて面会もなし、いま葬儀はおろか火葬にも埋葬にも立ち会えない。リディアだけがそうではなく、ほかのすべてのコロナ死が同じ扱いであった。(TIME誌 7月29日号より)

不動産業

名古屋三交ビル
2020.4.24 オープン

貸切デラックスバス「浪漫II」

貸切バス「DREAMシリーズ」

三重交通 路線バス

運輸業

三交イン京都八条口

Mie Kotsu Group

三重交通グループは、安全、安心、安定、快適なサービスの提供を目指します。

流通業

東急ハンズ名古屋店
(三交クリエイティブ・ライフがFCで展開)

御在所ロープウェイ

レジャーサービス業

鳥羽シーサイドホテル

<ul style="list-style-type: none"> 運輸業 不動産業 流通業 レジャーサービス業 	三重交通株式会社 名阪近鉄バス株式会社 三交伊勢志摩交通株式会社 三重急行自動車株式会社 八風バス株式会社 株式会社三交タクシー 三交不動産株式会社 株式会社三交コミュニティ 株式会社三交不動産鑑定所 三重交通商事株式会社 株式会社三交クリエイティブ・ライフ 株式会社三交シーエールズ 三重いすゞ自動車株式会社 株式会社三交イン 鳥羽シーサイドホテル株式会社 三交興業株式会社 御在所ロープウェイ株式会社 株式会社三重カンツリークラブ 株式会社松阪カントリークラブ 名阪近鉄旅行株式会社 株式会社三交ドライビングスクール ミドリサービス株式会社 三交ウェルフェア株式会社 三重県観光開発株式会社
<h2 style="margin: 0;">三重交通グループホールディングス株式会社</h2> <p style="margin: 0;">〒514-0032 三重県津市中央1番1号 https://holdings.sanco.co.jp</p>	

市大
OB・OG
紹介

メディアで大活躍!
正義感強く美しい、トランスジェンダーの弁護士
仲岡しゅんさん(法平20卒)



— 弁護士になられたいきさつをお聞かせください。

2004年に大阪市立大学法学部に入学し、2008年に卒業しました。当時私は生きる希望もなくのんびり生きていたように思います。法学部に入ったのは他の学部と比べて就職の際に1番つぶしが効きそうだったからです。市大在学中は「部落問題研究会」のサークルに所属しており、そこで様々なバックグラウンドを抱えた社会的マイノリティーの人々とのネットワークに出会いました。知り合った方々から「私たちの味方になってくれる弁護士がいたらよいなと思う・・・」という意見を受けて、それなら私がやってやろうじゃないか!と思ったことが弁護士を目指すきっかけとなったのです。

その後関西大学法科大学院(ロースクール)へ進み、司法試験3回目にあたる2014年に合格しました。当時司法試験は3回までしか受けられないという制約があり結構苦労しました。ラストチャンスで受かったわけです。2015年の年末から女性として弁護士登録をして、その後事務所を開設しました。そして弁護士を目指すもう一つのきっかけは、就職差別に直面したことです。たとえば企業の中でマイノリティーな人間が存在すると、ややこしい奴だと思われパワハラやセクハラにあたりたりして組織の中で我慢してやっていかなければならない場面に遭遇します。叩かれようが蹴られようが、自分の腕一本でやって行ける術(すべ)としての職業に就きたいと思ったのです。

— 女性弁護士として弁護士登録をされているようですが。

女性で登録しています。仕事上の制約は特にありません。弁護士登録に性別は必要ないと個人的には思います。なぜ性別は必要なのかといえばおそらく、女性の割合が何割かという統計的な意味合いがあるのではないかと思います。

— お仕事の依頼内容について教えてください。

女性からの依頼が8割くらいです。相談案件は離婚・DV・セクハラ・金銭トラブル・事故など様々です。弁護士の業務は机上の学問に加えメンタルと人間力が必要であり、体力勝負のハードな仕事で想像以上に激務です。収入に見合わない仕事と言えるかもしれません。

— ジェンダーに関して日本の法整備や社会環境は遅れていると思われませんか。

日本と海外を比較してみると、良い面と悪い面がそれぞれにあります。キリスト教やイスラム教をバックグラウンドに持つ国々では宗教上、同性愛はタブーであり差別されてきました。その反省があるからこそ、今法的に手厚い保障が行われているともいえますが、意識の上ではまだ追いついておらず特に保守系のキリスト教の人にはまだまだ受け入れられていません。日本の場合は幸いなことに宗教的なNGはありませんでしたが、問題は法的な保障がないことです。そして個を殺して多数派へ一斉に傾いてしまう“同調圧力”の強い傾向が存在することです。尖った個性を発揮しにくい“同調圧力”が日本には存在しているのです。それは日本が持つ質(しつ)にあるのだと思います。

— 今後の展開を教えてください。

いろいろなオファーを頂きます。テレビのコメンテーターをさせて頂いていますが、ただ面白さありきで構成されたテレビ番組や偏った立場から人権侵害にあたるような意見を平気で発信するメディアに対しては、自分の声を上げて一矢報いたい思いがあります。自分がまともであるとは決して思っていないが、なるべく社会的少数者側の意見も発信したい思いで仕事に取り組んでいきたいです。

仲岡さんの「うるわ総合法律事務所」の名称は、「依頼者にご機嫌うるわしくお帰りいただきたい」という思いを込めて名付けられました。関西弁の突っ込みとオチで相手の笑いを誘うのも忘れない、親しみやすく頼りになる姉貴弁護士の今後のご活躍を期待しています。

聞き手:小林俊介(法昭44卒)

文責:中村祐子(文平27卒)

日中の架け橋としての熱い思い!

日中福祉プランニング代表 王 青(経平7卒)

今回は、上海生まれで留学のために来日し、語学学習を経て市大経済学部卒業の王青さんをインタビュー。アジア太平洋トレードセンター(ATC)に入社後、大阪市、朝日新聞、ATCの3社で設立した常設展示場「高齢者総合生活提案館ATCエイジレスセンター」に携わり、広く福祉に関わる。現在、日中福祉プランニング代表として活躍中。

◆日中での福祉事情の違い。

中国には現在、60歳以上人口が約2.5億人という統計です。経済成長に伴い、合計特殊出生率は減少しており、着実に少子高齢化社会の道を歩みつつあります。一方、日本は約20年先に少子高齢社会となり、介護先進国と言われるからこそ福祉制度が整っている反面、制度や政策のクリエイティブ性に乏しいと感じます。中国は、社会保障制度が未整備であるが故に、民間企業や行政が前例に囚われず生き活きとしており、柔軟な発想が生まれやすいという特徴があります。

◆日中福祉プランニングの役割。

両国は少子高齢社会という共通の課題を持っていますが、個々の課題、あるいはビジネス習慣は当然異なります。上海市を中心に、中国の主要都市の行政や民間企業などのネットワークを築いており、日中双方にとってビジネスを最大限に発揮できるように様々な活動を通して企業支援をしています。中国での市場調査支援や福祉関連の日中視察ツアー企画とそのコーディネート、中国福祉関連のパートナー企業選定、人脈開拓、ビジネスマッチング支援、中国福祉関係者の日本訪問・研修プロジェクトの企画運営などを行っており、日本と中国の福祉ビジネスの架け橋としての役割を担っていきたくと考えています。



静岡県立大学グローバル地域センターでの「中国社会保障制度研究報告会」にて講演



大阪市主催の「中国シルバービジネスチャンスセミナー2019」にて講演

◆福祉事業への責任とニーズ。

特に、中国の本当の姿を伝える必要性を感じています。私が企画したツアーやセミナーの参加者からは、「他では手に入らない情報ばかりだった」「中国へのイメージが変わった」という声も寄せられ、日本人の中国に対するイメージと現実のギャップは大きく、まだまだ中国に対して発展途上国のような認識をしている人も多いと思います。

また、最近では、私が寄稿している時事通信社発行の「金融財政ビジネス」の連載コラム「洞察中国」での「コロナで変化する中国のお墓事情」や、DIAMOND online「中国は日本に比べ『孤独死』する高齢者が圧倒的に少ない理由」(<https://diamond.jp/articles/-/239754>)などの記事に読者から多くの反響をいただいております。日中の福祉事情とその他の社会問題などを通じて、日本と中国のそれぞれの本当の姿を正確丁寧にかつタイムリーに発信していくことがとても大事なことだと痛感する日々です。

◆これから。

母校の市大を卒業してから、母校との繋がりが少なかったと反省しています。もっと自分の専門分野で市大の出身者のためにお役に立ちたいと思っています。「弱者に対してやさしい社会づくり」や、少子高齢化社会への対処、コロナ後の新しい常態などを通じて、日中間の交流をさらに進めることにより、両国に共通する課題の克服に向けて相互触発・相互補完の実現に微力ながら努力したいと思います。

インタビュー：奥山正昭(経昭44卒)

文責：加藤菜々子(経令2卒)



TV「あいつ今何してる？」に数学の天才として登場。現在は物質や力の起源を解明するため、本理学部で素粒子の究極理論となる弦理論を研究している森山翔文准教授に伺いました。



■森山先生のご経歴をお聞かせください。

小・中学時代は負けず嫌いの子供で、高校は福岡県の進学校の修猷館高校へ進み、ここで私の人生を左右するある数学の先生と出会いました。先生の教え方は、自主性を重んじて解き方を模索させ、その過程を楽しませるといった斬新なスタイル。こんな勉強方法があったのか！と競争を超えた別世界の扉を開けたような感銘を受けました。

高校時代に国際数学オリンピックで銅メダルを受賞し、将来は数学の道へ進もうと、東京大学に進学しました。ここでは自然現象の中に隠れている数学を探すおもしろさを学びました。その後、京都大学大学院で素粒子論を専攻し、数学の公理系に近い第一原理から自然現象を記述する基礎物理学に強く惹かれました。

■研究内容について教えてください。

素粒子論の目標は、あらゆる物質や力を説明する理論を構築することであり、構成要素を紐と考える「弦理論」はその有力な候補です。その弦理論を研究しています。

私たちが観測する世界は3次元でも、弦理論は9次元上の理論として定式化する必要があります。一見不可解ですが、次元は観測スケールに依るので特に抵触しません。例えば、遠くにある木の一つの枝は、私たちにはほぼ1次元に見えますが、その上で活動する蟻には2次元に見えます。つまり弦理論は、私たちの世界は微視的には高次元に広がっていることを示唆しています。もちろん私たちが高次元世界を語るときには実際に見えているわけではありませんし、現時点では実験や観測も難しいです。

D2 D3 D4 D5

理論研究の多くの部分は、抽象的に論理性や数学を通じて進めており、重力理論と量子論との間の論理的な無矛盾性から、弦理論が要請されました。これが最終的な究極理論かどうかは現時点ではわかりませんが、心を解き放ち、様々な可能性を検討するのは楽しいです。弦理論の解明から私たちの宇宙に対する知見が得られると考えられます。

■科学はどのように発展してきましたか。

これまで多くの実験結果が理論にまとめ上げられ、さらに実験によって検証されてきました。科学がアインシュタインやニュートンのような知の巨人の業績によって発展してきたというのはある程度事実ですが、同時に科学は多くの地道な知見の積み重ねで連続的に進展してきました。

例えば、ニュートンは万有引力の逆二乗則を、微分積分学を用いて証明しましたが、ニュートンがいなくてもいずれ誰かが法則を作り上げていたでしょう。世界中の多くの科学者の様々な発展が積み重なって現在の形になっています。

■科学は宗教と整合すると思いますか。

科学者には、科学法則の美しさの由来を神の創造に求める人もいれば、科学によって神の存在を排除する人もいます。論理的に科学と宗教との整合性を議論できませんが、西洋的な二者択一と比べると、私たち東洋人の、やおよぼの神的な自然信仰はどちらかと言えば、自然と科学を同一視する視点に近いかもしれません。

■「美しい」は研究のキーワード？

「美しい」というのは主観的で曖昧なものですが、私は美しさが科学のクライテリア(判断基準)になり得ると思います。未知の世界を探索するには、最終的には実験や論理を通じて慎重に検証しなければなりません。発展段階では、ある程度直感に頼って進めなければならない状況が生じます。そのような場合に、理論の美しさは原動力であり、指針にもなります。

■若者へのメッセージをお願いします。

大学は、本来社会において最も先進的でリベラルであるべきところ。最近ではコロナウイルスで社会が変動していますが、社会改革、教育改革が加速されていることをポジティブに捉え、私たちもしっかり乗り越えていかねばならないと思っています。

ニュートンがペスト大流行下での疎開時に研究に没頭し、多くの先駆的な業績を上げたのは有名です。この制限された時期に私たち教員も、じっくりと腰を据えて研究を

D6 D7 D8 D9 M2 M5 NS5

進めています。学生のみなさんも環境が変わり大変かもしれませんが、しっかり勉学に励んでもらい、一生打ち込める面白いものを見つけてほしいと思います。

本理学部はノーベル賞受賞の南部陽一郎先生をはじめ、多くの著名な研究者が築き上げた素晴らしい伝統を持っています。また、私たちの研究のような、数学と物理学の分野の垣根を超えた学問ができる場所でもあります。一緒に発展させていきましょう。

■森山先生は将来のノーベル賞候補の呼び声が高いですが。

そういうことはありません(笑)。「弦理論」の理解は、世界中の一流物理学者が夢中で取り組む重要な研究テーマです。自分の研究の独自性や信念を大切にしながら、今後もしっかり研究に励んでいきたいと思っています。

■参照

森山翔文先生による

「やさしい弦理論入門と私の研究内容」

みなさん、夜空が美しいと感じたことがありますか。生き物や、生き物の繋がりである生態系も、実にうまくできていると思いませんか。私たちが生活している自然には、不思議が満ちています。その美しくも神秘的な大自然に惹かれて私たち理学部では、自分たちの世界の様々な不思議を調べています。

みなさんは地球が太陽の周りを回っていることを知っていますか。太陽が作る重力の影響により、まっすぐ進むとする地球の軌道が曲げられ、楕円になることが知られています。また、物質は細かく分けていくと原子からできていることを聞いたことがありますか。実は現代の物理学によれば、さらに細かく分けると、原子核と電子、そして、バリオンやメソン、さらには、クォークやレプトンに到達します。

世の中の物質をどんどん細かく分けるとどうなるか、また物質の間にはどのような力が働いているか、を調べるのが

素粒子物理学です。目に見えないくらいミクロな世界では、ある意味で世界がとびとびになることが知られていて、量子力学という物理法則に支配されています。しかし、重力と整合する量子力学を作るのは実は簡単なことではなく、すぐに矛盾に遭遇します。その矛盾をうまく排除すると、最終的に、世の中の物質と力は、すべて1次元の拮がりを持つ紐に由来することがわかります。

その紐の理論は、世の中のすべての物質と力を説明してしまうという優れたものだと思われていますが、残念ながら、まだわかっていない点も多いのです。現在では多くの素粒子理論物理学の研究者が紐の理論と格闘しています。

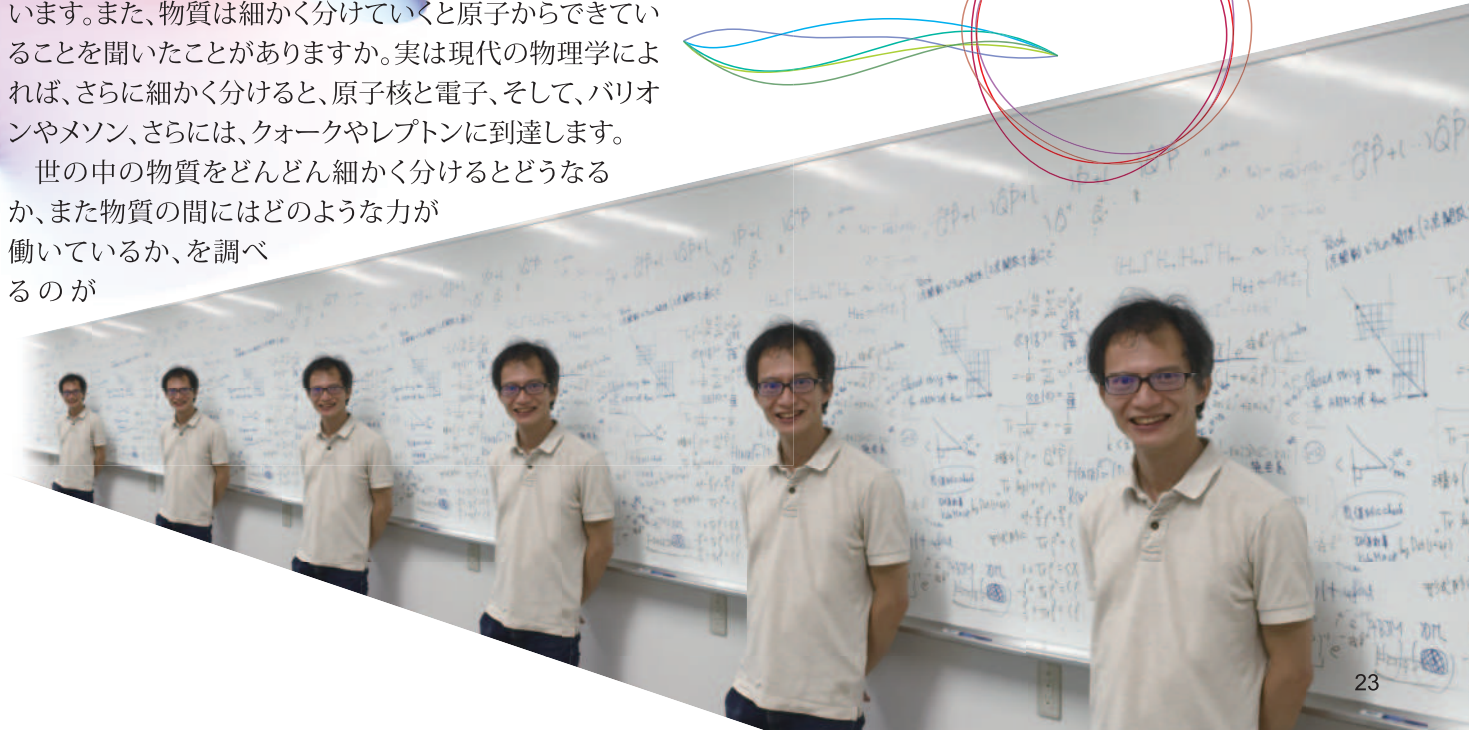
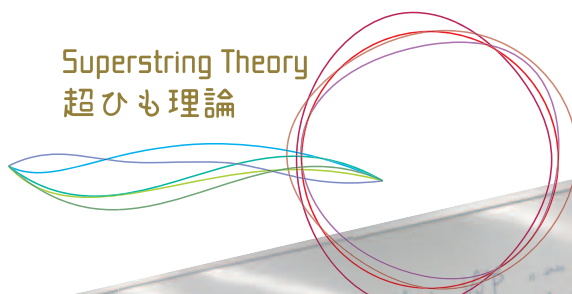
さらに、究極的には、紐の理論が2次元の拮がりを持つ膜の理論になることが知られています。言ってみれば、世の中の物質や力を統一する究極的な理論は膜の理論です。共同研究者たちと一緒にいった私たちの研究によれば、その膜の理論で最も基本的な量を計算したところ、想像をはるかに超えた良い性質を持つ関数になることがわかりました。

一般に関数の定義においては、不都合な点を除いて定義域を設定します。その関数は、不都合な点が無限に登場しますが、プラスの寄与とマイナスの寄与でとことん相殺されています。ある意味で、ミクロな世界において最も究極的な物理理論が、実は最も美しい数学的な性質を持っています。

聞き手:小林俊介(法昭44卒)

文責:中村祐子(文平27卒)

Superstring Theory 超ひも理論



大阪医史蹟巡り

⑤ ウイルスと戦った人たち

はじめに

COVID-19の蔓延に決め手のないまま半年が過ぎようとする今、ウイルスとヒトとの関わりの歴史を冷静に追ってみると、意外な一面つまり一矢を報い相手を絶滅に追いやった経験すらあるのです。天然痘ウイルスに牛痘による種痘免疫法で対抗したのがEdward Jennerでこれが1796年。それから184年を経た1980年にWHOが天然痘絶滅宣言を発して、厳重な保管室での保存以外このポックスウイルスが地球上から姿を消したのです。Vaccineという言葉は牝牛を意味するVaccaが語源である。無論この約二世紀の間に人々はウイルスなどという病原体を知るはずもなく、古代から反復襲来する疫病の一つとして、ペストやコレラといった細菌性疫病と同一観念であったと思われる。今我々には電子顕微鏡によるウイルスの実像が得られ、ジャイアントコンピュータによる変貌するそのゲノムの解析までできるの

に、今回の新型コロナウイルスに対して2020年8月現在、ワクチンも特效薬も見いだせていない。20世紀初頭に世界で2500万人の死者を出したスペイン風邪ウイルスや、麻痺を惹き起こすポリオウイルス、そして最近のインフルエンザウイルスでさえ反復感染のその都度数万人の死者を出したのだから、8月現在日本でのこのウイルスによる死者がやっと1100人というこの事象だけを見ると、緩慢な弱毒型に見える。だが先日の報道ではPCR検査陽性者が抗体陰性(消滅した)という現象が起きたとあった。宿主共々ひっそりと生きながらえようとする変異が得意で、ワクチンの拮一性が問われる極めて厄介なウイルスである。8月末現在、各紙は連日新しい数百人の感染者数を報じている。

Edward Jenner(1749~1823)について

ウイルスと人が関わった歴史は、有史以前からあったことは確かで、西暦紀元前1157年に死んだエジプトはアマルナ王朝のラムセス五世のミイラに痘瘡の痕跡が確認できている。日本では平安時代初期「続日本紀」(西暦797年編纂)に痘瘡の具体的記載がある。エドワード・ジェンナーはイングランド西部バークレイの田舎町で敬虔な牧師の子として生まれ村医者の道を選んだ(写真①)。度重なる天然痘ウイルスの襲来に苦悩したが、獣医師の経験も幾分あったと見え乳牛舎に出入りするうち牛の乳房にも痘瘡ができること、また乳絞りの女性の手や腕にも同じ痘瘡が感染することを知っていた(写真②)。つぎにサラ・ネムレス(論文に記載)という名の牛瘡に感染した乳絞り娘の手から牛痘の漿液を、健康な村の男児の腕に皮切刀で浅く皮膚切開を加えて移植、40日無事を観察した後、その子

に別の天然痘患者の人痘漿液を移植しても人痘を発症しないことを証明した。更に1798年の天然痘流行の年に同じ施行を12例重ね、これを論文にしてロンドンの王立科学協会に提出したが二度も却下されてしまう。おそらく牛の膿を人体に移植するといった怪異な人体実験が当時のアカデミーに理解されなかったと思われる。ひたすら疫病から人々を救いたいと願うジェンナーの意欲は神の意志に近いもので、その後彼は自費で『牛痘の原因および作用に関する研究』という冊子を出版すると、これが開業医たちに絶大な反響を呼び、ここに種痘法が確立、世界中に広まり今日に至ったのである。文中の接種後「40日」を今なお使われるQUARANTINEと記しているが、これは「隔離」を意味しQUARANTがラテン語の40(日)で、それまで度々ヨーロッパで流行ったペストの襲来時に隔離期間を40日と決めていたことの名残りで、おそらくこのことを根拠にジェンナーも種痘後の観察期間を40日にしたのだと思われる。

天然痘ポックスウイルスについて

ウイルス学の教本によると今回のコロナウイルスは単一螺旋のRNA型ウイルスでDNA型のポックスウイルスとは全くの異形である。牛・駱駝・猿に感染するタイプもあり推定アフリカが起源、牛痘ウイルスは3300年前Variola Virusとして人に寄生し始めたと推定される。ヒト天然痘の症状はほぼ画一的で、咽頭と気道から侵入し12日の潜伏期間後高熱と頭痛が起きる。血液細胞に寄生して全身へ、3~4日後発疹が出現し6日後水疱となる。膿疱から紅斑となり8~9日で乾燥し痂皮をつくり治癒する。生きていればの話。3週間後落屑して癩痕となり顔の物を「あばた」と呼びこの病気の生涯の後遺症となった。幼児の死亡率が5割を超えたのは罹患数日にして痘瘡が口腔・咽頭・食道をふさいで哺乳できなくなるからで、生き残ってもなお角膜潰瘍による失明が多く、生き残る限りむしろ母親が苦痛を味わった。我々が対面するコロナウイルスの症状とは今のところ類似点が少ない。コロナウイルスの感染は圧倒的に小児への重症化が少なく小児の持つ胸腺由来の白血球が作用しているという仮説が期待される。

我が国における疫病との苦闘史

我が国における種痘の始まりは1823年長崎商館付き医官であったフォン・シーボルトが持ち込んだ痘苗による日本人小児へのものとされる。それ以前長崎商館に出入りする周辺の藩医や蘭方医たちは西洋における種痘の普及が20数年の実績を持つこと、オランダ領ジャワ・バタビアの医学校に牛痘を培養し広範な種痘が既に行われているという情報を得ていて、一日千秋の思いで牛痘または人痘の来日を待ち続けていたのである。20年間の空白を経てドイツ人でオランダ軍医Otto Mohnike(1814~87)(写真③)が1848年に着任、彼もまたベルリン大学出の崇高な理想を持つ聖職者の長男だった。日本で始めて聴診器を使用、産科の器械を紹介し、バタビア医学校から痘苗をもたらし折から永年長崎商館へへばりついていた佐賀藩医榎林宗建

(写真④)に接触、宗建はわが子栄叔に種痘しこれを藩主の世継ぎに植え継いだ。その際の藩主以下荘厳な儀式的絵が残っている(写真⑤)。宗建は以後長崎で数百人に人痘接種を続け、モーニケも健康な日本人の小児に1849年から翌年にかけて381人に人痘接種した。九州の諸藩へも既に熟達した手技によって種痘が伝播していた。バタビアからの牛痘の供給は船旅で数週間、天候などで数か月を要したため、牛痘の長崎到着時には雑菌による感染か乾燥による死滅が多かった。そこで始めからジャワでの人痘のカサブタを瓶詰めにして運搬を試み、これを水に溶いて種痘、生着させるという方法が選ばれた。このモーニケの痘苗は子供の腕から腕へと植え継がれて東漸し関西から江戸、北陸へと伝播された。嘉永二(1849)年緒方洪庵の一門日野葛民は楯林宗建による越前藩主松平春嶽への人痘リレー途次の一行から分苗を受け、翌年大坂除痘館を設立、瞬く間に関西一円に種痘所ネットワーク(写真⑥)を敷いて実績を挙げ、1857年江戸より一年早く除痘館の官許(幕府の公認)を得る。この時の一連の人痘リレーは必ずしも順調にいったわけではなく、人々の恐怖や迷信を説得、

健康な男児の確保、消毒不完全による人痘生着の不首尾や予算不足など苦勞の連続だったが、それでも途中で挫折し逃げ出すものはいなかったという。日本古来の漢方医たち、または中国渡来の医師たちから鼻腔から痘瘡の痂痂を細い管から吸い込ませる鼻種法などが受け継がれていたし、ちょうどこの時期1849年には漢方医たちが結束して幕府に上奏した「蘭方医学禁止令」が出された年だったが、こと種痘の成就に関する作業にだけは、沿道の漢方医たちがこぞって協力した。各地に散らばっていたシーボルトの弟子たちの助力も大きく、結果として僅か一年で全国に痘苗が広がったことは我が国の医学史上の奇跡であった。モーニケは後に著した『Die Japaner』の中でこう言っている。「日本人は理解力判断力に優れ、外来文化の取入れに卓越した能力を持つ。他人に対して自己犠牲ができ、格別に清潔を愛する。」今から170年前に西洋人が言った言葉である。

医学の先人たちが、如何に鋭い観察力と情熱をもって犠牲を乗り越え、執拗に(ウイルスという)病魔に立ち向かったかを今もう一度見つめるべきかと思うのです。

田中祐尾(医昭44卒)



1



2



3



4



5

写真説明 ①Edward Jenner 肖像 ②ジェンナーが自著に描いた乳牛の乳房の牛痘とサラ・ネムルスの手にできた牛痘の彩色画1798年 ③Otto Mohnike 肖像 ④楯林宗建 肖像 ⑤佐賀藩種痘図 立位が藩主鍋島直正・正面座位で左腕を出すのが世継ぎ・種痘施行者が藩医楯林宗建1845年 ⑥除痘館種痘引き札 関西一円の種痘所一覧表でこれほど広範な医療ネットは現代でも稀 1849年
参考文献 「出島の医学」相川忠臣 長崎文献社 2012

「大坂除痘館の引き札と摺りもの」 緒方洪庵記念財団除痘館記念資料室 2018



6

heritage in Osaka

around the medical



就職活動状況について

学生課キャリア支援室長
池山尚高

昨年春卒業・修了した学生については売り手市場が継続し、本学においても例年同様の高い就職率(94.6%)となりました。



しかし、現4回生及びM2生の就職活動はコロナ禍により、就職環境が激変している状況となっています。通常3月から始まる就職活動も各マッチングイベントが中止となり、採用活動が1カ月程度延期され、加えて直接面接からWeb面接に切り替わるなど、これまでの就職活動から大きく様変わりし、内定までのスケジュールも例年より大きくずれ込みました。公務員試験においても日程が延期となったことで、応募先の選考スケジュールが重なり併願数が減ることで学生にとっては非常に厳しい状況となっています。

このような環境下、民間企業を志望している学生については時期がずれ込んでいるものの内定を得ている状況が伺えますが、公務員志望の学生については未内定の学生が例年以上に出してしまうのではないかと懸念されるところです(昨年9月30日時点)。

こういった状況を踏まえつつ、キャリア支援室では今後も継続して安全に適切な支援を提供できるよう鋭意努力してまいります。

留学生インタビュー

大阪市立大学国際センターでは例年国内外で開催される「日本留学フェア」にブースを出展し、優秀な外国人留学生の獲得に努めています。その活動の一環として本学入学を目指す外国人学生向けの動画を制作し、現在在籍する留学生にも先輩としての経験談をお話ししてもらいました。以下にインタビューの内容を抜粋してご紹介します。

法学部3回の嚴柯迪さんは「大阪市立大学を受験しようと思った理由は、少人数演習で細かい指導を受けられることと複数の外国語を身につけるという教育ポリシーに惹かれたからです」と意欲をみせる。

工学部2回の李惠従さんは「大学生活で一番楽しいと思うことは日本の学生を含め様々な国からきた留学生と文化の違いや考え方の違いについて話し合えることです。一番大変だと思うことは、山ほどある課題を短い締め切りが迫る中でこなすことです。休める時間が少ないため、多少ストレスを感じています」と話しています。

留学生の本音が垣間見られ、貴重な機会となりました。

(国際センター) 「様々な国の留学生と話し合いたい」と話す
李惠従さん(韓国)



「複数の外国語を身につけたい」と話す
嚴柯迪さん(中国)



「様々な国の留学生と話し合いたい」と話す
李惠従さん(韓国)

杉本キャンパス公式キャラクター「杉本カメイチ」が誕生

大阪市立大学140周年を迎えた節目として、学生の「何か貢献がしたい!」という熱い思いから、昨年度の文学部開講科目である「表現・表象文化論演習Ⅱ」の履修学生10人により企画され、杉本キャンパスに公式キャラクター「杉本カメイチ」(通称カメイチ)が誕生しました。



キャラクターに大阪市立大学らしさを取り入れるために、学生たちは杉本キャンパスのイメージに関するアンケート調査を実施し、約500人のアンケート結果をもとに学生がキャラクター案を考えました。

最終デザインについては、各研究科卒業生、在学生、教職員のデザイナー推薦を募り、門田充さん(生活科学部卒業生)に依頼。学生案を参考にキャラクターデザインを制作いただきました。

140年の「歴史」と「真面目で地力がある」という大阪市立大学のイメージから、「亀」をモチーフに表現。亀の甲羅には、杉本キャンパスを象徴する、芝生と1号館、そしてヤシの木をデザインしています。

父親の名前は「杉本亀厚(かめあつ)」。亀厚の師は、大阪市立大学の礎を築いた五代友厚で、カメイチは優秀な父親を尊敬し、勉強に励んでいます。さまざまな場面でぜひ「カメイチ」をご活用ください。

※カメイチの利用については、広報課へお問い合わせください。

(大阪市立大学広報課)

夢基金で緊急支援給付金制度などを実施

市大卒業生の皆様、あけましておめでとうございます。平素から大学サポーター交流室の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、創立140周年を迎えると同時に新型コロナウイルスの感染拡大により学内外の環境が一変し、まさに戦いの1年となってしまいました。創立記念事業に関しては、11月には140周年記念展示室を開設、12月には記念式典をオンラインにて開催し、また、今年の3月には1号館講堂の改修および全天候型グラウンドが完成する予定等、引き続き周年事業を推進してまいります。

また、夢基金では新型コロナウイルスと闘うための寄付を募集しており、各学部同窓会、卒業生をはじめとする大変多くの皆様から10月時点で約700件、5000万円近くのご寄付をいただいております。これらのご寄付を活用することで、昨年5月には学生のための「緊急支援給付金制度」、さらに10月には、学生・教職員を対象としたPCR検査も実現いたしました。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

さて、来年4月に本学は大阪府立大学と統合し、新たに大阪公立大学が誕生します。従来 of 学問の枠組みにとらわれない世界レベルの高度研究型大学として、大都市大阪の発展に貢献する「知」の拠点をめざしてまいりますので、卒業生の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、引き続きコロナ禍の中、何卒ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

(企画総務課大学サポーター交流室)

クラブ紹介

大阪市立大学交響楽団

現在約80人の部員が所属している「大阪市立大学交響楽団」は、6月と12月に開催する年2回の演奏会に向けて練習を行う学生オーケストラです。普段は週3回、楽器ごとのパート練習や楽器の種類別セクション練習、そして合奏など多様な様式を取り入れながら活動しています。



初心者も入ることができる団体なので団員によって経験値の差はありますが、自主練習や教え合いによってその差を埋めることができるよう工夫しています。普段は和気あいあいとした雰囲気の中で活動する一方、集中すべき時にはしっかりと取り組んでいます。素晴らしい仲間と囲まれて、団員たちはさらに高め合いながら練習に励んでいます。

半年かけて作り上げる演奏会での拍手は、団員の達成感とやりがいへとつながっています。昨年は新型コロナウイルスで6月の演奏会もなくなり思うように活動ができないこともありましたが、前向きに練習再開に向けて準備している魅力的な団体です。

松永向日葵(理3)

スキー・スノーボード部

スキー部門15人、スノーボード部門4人で活動しています。

今回はスキー部門の紹介です。アルペンスキーと呼ばれる、2本一組の旗もしくはポールの間を通過しながら滑り降りる競技を主に行っています。滑る綺麗さや技術ではなく、タイムを競う種目です。

スキーの魅力は疾走感や、タイムという形で自分の成長を実感できることだそうです。冬季は1~2週間北海道へ、春季には2週間~1か月ほどスキー場へ合宿に行き、上達を目指します。夏期は実際に滑ることが難しいため、筋トレや柔軟、スケートの刃をローラーに替えるインラインスケートと呼ばれる練習方法で冬期に向けて体の基礎作りをします。

スキー部としての魅力は、先輩後輩の関係も残しつつ家族のような関係になれるところです。毎年、全関西学生スキー選手権大会、全国学生岩岳スキー大会に出場しています。しかし新型コロナウイルスの影響で、昨シーズンの大会はなくなり今年についても未定となっています。

福田夏実(文3)



北海道の朝里川温泉スキー場で

学生団体 結丸

「結丸(ゆいまる)」は、地域や大学のみなさんがどんなことに困っているのかを調査しつつ、自身のしたいことを実現するために結成された学生団体です。地域活動や企画運営に興味はあるけれど、実際にどんなことをすればいいかわからないといった人たちを結び付けて、大勢の人と協力できる場所や手段を立案・実行できる団体が必要だという思いから結成されました。

結丸という名前は、「自分たちの活動がいろんな世代の人を結ぶ」という意味が込められています。

昨年2月から6月にかけて阪和線杉本町駅で展示された、受験生を応援するステンドグラス風アートの作成企画を発案した市大生のみなさんによって構成されています。5月と6月には、コロナ禍において対面での新歓活動ができない環境下で、本学初のオンライン合同新歓イベント「バーチャルお花見新歓」の運営に携わり、総計92団体ものサークル・部活動団体や約630人の新入生との交流を実現しました。

橋本崇俊(工3)



杉本町駅に展示されたステンドグラス風アート



ツカキグループ

TSUKAKI

ツカキ(株) 塚喜商事(株) 京都和装(株)
マリエクラッセ(株) (株)タムラ (株)京朋

Growing Together

～ 共に成長を～

社長 塚本喜左衛門(S46 経卒)

グループヘッドオフィス

京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町661番地

〒600-8412 TEL. 075-341-3547(大代表)

<https://www.tsukaki.com/>

医療法人 福寿会

かねむら歯科医院

理事長 歯学博士 **金村 福寿**

大阪市立大学 有恒会 副会長
大阪市立大学 同窓会 大阪南支部 支部長
(大阪市立大学商学部昭和56年卒)
(朝日大学歯学部卒)

大阪歯科大学 元非常勤講師
明海大学歯学部 元非常勤講師
日本老年歯科医学会 専門医・指導医

専務理事	金村	光野
歯学博士	金村	直子
歯学博士	金村	優吾
医学博士	金村	晋吾
歯科医師	金村	裕貴
医学博士	金村	英利子
理事	金村	舜
理事	金村	寿之佑

〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目17-15

Tel. 06-6752-8148

ゴーツー ハイシャ

(介護予防) 特定施設入居者生活介護 サービス付き高齢者向け住宅 **福寿**

“安全安心な介護で笑顔の福寿”

ゆったりとした「二人部屋」もございます。

——— ご夫婦で自由に、都会生活を楽しみませんか。

看護師常駐



〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目13-14

Tel. 06-6752-2910

ふくじゅ

同窓会ニュース



大阪市立大学同窓会定期総会 新会長に岡本氏、児玉氏は相談役に

とき：令和2年11月3日(火・祝)

ところ：大阪市立大学学術情報総合センター

コロナ禍のため、出席者は約60人に絞り込んで開かれ、会長改選で新会長に岡本直之・有恒会会長が選ばれ、児玉隆夫会長は新たに設けられた相談役に就任した。



コロナ禍の中、出席者を制限して開かれた令和2年度同窓会定期総会。新会長に岡本直之氏が選ばれた＝学術情報総合センターで

総会では来賓の荒川哲男学長、児玉会長の挨拶に続いて議事が行われ、令和元年度の活動報告と決算報告、令和2年度の活動計画案と予算案ならびに会長改選、会則改訂について説明が行われた。会則改定は定期総会を6月末までに行うことと相談役の新設を決定。またコロナ禍学生支援として大阪市立大学夢基金に200万円を寄付する旨の説明が行われ、議案についてはすべて承認、可決された。

次に児玉前会長と岡本新会長がそれぞれ挨拶。児玉氏は「大阪市立大学同窓会発足以来8年間会長の職にあり、この間、会報誌がタブロイド判からA4判冊子に変わり、五代友厚像の建立と『新・五代友厚伝』(八木孝昌氏著)も発刊された。これらは長年にわたる皆様のご支援があればこそ」と感謝の言葉を述べた。岡本氏からは府大との統合を控えて「全学同窓会発展に向け、皆様のご理解ご協力をお願いしたい」との決意表明がなされた。

竹中敏実(経昭49卒)

戦没学友の碑 献花の集い

とき：令和2年8月4日(火)

ところ：戦没学友の碑前(1号館講堂南西)

12回目となる「戦没学友の碑 献花の集い」が大学・同窓会の共催により開催されました。例年は満開の桜の下、4月10日前後に行われていましたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴って延期し、終戦記念日を迎える8月の暑いさなかでの開催となりました。



児玉会長(左)と荒川学長

参加者人数も制限されて30人と例年に比べ小規模でしたが、『海ゆかば』が静かに流れる中、戦没学友に哀悼の意を表し、多くの犠牲に遭われた教職員・学友に想いを馳せつつ、恒久平和を祈念して献花を行いました。

開催にあたり荒川哲男学長が挨拶、「毎年新生に初講義を行う時、戦没学友の碑前に新生を連れてきていたが、今年はかなわなかった。しかしリモートでの初講義では先輩の悲惨だった状況を伝えた。二度と国土を踏めなかった学生がいたことを忘れず、平和の尊さを感じてほしい」と述べられました。引き続き児玉隆夫同窓会会長の挨拶があり、荒川学長、児玉会長が大学・同窓会を代表して献花、参加者全員がこれに合わせて戦没学友への追悼、平和と学問の自由を祈念しました。

令和3年4月には、例年どおり、ご遺族・発起人・学友、大学・同窓会・教育後援会、学生等にも参列いただき、献花の集いの意義を次の世代に伝えていく所存です。

有恒会運営本部事務局

OCUSA会長新任のご挨拶

杉本俊門(医昭54卒)

令和2年4月に神門登・前会長から、本学OCUSA会長のバトンを受け取りました。OCUSAは、体育会に加盟する各競技クラブの活動を支援するとともに、そのOB会の連携、親睦を深めることが活動の二本柱です。

昨年、大阪市立大学140周年記念事業の一つとし



て、杉本グラウンドの人工芝化に取り組んでいます。このことは、夢基金を通じた各クラブOBからの多額の寄付金をもって実現することになりました。今後とも、未加入のクラブOB会にOCUSAへの参入を働きかけ、組織の拡大、活動内容の充実と発展に努めることが加盟全クラブOB会の一致した考えです。

また、令和4年の大阪府立大学との統合に際し、各競技クラブの合流がスムーズに進むよう支援するとともに、2大学の各クラブOB会の合流も視野に入れております。府大には本会のような組織がなく、大阪公立大学になってもOCUSA(名称変更は必至)継続の必要性を、府大各競技クラブ学生、OBの方々に理解していただけるよう努力する所存です。全学同窓会の皆様には、引き続き当会へのご助言、ご支援の程お願い申し上げます。

大学統合に対するOCUSAの対応

OCUSA事務局長 徳尾野徹

我が大阪市立大学OCUSA(体育会系クラブOB・OG会連合)では、大阪府立大学との統合を控えて、OB・OGの対応を考えています。

大阪府立大学には、本学のOCUSAに相当する体育会系クラブを横断的に結びつけて支援する組織はないと聞いています。このような状況を踏まえ、まずは市大のOCUSAに加盟する各クラブOB・OG会が、同競技の府大側のOB・OG会と交流を持つ中で、OCUSAの主旨や活動内容を説明することから始めます。

そのうえで、大学統合時に新しく発足する統合OB・OG会でも新OCUSA(現在のところ名称は未定)を支えて行くことの同意をいただき、令和4年4月に新OCUSAを立ち上げる形が望ましい、と考えています。「体育会学生のクラブ活動支援の団体」「同窓会・教育後援会との連携」「体育会所属クラブ全体および各クラブの要望を大学に伝える媒介・窓口」という現在の考え方や位置づけは変わりません。



新年のごあいさつ

創都会 会長 宮本賢治(創院平25修)

あけましておめでとうございます。

創造都市研究科同窓会「創都会」が組織改変して2回目の新年を迎えました。しかしながら、昨年猛威を振るったコロナウィルスは、東京オリンピックを初め、スポーツやライブ等、各種のイベントをことごとく開催不能に陥れ、本学においても卒業式、入学式や学祭、ホームカミングデー(HCD)



等、全く活動できない1年になってしまいました。

創都会は創造都市研究科および2018(平成30)年に新発足した都市経営研究科(創造都市研究科が改組)の同窓会であり、昨年2020年は新研究科の1期生も修了いたしました。

多くの新会員の入会を望んでおりましたが、コロナ禍によりそれもかなわず、総会も開催できないまま、前年度の役員が暫定的に役職を継続してきました。

1年近いお休みをいただきましたが、本年は、コロナウィルスの状況にもよりますが、まずは新会員を増やして会組織を充実させ、これまで続けていたイベントや2019年のHCDで行った上海在住の修了生との交流のような新しい試みなどを通じて、コロナ以前より一層活発な活動をしたと思います。

2022年の府大との統合まで、市大として最後の1年を、有恒会、全学同窓会の皆様とともに盛り上げていきたいと望んでおります。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルス感染症の対応の日々

蔵野由佳里(大阪市立厚生女学院・昭59卒)

大阪市は、2月に24時間電話相談対応の「帰国者・接触者相談センター」を開始。患者数が増加した時期には、相談電話が1日1000件から1500件となり、電話が鳴りやまない状況だった。



患者が一人発生すると、患者への聞き取り、患者の入院調整や濃厚接触者のリストアップ、濃厚接触者のPCR検査調整、健康観察など、多岐にわたる業務が発生する。また、大阪市は、多くの企業や飲食店などがあるため、他都市に居住する患者の所属する企業や立ち寄った飲食店の調査もあり、業務量が膨大となっている(昨年8月31日現在、累計陽性者数4529人)。

その上、新型コロナウイルスが未知なウイルスであるため、対応ルールが頻繁に更新され、業務内容を毎日のように変更しなくてはならない状況も職員を多忙にさせた。そのような中で、健康局、保健所、保健福祉センターが一丸となって対応しており、多忙極まる時期には、他局の職員や府下の他都市の保健師の方々の応援をいただき、乗り切った。

昨年9月からは保健所の新型コロナウイルス感染症対策グループの体制強化がなされ、秋冬に見込まれる患者増に向けて、さらに職員が結集して感染阻止対策に取り組んでいる。



『新・五代友厚伝』出版記念碑建立披露式典 開催

とき：令和2年9月26日(土)

ところ：五代スクエア(1号館時計台西側、五代友厚銅像前)

大阪市立大学同窓会が八木孝昌先生(経昭41卒、帝塚山学院大学生涯学習センター講師)に、大阪市立大学開学の祖である五代友厚の足跡と業績を「史実に基づいて正しく、かつ分かりやすく」書かれた書籍の執筆依頼をしていた『新・五代友厚伝』が令和2年8月出版の運びとなりました(PHP研究所刊、A5判、640頁、定価3000円税別。Amazon、全国の書店で購入可)。

本書では、五代友厚の姿を誤って伝えられてきた「北海道開拓使官有物払い下げ事件」に関して、それを正すために従来の五代伝では使われていない資料調査・発掘が必要となり、八木先生にご尽力いただき、この事件に関する従来の記述を覆す新事実も見つかりました。

八木先生は、「この事件を論じた第二部第八章“北海道開拓使官有物払い下げ事件”を是非とも読んでいただきたい。また、いきなりその章を読んでいただいても差し支えないように記述のまとまりに心がけました」と語っています。

この『新・五代友厚伝』出版と「海外ビジネス演習開設」、「海外インターンシップ派遣」事業について、多くの方々からご理解、ご協力のうえ、ご寄付もいただいたことを記念して「記念碑」を建立し、顕彰のため五代スクエアで荒川哲男学長と児玉隆夫同窓会長のご挨拶と、お祝い電報披露ののち、「八木孝昌先生によるミニトーク」がありました。

なお当日は、コロナ禍のため出席者は30人に限らせていただき、大学、同窓会、マスコミ関係者の方々にご出席いただきました。

大阪市立大学同窓会
五代友厚記念事業委員会
大西基勝(商昭52卒)



生活科学部の新型コロナウイルス感染症への取り組み

他学部と同じく生活科学部・生活科学部同窓会も未曾有の感染症の拡大に直面し、大きな混乱が生じましたが、学生・教職員の安全・安心を第一に様々な取り組みをしてきました。

令和2年3月に予定していた学部設立70周年記念行事では、岸本幸臣・前同窓会長による記念講演会を企画していましたが、延期を決断しました。これに関しては、リモー



ト講演会を令和2年10月18日に開催しました。

また経済的に困窮する学生の支援や感染防止対策に役立ててもらおうと、生活科学部同窓会から大阪市立大学夢基金へ300万円を寄付させていただきました。前期は遠隔授業で、学生もほとんど大学には来られない状況でしたが、後期は一部対面授業を再開しています。

卒業論文執筆の時期にも入ってきているため、教室、研究室での消毒や換気の徹底はもちろん、パーティションやフェイスシールドを準備し、学びや研究に遅れが生じないよう教職員一同、努力しています。 生田英輔(生平12卒)

工学部同窓会の「COVID-19困窮学生」支援

昨年5月中旬、大学が「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活に困窮する学生のための緊急支援給付金制度」を立ち上げたとの情報が入り、工学部同窓会(以下、同窓会)は5月25日付で「夢基金」に500万円の寄付を行いました。

一方、工学部工学研究科は、6月下旬に学部生、大学院

生(以下、工学生)へのアンケート調査により経済的困窮状態を把握し、「COVID-19困窮OCU工学生支援制度」を7月上旬に発足させ、同窓会に支援を要請されました。これを受けて同窓会は、現有資金の中から300万円を8月24日付で工学研究科に寄付を行いました。

加えて、7月末に、理事のクラスメート、現・元工学部教員、10余年前の「同窓会設立50周年記念募金」にご協力いただいた方など1800余人に対し、緊急の「寄付」をお願いしました。折しも、「夢基金」への募金が呼びかけられており、「夢基金に寄付したのにまたか」との苦言も出されましたが、9月20日段階で330余人の方から640万円の寄付が集まり、10月には600万円を工学研究科に寄付することができました。

今後、さらなる支援が必要と判断されれば、「同窓会だより」(送付先1万余人)などで、広く同窓会員に寄付を呼びかけることも視野に入れています。

東 恒雄(理事、機械・昭41卒)

女性部会(WPC)からのお知らせ

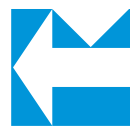
毎年11月3日に開催され、ホームカミングデーの恒例行事となっています「女性部会交流会」は、コロナウィルス感染拡大の状況を鑑みて協議した結果、収束の見通しが不透明なことから令和2年度は中止とさせていただきます。何卒ご理解賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

今後の予定は女性部会のFacebookの「活動経緯」からご確認をお願いいたします。

女性部会FacebookのURL:

<https://www.osaka-cu.net/wpc>

女性部会代表 北村佐津木、世話人一同



山口法律会計事務所

所長 弁護士

山口 健一

(法学部 昭和 49 年卒)

事務所 〒530-0047

大阪市北区西天満 1 丁目 7 番 20 号
JIN・ORIX ビル 6 階

TEL. 06-6361-3234 FAX.06-6361-0096

E-mai office@yamaguchi-law.jp

URL : <http://www.yamaguchi-law.jp>

踏み出す一歩が、心地よい。



G
E
L
-
N
I
M
B
U
S
™
2
3

詳細はこちら



アシックス NIMBUS23 検索



大学院創造都市研究科の歴史(下)

喜多繁幸(創院平24修・創都会元会長)

創造都市研究科は社会人大学院として2003年に大阪梅田大阪駅前第2ビルに開学し、学問的交流と研究環境向上のための自治組織として「院生会」が発足した。2010年(8期)以降、ホームカミングデイ(HCD)も独自色が定着し、シンポジウムや街歩きなどの特徴のあるイベントが毎年開催されるようになった。その規模も参加者数は延べ100人を超える規模が多かった。



盛大に行われた「創造都市研究科10周年記念シンポジウム」



2014年に発刊された10周年記念誌

2011年、中本悟研究科長(当時)の後押しもあり、創造都市研究科にも同窓会が結成された。しかし、当初は活動の方向や資金面などで創造都市研究科同窓会は本学院生会との連携が緊密に取れなかった。そこで、8期生元院生会会長の喜多を同窓会会長とし、院生会役員にも同窓会への入会を促し、立て直しを図った。

その結果、本学同窓会及び院生会との関係も安定し、同窓会の基礎ができた。そして同窓会活動としてHCD当日にホームカミングカフェも開催した。全学同窓会発足後は有恒会や各同窓会との横並びとして、第7番目の全学同窓会下部組織という形態になった。

学生と教員の共同研究なども盛んに行われ、院生会の活

動により研究分野ごとの交流も活発になった。一方、10期院生会会長の田井秀清氏を中心となり、創造都市研究科の10周年記念誌発行プロジェクトが始まった。そして同窓会、教員の皆様のご協力により2014年、『大阪市立大学大学院創造都市研究科10周年2003-2013記念誌』が発刊され、2000部を同窓会会員及び現役生を中心に配布された。

13期生の七野司氏が院生会会長の時には、院生会の有志が大阪府立大学大学院難波サテライト校の院生と共同で交流企画を開催、交互にお互いの教室を訪れ勉強会を開催して、大阪府主催の「大阪・関西での『滞在』を考える～観光・定住促進の切り札とは?～」コンテストに応募した。

創造都市研究科から3人と大阪府立大学経済学研究科観光・地域創造専攻から4人のチームで、「大阪の『フシタシアワセ(ふとした幸せ→府と市・足し合わせ)』を創造するプロジェクト」という提案を作成してプレゼンテーションを行った。その結果、最優秀賞にあたる「大阪府知事賞」を受賞した。そして、創造都市研究科も15期(2017年)をもって募集を終了し、2018年都市研究科として改組した。



創都会9期生修了祝いの会

創造都市研究科内の分野再編では、設立当初8研究分野だったが、情報2分野の分離統廃合や、システムソリューション分野の縮小合併により2012年には7分野となった。その後、2018年には大学の統合に先んじて、アジア・ビジネス研究分野及び情報2分野の本学移管、共生社会分野の廃止、医療・福祉イノベーション分野の新設を行い、4領域として新たに都市経営研究科が設置されたわけである。

創造都市研究科の修了生は、この15年間に50人以上の大学教員(筑波大学他)、15人以上の自治体首長(大阪市北区他)などの人材を輩出した。今後も、都市再生を願う社会人大学院として人材を育成し、教員と院生の産学官の研究体質を持ち続け、有恒会指導の下に創造都市研究科・都市経営研究科の同窓会「創都会」を基軸に新旧院生の交流結束を切に願う次第である。



論壇・随想

三木露風童謡「赤とんぼ」の歌詩について思うこと

飯田清親(法昭51卒)

童謡「赤とんぼ」、また露風母子についてこれまで考えてきましたことを述べます。

私は長崎県南部島原半島で生まれ育ち、またそこで生活をしておりますが、小さい頃から知っている子守唄といえば「島原の子守唄」、「五木の子守唄」のように子守りの「姐や」が主人公の歌でした。子守唄の性格を持つ童謡「赤とんぼ」も「姐や」が登場しますので、自分を守りしてくれた姐やのことを歌ったものだと思っていました。しかし「便り」を姐やから露風に届く「便り」と理解した場合、子守りの姐やが子守りの対象である幼子に対して、便りを書くことがあるのだろうか。「お里」とはどこか、「便り」とはどのようなものか――が分からずにおりました。そんな中で偶然にも知ることができたのが、若井勲夫氏の「童謡・わらべ歌新釈」というご論考でした。

そこには次のように書かれてありました。「露風の同郷の友人に有本芳水がいた。長く『日本少年』を主宰した詩人・歌人である。明治40年代の初めごろ早稲田大学の学生であった露風は、夏休みで帰省する芳水に対して、『君は……郷里にはお母さんがいるからいいねえ。僕にはお母さんがいないんだ。……母は僕を可愛がってくれた。僕は母を忘れることができない。いつかは母の愛を詩にしたいと思っている』と語った。それから4、5年後に芳水に見せたのが『赤蜻蛉』である。芳水は『私は母の背に負われて赤とんぼを見た』『母とともに赤い桑の実を摘みに行った』『母の愛』を中心にした読み方をしている」と。「お里のたより」は「母親から露風宛てに出されたもので、姐やは中継ぎをしていた」と述べています。私には「目から鱗」というほどのものでした。

ただ童謡「赤とんぼ」はこれで理解できても、露風自身のことは何ほども理解しておらず、彼の母親のことなど全く知らない。「負はれて論争」があったということも初めて知りました。「負はれた」のは母親の背である、と理解することとしてそう考える理由をいくつか述べます。第一番目には母親「かた」の人となり、生きる姿勢・考え方を思います。「かた」は我が子の成長を他の人に任せるようなことはしなかったろう。自分自身が全くの幼子の時から養女として生みの母親から別れて育っており、その思いは強かったらうと思います。

次に露風の詩歌で母親を詠ったものは多いが、子守り

の姐やを歌ったものを全く知りません。「姐や」の仕事は三木家の家事の手伝いと、弟勉の世話が主なことではなかったか。三番目には「かた」は周りの人から「赤とんぼのママさん」と呼ばれることを喜んだということ。最後に「かた」の墓碑銘として露風自身が書いた「赤とんぼの母此処に眠る」は童謡「赤とんぼ」を含め露風の母親への想いの表明、と考えます。以上のことから「お里」とは母親の棲んでいる場所が全てそうであり、露風自身にとっての「お里」であるという想い。第四連は夕焼けの光景は母親の姿そのものであること。その光景の中の赤とんぼは、第一連の母親と別れたことの不安な、寂しげなそれではなく、母親の愛を十全に知る、露風の安らぎの姿の象徴である、と考えています。

ただ疑問もあります。「かた」はどうして直接露風に便りを出さなかったのか、また出せなかったのだろうか、ということです。「よき子供生るといひし祖父君に聞かせたく思ふ赤とんぼの歌」と、「かた」晩年近くになっても思ふ、義父制(すさむ)への感謝の念。「かた」は嫁として三木家で可愛がられていた存在ではなかったか。離縁となり三木家を出たとしても、わが子にたよりを出すことを嫌う、許さないような三木家ではなかったように考えるのですが、分からないでいます。

次にこのことが一番分からないのですが、どうして露風は社会的な発言の機会ごとに子守りの姐やを登場させ、強調するのか。露風生い立ちの強がりな姿勢からして、いつまでも母親に傾斜して気弱な状況であることを周りから思われなくなかったのか。また童謡「赤とんぼ」を素直な気持ちで歌えば第一連・二連の登場者は「姐や」であると理解することになるので、言葉では登場しない母親が本当の登場人物であるという、難しい解釈を求めなかったのではないかと考えています。

東日本大震災から10年 復興から再生へ大きく前進

石橋信勝(法昭44卒)

その日、その時、私は仙台市中心部にある宮城県議会の議員控室にいた。2011年3月11日午後2時46分。突然、議会が揺れ始めた。「あっ、地震だ!!」と思った時、庁内アナウンスが流れ始めた。「地震です!地震です!」—その声が金切り声になり、「危険です。机の下に直ちにもぐってください!」。私は、すぐさま机の下にもぐった。

揺れは一層強くなり、しかも、その時間はとても長く感じ

られた。揺れがおさまり、机の下から這い出てみると、何と、机の上の書類は散乱し、本箱からも多くの書類が投げ出され、足の踏み場もない状況だった。停電、エレベーターはストップ。議員はすぐに議会棟前の広場に集合。議会延期の措置がとられ、議員の多くは自分の選挙区に戻っていった。

それが、千年に一度といわれる「東日本大震災」の始まりであった。マグニチュード9.0、最大震度7の規模で、死者15899人、行方不明者2529人(2019年12月、警察庁発表)にのぼるといふ大惨事になった。建造物にも甚大な影響を及ぼし、建物全壊約12万余棟、半壊約28万余棟にも及んでいる。しかも、福島第一原子力発電所事故という過去に例のない事態までもたらしたのである。

私は、宮城県議会議員の一人として、被災直後から宮城県内の各地域の被災地に駆けつけ不眠不休の救援活動を展開した。沿岸部の被災地は住宅も農地もすべて津波にのまれ壊滅状態で、大きな船や多数の車が住宅という住宅に乗り上げ、まさに「生き地獄」の様相を呈していたと言っても過言ではない。

そのような中で、私たち市大同窓の先輩で支部役員として活躍して下さった馬場良尚さんが、仕事の途中で津波にのまれ帰らぬ人となったことは言葉に尽くせぬ悲しい出来事であった。東北有恒会の扇田孝史会長(当時)らと告別式に参列し、心よりご冥福をお祈りしたことをつい昨日のここのように思い出す。

あの日から今年の3月11日でちょうど満10年となる。この間、被災地の復旧・復興は着実に進み、道路、港湾、鉄道、復興公営住宅などの建物、教育施設等のインフラ整備はほぼ終了し、一見、震災前と変わらない日常生活が戻ってきたようには見える。だが、被災地の傷痕は深く、人々の心の様相まで必ずしも復興したとはいえない状況がみられる。

今、大切なことは、被災に苦しみ悩む人をだれ一人として置き去りにすることなく、最後の一人まで支援の力を注ぎ、「完全復興」を成し遂げることである。と同時に、もはや東日本大震災のことが人々の話題にのぼることが少なくなっているという現状に対し、大震災の風化をどう防ぎ、その教訓を後の世代にどう伝えていくのか、ということである。



この風化を防ぎ、災害による被害を少しでも軽減させる取り組みが今ほど強く望まれている時はない。現在、被災地では、震災の記憶をとどめ、次の世代に伝承するために、震災の遺構の保存がすすめられている。

大震災から10年―。ここまで復興から再生へ進めることができたのも全国の市大同窓の皆様はじめ多くの方々の方々の力強いご支援のおかげであり、この欄をお借りし、皆様に心より感謝と御礼を申し上げたい。

最後に、市大が世界に冠たる「知の拠点」として新しい総合大学に生まれ変わろうとしている今この時に、私は、各学部の横断的組織として地震・集中豪雨・津波などあらゆる災害の原因や対策などを専門的に研究する仮称・「世界災害科学研究所」を整備し、全国、全世界の各地の専門研究所とも連携しつつ、災害、減災に貢献する大学になってほしいと切に願うものである。

記録を残し、記録を楽しむ

鳥居貞義(商昭34卒)

私は84歳になって日本人類学会の会員に登録した。「記録を残し、記録を楽しむ」ことができるのは人類特有の能力だ。

作家と云う職業は苦しみながら書く仕事か、楽しみながら書く仕事か、二つの人種がいるようだ。最近私は職業を聞かれた時に「大工」と答えるようにしている。人は信じないので「大工」は家を作る職業で、文を書く職業の人のことを家を作る即ち「作家」と呼ぶのは何故だろうか、と冗談ではなく本気で楽しんでいる。

私は大学の最初のゼミで学んだことを130周年記念同窓会誌に記録して好評だった。その大学も合併を重ね世界ランク200以内を目指すようだ。喜ばしいことだ。

大学の卒論は就職活動の片手間に書くことになったので思い出せない粗末なものになったが、書くことに意味があり書かないと落第と言うわけだ。会社に入社して最初に受けた講義を記録に残し、会社の卒業論文を上梓して、今はその会社凋落の原因を探ろうとしている。

初めて拝聴した社長さんの訓話は全く好印象だった。社長さんは、常々社内新聞等で述べておられるように、企業は利益を追求する法人には違いないが、唯それだけでは足りないところがある。結局は、国家社会に奉仕してそこから報酬を受けるものであると述べられた。社長さんは、発展期・成長期にありまだ完成の域に入っていない会社が求めている人材のことを実に巧く説明された。

そして松下電工は良い会社ではない。いい会社なら諸君のような人材は不要なのだ、と話された。社長さんはまた、訓話の中で現在の社会の要求しているものは、従って不足しているものは衣でなく、食でなく、住である。そしてその一端を担う建設資材の供給が我が社の目的でもある

と述べて、松下電工の使命を現在のセンスで的確に指摘された。因みに社長さんは当校の大先輩だ。

「記録を残し、記録を楽しむ」精神が『指折り数えて・指学問』という論文になり、英訳して海外の大学に送ろうと愚考している今は、コロナウイルス対策で「記録を残し、記録を楽しむ」と同時に「学問に苦しんでいる」毎日。ここでは入社直後の会社について社長さんの最初の講話を借りて表現してみた。

コロナについての考察



目加田博史(商昭53卒)

1918年3月某国の兵士が発熱・頭痛・喉痛を訴えた。数日以内に基地内の兵士500人以上が感染し不調を訴えた。時は第一次世界大戦(1914年7月~1918年11月)真っ最中。感染症は軍事機密にされたが、あっという間に世界中に蔓延した。中立国スペインで感染者が発生し「スペイン風邪」と呼ばれた。

スペイン風邪は世界人口の約4分の1の5億人が感染し、死亡者は約5000万人といわれ、第一次世界大戦の死傷者約3000万人をはるかに上回った。1920年12月に集団免疫を形成しスペイン風邪は終息した。

日本は第一次世界大戦をイギリスの要請で参戦し連合国の一員としてドイツと戦い、戦勝国となった。戦後1919年2月から始まったパリ講和条約で国際連盟設立が議論され、牧野伸顕はその規約に「人種的差別撤廃」を採用するよう提案した。大久保利通の次男で外交一筋の牧野伸顕は娘婿の吉田茂とともに黄禍論が渦巻く会議に不退転の決意で臨んでいた。

周到な外交根回しで主要国の賛意を確信してのことだったが、委員長であるアメリカのウィルソン大統領は国内世論と宗主国イギリスの強い反発を考慮し、日本側に提案の取り下げを求めた。日本はそれを拒絶し採決を要求した結果、賛成11国、反対5の多数決で採決された。しかし、委員長のウィルソン大統領は全会一致原則を持ち出し、これを廃案とした。日本は議事録に記録することを条件にこれを受け入れた。このニュースは人種差別に苦しむ多くの国々を駆け巡り、アメリカでは黒人の暴動が頻発した。

戦場となった欧州は疲弊し、戦場とならなかったアメリカは好景気で英仏に戦費を融資していた。戦後アメリカは敗戦国ドイツに融資し支援した。ドイツはその資金で経済復興し英仏に賠償金を支払い、英仏はそれをアメリカへの返済原資とした。覇権は自ずとアメリカに移っていった。日米は復興景気に沸き活発な設備投資で好景気で潤った。しかし、数年後には欧州が復興したことで日米は過剰生産となりデフレで暴落し、失業者が街にあふれ、世界恐

慌の引き金となった。日本では関東大震災が発生し、さらに世界恐慌を巻き込まれ、その後の金融政策の失敗で不況は長引き、日米開戦へとつながっていった。

翻って現在。2019年12月に武漢で発生した新型コロナウイルスは全世界に蔓延しパンデミックとなっている。世界の国々は、感染防止と経済対策の両立を目指しむつかしいかじ取りを迫られている。GDP成長率は▲30%で失業者が街にあふれ、IMFは恐慌を宣言している。

新型コロナ禍は「非接触」と「3密防止の徹底」が最優先され、企業は8割操業で利益を出せる体質に改善しないと生き残れなくなっている。アメリカでは人種差別的事件の発生でBLM運動が再燃している。環境破壊により自然災害が世界中で猛威を振るい、大豪雨・大洪水・落雷・大山火事・蝗禍は目を覆うばかりだ。

デジャブー。私たちは解決策を知っている。

変われ!変わろう! 雲雀丘学園の7年

岡村美孝(経昭48卒)



私が勤務する学校法人雲雀丘学園は兵庫県宝塚市にあり、幼稚園、小学校、中高等学校で子供たち2700人余りが学ぶ私立の学校です。昨年創立70周年を迎えました。

創立者はサントリー創業者の鳥井信治郎で、私は7年前学園の常務理事として赴任しました。

民間企業と学校の違いはどこですかと尋ねられることがあります。そんなとき私は「会社は変わることを求められ、学校は変わらないことを前提にしている」と答えています。常務理事で学園に来ましたが2年目、ある事情で中高の校長を引き受けることになりました。

ある日のこと一人の生徒が校長室に来て「陸上部を作ってほしい」というのです。陸上部は運動クラブの花形、この規模の学校にないのが不思議なくらいに思っていた私は「作ろう」と答えました。学園の主だった先生にも陸上部を作ることは是非を聞いてみましたが特に問題になるものではなく、ある方が望ましいくらいの感触でした。

しかし実際、職員会議を開いて私が「陸上部を作りたい」ことを提案すると反対の立場の質問が続出、「陸上部を作ればほかのクラブから部員が流れる」といい、生徒の要望を認めないものから、挙句の「前の校長から方針が変わったのか」に至っては、変えること自体に反対と思えるものでした。その後紆余曲折を経て陸上部は誕生するのですが今では部員数十人の一番の人気クラブとなっています。

一方会社は変わることを常に求められます。サントリーでは年初め、部署ごとに年間方針の発表を行います。その時前年と同じような方針・方策を打ち出したなら完全にアウトです。世の中が大きく変化し、競合も変わっているのだ

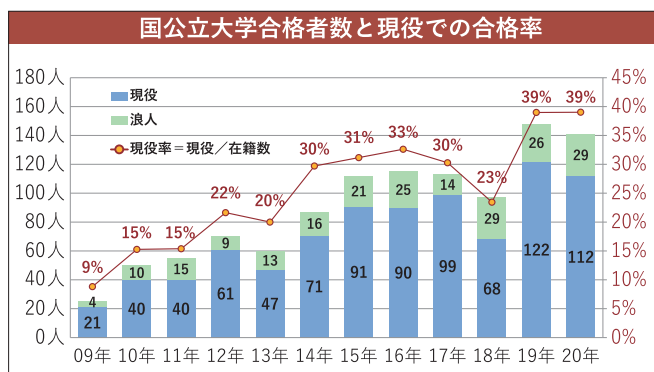
から同じことをしては変化に遅れ、競争に負けてしまうのです。

雲雀丘学園では20年ぐらい前から懸命に学校改革に取り組んできました。改革の道のりは決して平たんとは言えませんがみんなが協力し、学園として生き残る方向に進めたと思っています(別表参照)。

学校で「変える」ことが難しいのは別に変えなくても、当面は特に問題が起こることはないからです。それなら何もせずにおこうとなります。自分が言い出せばやらなくてはいけない報酬が得られるものではなくむしろ周りからは迷惑がられるかもしれないのです。しかしこれが一番問題なのです。会社でも一緒ですが顕在しない問題こそ手を打っておくべきなのです。まさに「ゆでがえる現象」と言えます。

菅新首相は就任のあいさつで「悪しき前例主義を排す」と語りました。実はこの言葉には思い出があります。私のサントリー時代、元社長故佐治敬三氏(学園2代目理事長)は社員にこの言葉を何度も呼びかけ会社改革に叱咤(した)していました。よく転勤のあいさつ文に「大過なく」と書かれていますがこれも事なかれ主義の表れのように思います。

冒頭申し上げた学園創立70周年のあいさつ文に私が学園の教職員に訴えたのは「変われ! 変わろう!」です。コロナ禍で世界は大きく変わるでしょう。私たちには一層の変革が望まれているのです。



岩崎弥太郎と生活科学部



篠田美紀(生院昭63修)

大阪市立大学は五代友厚らが設立した大阪商業講習所を創めとして2020年、140年の歴史を迎えた。幕末から明治への転換期、新しい時代の創造と発展を夢見た五代たちの植えた種が、今なお私たちの大学に芽吹いている。このような大学のルーツに想いを馳せた時、生活科学部もまた幕末からの歴史の流れに接していることをどこかに書き留めておかねばと思った。

私がこの歴史を知ったのは全くの偶然であった。ある集

合住宅の管理組合代表者から「石碑を引き取ってほしい」という依頼が生活科学部同窓会に舞い込んだ。私が電話を受けた。問題の石碑は大阪市立高等西華女学校の保護者会が建立した「岩崎家邸宅址」なるものであった。大阪市立高等西華女学校は後の学制改革(昭和24年)で大阪市立大学家政学部となる学校である。平成20年8月、NHKの大河ドラマ『龍馬伝』が放送される2前年のことであった。

土佐稲荷神社の隣にある集合住宅が建て替えを行うので、敷地内にある石碑を移設する話となり、その移設の候補先が大阪市立大学と三菱、土佐稲荷神社の3カ所に絞られているとのことだった。その敷地こそが、大阪市立大学家政学部の最初の学舎(西長堀学舎:白髪橋校舎)であり、それ以前は岩崎弥太郎邸宅として三菱財閥を生み出した場所であり、果ては土佐藩の藩屋敷として多くの幕末の要人とともに明治という時代を創造した場所だったのである。

結局この話は大学の理事預けとなった。その後12年が過ぎ、ようやく私はこの後の経過を追った。石碑は平成21年5月、土佐稲荷神社のある土佐公園の中に移設されている。大学史資料室に写真が残されていた(写真1)。



(写真1)土佐公園内の石碑。表には「岩崎家舊邸址」、裏には「昭和十二年十一月建立 大阪市立高等西華女学校保護者会」と記されている=大学史資料室より

岩崎弥太郎は明治3年、土佐藩邸の責任者となったが、明治4年の廃藩置県によりいったんは藩邸を離れた。が、後に藩邸を買い戻し自身の本宅としたという。三菱の本店を東京に定めた後、この土地の一部は公に譲渡され、大阪市は大阪市立高等西華女学校の新校舎を昭和12年にこの地に建設した。石碑は新学舎建設の際に保護者会によって建立されたものである。30年が過ぎ、石碑を残したまま昭和43年に家政学部が白髪橋校舎から杉本校舎に移転すると、跡地には集合住宅が建設された。石碑はしばらくこの集合住宅の敷地内にあったが平成20年に再開発がスタートし、それを機に石碑移設の話になったということである。

調べてみると、現在の生活科学部には白髪橋校舎の名残として移設されたものがいくつかあった。これまで何気なく見ていた生活科学部玄関横に植えられている銀杏と楠と灯籠、正面庭の築山大石組あたりの一角である。銀杏の脇の灯籠の文字は大正4年とある。謂れはわからないが、大正10年の大阪市立西区高等実修女学校が創設された西区立高等手芸女学校時代から移転され続け、100年を超えて現在の生活科学部の銀杏の下にひっそりと佇んでいるのかもしれない。

また、玄関正面の築山大石組の一角も立派な造りであり、ここに隠れるように位置する灯籠はかなりの年代物である(写真2)。旧土佐藩屋敷で竜馬や弥太郎の幕末を見ていた灯籠かもしれない…。この原稿を書き終える今、私は密かにそう思っている。



(写真2)生活科学部玄関前に白髪橋校舎から移設された築山大石組と灯籠

旧三商大対抗討論会の思い出



伏谷勝博(法昭37卒)

大阪市立大学と府立大学が合併させられようとしているのが卒業生として辛い。私が入学した昭和30年代前半は、旧三商大の名残が強く、文化系及び体育系の対抗戦が定期的に活発に開催されていた。私の思い出は、三大学対抗の討論会の思い出である。

昭和35年度は市大が当番校だった。私の所属した行政法ゼミは四回生が辞退したので、三回生の松宮善之、彦田

紀行、伏谷勝博の三人が公法部門に出場することになった。

昭和35年は岸内閣が日米安保条約の改訂を志し、それが国論を二分するばかりの騒動となっていた。当番校のゼミの教授が出題し、討論会で講評することになっていて、黒田一教授が条約改訂に関する問題を出題されたのだった。当日は黒田教授の出席が叶わず、助手の斎藤文男先生(後年九大教授)が講評してくださった。

討論会終了後は出席者全員が学生食堂に集まり、懇親会を催した。教授も数名が参加して歓迎された。一番の思い出は、経済学部の名和統一教授がローレライをドイツ語で歌われ、終宴後食堂の入り口で一橋と神戸の学生一人ひとりと握手して見送られたことだった。

出場経験が縁で商経学部の数人と事務局を担当することになった。翌年は神戸大学が当番校だった。私たち3人は神戸の討論会にも参加した。行政法の山田幸雄教授が講評してくださり、懇親会にも出席して下さった。ここでの思い出は、事務局の学生に促されて古林喜楽・経営学部教授(前・神戸大学長)が、食堂のテーブルに昇って扇子をかざしながら三橋美智也の「古城」を歌われたことだった。その見事さに会場の出席者は皆感動させられた。件の学生が言うには、古林喜楽先生は三宮辺りの飲み屋では「歌傑」として有名だったとのこと。古き良き時代の懐かしい思い出である。

当時関西学生法学会連合は京大・阪大・神戸大・阪市大の国公立4校と関・関・同・立・近大の私学5校で構成されていた。当番校は持ち廻りで年3回程度討論会が開催され当番校の教授が出題、他校や法曹界から3人程が審査に当たっておられた。出場者は一人で出題に対する自らの論述を展開、会場からの質問を受けて討論する形式が採られ、核心を突いた質問者には「質問賞」が与えられた。だから会場には司法試験を受験する学生グループが他校の発表者に論戦を挑むという雰囲気強く、熱気に溢れていた。

結果は京大生が優勝し、松宮善之君が2位に入賞した。当の松宮君が昨年秋に物故されたのは、一緒に頑張ったゼミ生として彦田君共に残念に思うのである。遠い日の懐かしい思い出である。



社会医療法人 景岳会 南大阪病院

理事長：柿本祥太郎

院長：福田 隆

内科・消化器内科・循環器内科・外科・整形外科・泌尿器科・人工透析内科・
胸腔外科・乳腺外科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・形成外科・

リハビリテーション科・放射線科・病理診断科

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1丁目18番18号

TEL 06-6685-0221 (代) <http://www.minamiosaka.com>

【関連施設】

南大阪病院附属リハビリテーションクリニック・南大阪クリニック(透析・人間ドック)・
南大阪訪問看護ステーション・南大阪ヘルパーステーション・南大阪ハッピーセンター・
南大阪看護専門学校

同窓短信

すばる鋼材株式会社の紹介

木水 勲(法昭54卒)



すばる鋼材は社名の通り鋼材の問屋です。しかしながら、単なる鋼材の販売ではなく、鋼材を加工して販売することをメイン事業としています。親会社である阪和興業のグループ会社として、親会社のキャッチフレーズである

「そこか=即納・小口・加工」をコンセプトに事業展開をしています。

本社は大阪・難波西方の湊町にあります。大正に倉庫を持っています。倉庫近隣の大正・九条地区は鋼材加工の集積地であり、その中の約200社に加工をお願いしています。

以前は自前の加工設備を持っていましたが現在はすべて外注加工です。加工された鋼材を大正の倉庫に集め各地方向けに仕分けし、北は北海道から南は沖縄まで全国に配送しています。毎週1~5便、それぞれの方面へ定期便を出して納期面でもお客様のご要望に応じています。社員は70数人で年間約70億円の売上を上げています。営業マンの平均年齢は32歳の若い企業です。ベテランが日々指導しながら鋼材加工のノウハウを伝授、向上させています。

また、図面の読取り、展開、製作ができる社員も複数名擁し、お客様のニーズに応じています。小職は2020年6月25日から代表取締役社長に就いていますが、前職の阪和興業マンとして40年超の経験を少しでもすばる鋼材の発展に生かせるようにして行きたいと思っています。

大阪市立大学を振り返って

嘉村雅彦(商昭57卒)

私が市大商学部に入學したのは今から40数年前になります。学生生活の思い出は主に準硬式野球部でのクラブ活動です。大学卒業後は、会社の転勤で大阪を離れ大阪に戻ってきたのは約3年前。40数年の間で、大阪市立大学は大きく変わっていました。

学術情報総合センターの開設、運動クラブの部室の改築、高原記念館の設立、五代友厚像の設置など、これら変わったものには、開かれた大学への変化を感じました。また、変わっていないものには懐かしさや温かさを感じます。



そして、準硬式野球部。強くなった、弱くなったは別にして現在65周年を迎えて健在です。昨年のOB戦に参加し、現役の部員と野球で交流し、懇親会では現役も含めOBの方々とは旧交を温め楽しいひと時を過ごしました。

2022年度には大阪市立大学は大阪府立大学と統合し、近い将来大阪市立大学は大きく変わろうとしています。市大の伝統や良いところは残した上で、より大きく発展することを期待しています。そして、今までのように、みんなに親しみやすい大学であってほしいと願っています。

大阪市立大学交響楽団の思い出

高林真理子(文平27卒)



私の学生時代の思い出と言えば、クラブ活動です。中学生から吹奏楽部でパーカッションを続けていたので、大学でも続けたいと思っていたのと、当時流行っていた「のだめカンタービレ」に影響され、大阪市立大学交響楽団(通称:市大オケ)に入団し、オーケストラの世界に飛び込みました。

1番の思い出は4回生の最後の60回記念定期演奏会で、ザ・シンフォニーホールでサンサーンスの交響曲第3番のティンパニを演奏する機会をいただけたことです。最後にパイプオルガンが響く中でティンパニソロがあるのですが、このソロを演奏している数小節の間に大学4年間の思い出が走馬灯の様に蘇り、目頭が熱くなりました。

演奏を終えた後の盛大な拍手は忘れられません。ご来場いただいたお客様をはじめ、OBの方々や先生方や家族、皆様のご支援があってこそ開催できた演奏会でした。素晴らしい経験ができたことに感謝しています。

演奏を終えた後の盛大な拍手は忘れられません。ご来場いただいたお客様をはじめ、OBの方々や先生方や家族、皆様のご支援があってこそ開催できた演奏会でした。素晴らしい経験ができたことに感謝しています。

卒業後も先輩が結成されたオーケストラに誘っていただいたり、入社した会社にオーケストラがあったりと、運良く音楽を続けることができています。昨年は新型コロナウイルスの影響で思うように練習ができず、演奏会も開催が難しくなっていますが、また演奏できる日を楽しみに、感染防止に努めながら過ごします。

2020年夏に思ったこと

西仲 桂 (法昭59卒)



結婚以来、ほぼ毎年お盆に家内の両親の実家である山口県下松市に、自宅の茨木市から子供を連れて帰省していましたが、昨年は新型コロナウイルスのために孫を連れて帰る代わりに、両親が孫のために丹精込めた自家製のスイカを私たち家族4人で味わうにとどまりました。

私自身の実家は神戸市と八尾市で、結婚するまではお盆や年末年始の渋滞や電車の混雑の中、帰省する家族のニュースを、大変そうだなと思いつつもどこか羨ましく眺めていました。ここ数年は長男も免許を取り、自分が運転する時間も減って気楽に帰省できていました。毎年ごちそうを準備して孫に会うのを楽しみにしていた両親にとっては残念ですが、高齢の2人のリスクを考えるとあきらめざるを得ませんでした。

昨年就職した長男も在宅勤務中心で、長女に至っては昨年大学に入学して以来キャンパスへは数度しか行っていない状況です。オリンピックや高校野球など、あるはずのものがなかった夏の終わりを感しながら日々を過ごしました。

150回目指し「地域住民学習会」

村上啓次 (商昭47卒)



団塊世代の私のサラリーマン時代は、地域活動とは無縁な日常でしたが、退職後、お世話になった地元に戻ると思えば、有志と15年前に「地域住民学習会」を始めました。

約800世帯、2200人の開発後40数年のいわゆる郊外住宅地の自治会員を対象にした集会所での学習会。年10回ほど、身近な「医・食・住(環境)」などに関連したテーマについて、専門家が最新情報を講演、地元にお住いの隠れた専門家も「発掘」しています。

参加者は、毎回40人前後で、大部分は70歳以上。当初、講師選定にひと苦労でしたが、今では学識経験者や地元市長ら過去の講演者一覧をお見せすると薄謝にもかかわらず、快く引き受けていただいています。

住民の高齢化率(65歳以上)44%強となり、興味を持たれるテーマも「環境問題と原子力発電」(50回記念講演)など社会問題から、生活習慣病、認知症、終活などが主になっています。コロナ感染の影響で昨年2月の第132回例会から中断していますが、記念すべき150回を目指してひと踏ん張りします。

大学1回生の夏 東北周遊券の旅

梅村晋一 (法昭55卒)

昨年4月に就任された桐山孝信副学長とは昭和51年法学部1A同級生ということもあり、仲良く授業を受ける間柄でした。夏休みは周遊券を使って東北に旅行しようということになり、小遣いが乏しい私たちでしたから、宿泊場所は駅の軒下にシュラフで寝ようとの彼の提案で、周遊券で乗車可能な自由席のある夜行急行列車「きたぐに」で出発することになりました。

大阪駅に夕方から並び、午後10時10分に発車。自由席は満席!通路に寝る人もいるほど。最初の下車地は秋田駅でした。宿泊する駅では駅前の交番で風呂屋のありかを聞き、汗を流して食事をして、寝場所を確保する。翌日の予定を時刻表とガイドブックを見ながら協議。そんな毎日を繰り返し、男鹿半島、岩木山、十和田湖、恐山、盛岡、龍泉洞、宮古、田沢湖、中尊寺、松島などを巡り、東京では最高裁の外観を見学。東京からは深夜の大垣行きに乗り家路につきました。



桐山副学長(左)と筆者

そんな貧乏旅行をした桐山君と44年後の今、大学の同窓会活動を共にし、たまに飲み会をさせていただいています。コロナの影響で新入生は大学にすら登校できず、一緒に旅行できる仲間もできず、という学生もいると思います。彼らにも私たちがしたような濃密な時間が与えられますようにと祈るばかりです。

明日を拓く、先進の電設資材



ニシムラ株式会社

代表取締役会長 蔵岡 一彦

(昭和40年 経済学部)

本社 / 〒601-8104 京都市南区上鳥羽角田町 32
TEL : 075-681-2331 FAX : 075-671-1041
営業所 : 京都府6 滋賀県5 東京都1 愛知県1 大阪府1
<http://www.nsmr.co.jp>

ブルーベリー園

高橋美子(生昭50卒)

卒業以来、建築の仕事をしていましたが、19年前突然ブルーベリー栽培を思い付きました。何かを自分の手で育ててみたくなったように思います。なぜブルーベリーかといういろいろな理由はあるのですが、かわいからというのが一番でしょうか。農業の経験が全くないので、図書と先人の農園見学で教えを受け、幸い3500平方メートルの適切な農地を借りられ、いわゆる兼業農家になりました。



始めた当初は苗品種選定、注文、農地整備、植え付けなど様々な作業をひたすら行っていたのを思い出します。夫婦共自営業のような立場なので時間配分しながら働き、5年後、ブルーベリー摘み取り農園を開園しました。

今振り返ると結構面白い時間を過ごせたと思います。近年は獣害の激化、気候不順、老化など経験してきたゆえの困難さを感じますが、考えながら体を動かす良い生活になると思って続けています。写真は夢中で動いていた若かりし時のものです。

現在、市大での特定行為(インスリン調整)模索中・・

江尻加奈子(看平4卒)



私は2019年度、公立大学法人大阪市立大学の看護師特定行為研修を修了しました。特定行為研修を行う指定研修機関は2020年8月現在46都道府県222機関ですが、市大では2017年より研修機関として登録し特定行為の6区分の研修を行っています。私は認定看護師として糖尿病看護分野を専門としているためインスリン調整と栄養・水分の2つの特定行為区分について学びました。

2019年度は特定行為研修のカリキュラム変更があり研修時間が短縮、領域別パッケージ化で研修の負担が軽減された一方、認定看護師には特定+認定看護師となることを求められ始めました。急性期医療を担う大学病院だからこそ周術期・ステロイド使用・感染でシックデイ状態などの患者にはきめ細かいインスリン調整が必要です。患者へのタイムリーなケアの提供のため現在、糖尿病コントロールチーム(DCT)の医師のもとで医師の思考や指示を引き続き学んでいます。特定行為を修了した看護師としての役割を果たせるよう模索中です。

一緒に、セレッソ大阪を応援しましょう!

同窓短信

洲鎌 亮(医平12卒)

セレッソ大阪をご存知でしょうか。大阪市、堺市をホームタウンとするプロサッカーチームです。ホームスタジアムは長居のヤンマースタジアム。私が所属する大阪市立大整形外科教室は、セレッソ大阪の前身であるヤンマーディーゼルサッカー部時代より約35年間にわたりチームドクターを務めています。

私は、2006年よりセレッソ大阪に関わる仕事に従事しており、2017年からはチームドクターのチーフを務めております(初代チーフは、医昭43卒の北野公造先生)。チームドクターは当然一人ではありません。現在、整形外科教室を中心に22人もドクターが活動しています。

チームドクターってどんなイメージでしょうか。グラウンドにヤカンをもって走っていく・・・。テレビの古い録画でこんなシーンを見たことはありませんか。間違いではありませんが、これは一部分にすぎません。チームドクターの仕事は、試合開催時ベンチに控えるベンチドクター、試合会場の医務室に控える会場ドクター、外傷発生後の手術を含めた治療・競技復帰までのプラン作成などの傷害・障害管理、メディカルチェックや予防接種のプログラム作成などの健康管理、そしてJリーグとの連絡などの事務作業まで多岐にわたります。



私の元にはチームから全ての連絡が入りますので、常に選手の状態を把握し、ドクターを統括する必要があります。さらには、セレッソ大阪はJ1のトップチームのみではなく、J3のU23、なでしこ1部のセレッソ大阪堺レディースをはじめユース、ジュニアユース、ガールズなど下部組織の管理も含みます。多くの方々のサポートを受け、なんとかやれている状況です。

2017年には、大阪市立大学とセレッソ大阪の間に、正式にフレンドシップ協定が締結され、選手やアカデミー部門のデータ分析に基づいた年代別のトレーニング方法の開発、障害予防などの健康・スポーツ医学研究の振興や、セレッソ大阪の応援を通じた地域スポーツクラブの発展、またスポーツを支える人材育成などにも、大阪市立大学として取り組んでいます。

スポーツ観戦の醍醐味は応援です。スタジアムで観戦する、テレビで見る時もそうですが、新聞で結果を見る時も、応援するチームがある方が楽しいです。大阪市立大学と関係の深いセレッソ大阪と一緒に応援してください!そして、ヤンマースタジアムで僕たちを見つけて下さいね。

地域に生きる同窓会② 望めばいつでも仲間と顔を 合わせられる、愛知支部



愛知支部長 滋野公彦(経昭59卒)

今や世界中に感染が拡大している新型コロナウイルス(COVID-19)。最初にヒトへ感染が報告されたのは2019年12月、中国武漢市からでした。その時は遠い出来事だと思っていましたが、ここまで私たちに直接影響を与えるものになるとは、想像さえできませんでした。経済への打撃があるものの、感染者、死者数増加への対策として日常生活への制約が発生。その中で、顔を合わせて語り合う同窓会活動を中断しています。仕方ないことですが、断腸の思いです。ただ当然ですが、ワクチン開発などもあり、いずれは必ず収束に向かうものです。早期に同窓会活動が復活することを強く祈念し、今回は、地道な毎月の同窓会活動を通じて、年間イベントやこれまで行ってきた愛知支部の活動をご紹介します。

設立のきっかけ

愛知支部の設立に先立ち、染矢成人氏(昭9卒)、大西樞次氏(昭17卒)、宮川茂夫氏(昭24卒)の3人の先輩の存在があります。当時、東海支部という名前の組織がありましたが、「2年に1回の会合を開いても、10人程度しか集まらない。前途を憂いている」との切なる思いをお持ちでした。

3人の先輩からの要請を現在も会員である奥村修二氏(経昭38卒)が受け、「広く交流の枠を拡大するため、文系OBである有恒会メンバーに限定するのではなく、市大卒全体に広げて、愛知支部として再建を果たしていく」との基本方針を進めることになりました。

有恒会本部のご協力も受け、若手の同窓生に幹事就任を呼びかけられました。意気に感じた方々が20人も集まり、ここに愛知支部の幹事団が編成されました。幹事団のメンバーによる懸命なご尽力により、愛知支部第1回総会が

1987年(2019年は第33回)に開かれ、170人が集まる大盛会となりました。

先の3先輩からも「涙が出るほどうれしい」とのお言葉も出されました。出席した方々同士による再会は、当時の皆様方によると、今でも映像として目に浮かぶ感動的なものがあったそうです。

月例会のスタート

奥村氏の想いとして、「年に1回の総会だけでは、同窓会の交流は不十分ではないか。もっと仲間がいつでも気楽に集まれる場が必要ではないだろうか」と。59歳で会社を辞められて貸会議室を始められ、そこでの場づくりをご提案されました。当時の愛知支部長の松下忠男氏(法昭29卒)および幹事の皆様方と語り、1998年に貸会議室(注:名古屋市旧御園座伏見ビル)にて、「市大サロン」として毎月1回定例の会合をスタートすることになりました。

月例会「市大サロン」の定着

「愛知支部・市大サロン」は、その後に場所変更はありました(注:御園座建て替えて近隣のビルに移転)が、毎月第3水曜日の18時半~20時までを定例として、年間10回(8月盆休み、11月支部総会の開催月を除く)、お酒と軽食を伴い、奥村氏主導により開催されてきました。

設立当時は、3~5人の参加でしたが、昨今では10~15人が集まる場になっており、これまで約200回の開催となっています。参加者の年代、職業、性別、話題も非常に多岐にわたり、新しい交友関係も生まれており、この市大サロンに集う皆様方は愛知支部のコアであり、活動のベースとなっています。

総会について

最大のイベントはもちろん総会です。例年、歴代の学長(もしくは副学長)や全学同窓会会長、有恒会代表の方々がご来賓としてお越しいただき、75人前後で名古屋駅前のホテルで開催されています。

総会の特徴は老若男女のワイドレンジな会であることです。たとえば昨年度の総会では、平成卒の方が28人、女子の方8人がご参加いただいています。その実現には、特に市大OB数の多いヨタ自動車様からのご支援が寄与しており、深く感謝申し上げます。



200回を数えた「市大サロン」。写真は2007年12月開催。



納涼会で長良川の鵜飼を楽しむ会員ら=2018年7月



養命酒製造工場を訪れた旅行会＝2019年7月



2019年総会で＝同年11月

納涼会・旅行会

上記活動でのネットワークにより、毎年、夏の納涼会(ビアガーデンなどでの宴)や秋の旅行会(川下り、温泉、モノづくり見学など)も開催しており、夫婦同伴などもあり、楽しい集まりになっています。

有恒会アワードを踏まえて

大変名誉なことに、月例会「市大サロン」活動を中心にご評価を賜り、2019年・第1回有恒会アワードにて優秀賞を

受賞し、支部メンバー一同大変うれしい思いをいたしました。そのことはひとえに創立時からの諸先輩ならびに現在の全メンバーによる必死の活動成果であると思います。

今年度はコロナ禍で一時的に活動休止の状態にはなっていますが、来年度はこの賞を励みに、現代のSNSにはない素晴らしい価値を生むべく、リアルなネットワークを大切にして、再びFace To Face で温かい情を育む会を立ち上げていきたいと思っています。

支部だより



60周年を迎える大阪南支部と「フグの食事会」

とき：令和2年2月17日(月) ところ：ふぐ料理「孫七(まごしち)」

大阪南支部の歴史は長く1961年9月28日に大阪南有恒会(以下大阪南支部)が設立され、2021年に60周年を迎えます。当時から有恒会の名を謳っているものの、卒業学部を問わず文理融合した同窓会です。2000年代に入り若手メンバーによる異業種交流会(O-CUP)が設立され、それ以降、大阪南支部はO-CUPメンバーが中心となり脈々と受け継がれています。

2012年11月、全学同窓会の発足と共に支部全学化が進み、従来の同窓会活動に加えて大学支援(夢基金への協力、在学生

支援等)が大きくクローズアップされました18年には幹事を一新して活動の幅が全学ベースに拡大・充実され、支部名が大阪市立大学同窓会大阪南支部に改称されました。

このような歴史ある大阪南支部ですが、他に何かと言われれば、新年に開催される孫七(谷町4丁目)での「フグの食事会」が挙げられます。大西基勝氏(商昭52卒)の提案で始まり、年々盛会となっています。リーズナブルな会費で、その質、量の豪華さに参加者は大感激。例年、荒川哲男学長(医昭50卒)、児玉隆夫全学同窓会会長(理院昭43修)にもご参加いただいております。これからも長く続く食事会になるでしょう。

2020年「ふぐの食事会」は大学指針のコロナ対策を遵守して、2月17日に32名が参加して開催しました。参加者の一人に令和元年5月26日、市大第二体育館にてWBO APフライ級世界タイトル戦で健闘した坂本真宏君(工院)も嬉しい笑顔の中に溶け込んでいました。今回も大きく盛り上がり、気が付けば3時間があっという間に過ぎ去りました。

60周年を迎える大阪南支部は活動方針として大学・在学生支援を掲げています。大学環境整備(キャンパス清掃、植樹)、在学生の音楽系団体(交響楽団等)定期演奏会への参加等、ボランティア精神を発揮し、楽しく母校・在学生そして地域貢献に取り組んでいきます。市大の皆様、地域を越えて大阪南支部の仲間に入って下さい。面白い企画、アイデアを下さい。皆様と一緒に面白い大阪南支部を創って行きましょう。

大阪南支部 支部長 金村福寿(商昭56卒)



最近の台湾情勢

私は台北市に在住し、優力日台貿易の總經理を務めています。最近の台湾情勢をお伝えします。台湾では世界各国に散った国民までが帰国して、1月11日に4年に一度の総統選挙が行われ、国民党の韓国瑜候補を民進党現職の蔡英文総統が圧倒しました。香港でのデモ鎮圧に見られた横暴を台湾では許さないという意味の一般市民の団結力には感動を覚えました。



この選挙活動の真最中に、新型コロナウイルス関連による武漢からの入国封鎖等次々に防疫対策が発動され、2020年9月25日現在で確定症例数509名、隔離解除数480名、累計死亡者数7名という状況です。更にアメリカやヨーロッパの要人が訪台する度に台湾海峡には中国空軍部隊の威嚇行動が度々発生し、まさに一触即発ですが、兵役が撤廃され4カ月の軍事演習参加だけになった弱々しい若者には、国防は無理と笑いながら話す台湾の人々に人の良さや達観の境地を感じます。一方3月以来観光客を封鎖したことで、観光や商談を生業としてきたサービス業は大打撃でしたが、大転換のチャンスと捉えてしがらみを整理し、弊社も含め生き残りをかけたチャレンジが続く毎日です。



つくづく感じるのは、台湾企業は徹底した合理主義である反面、義理、人情を大切に、信頼ですべて決まるということ。計算を度外視した仲間意識が持てる相手なら徹底的に協力する気質。これが義援金やボランティアなどの行動に結びついていると改めて納得している次第です。

1972年の国連離脱と日中国交回復以来、国際社会で孤立してきた台湾。2003年のSARS(重症急性呼吸器症候群)流行の際もWHOからの支援なしで独自の解決を強いられたが故に、今回のコロナウイルスへの対応は迅速な対応ができました。「あの衛生管理の行き届いている先進国だったはずの日本がどうして?」と訝しがる台湾での声をよく耳にします。従来の社会システムが崩壊していく中、丸腰でも対等なコミュニケーションができるパートナーシップと、あらゆる自立を前提とした責任力が台湾の何よりの財産です。 田村圭介(商昭62卒)

シンガポール赴任中にまさかのコロナ禍

コロナ禍での外出制限、まさか自分の人生で、ましてやシンガポール赴任中にこんなことが起こるとは…。2月7日、政府の警戒レベル引き上げ発表後パニックが起り、食料や日用品の買

いだめに人々がスーパーに殺到し、スーパーの棚はガラガラに。昔テレビで見たオイルショック時の映像を思い出しました。



シンガポールは、大阪市の約3倍の面積に約570万人が暮らす都市国家。中華系、マレー系、インド系と多民族が暮らして

おり、人口の3分の1は外国籍です。感染者の増加を受け、4月7日に政府はシンガポール版のロックダウン「サーキットブレーカー」を発表し、必須サービスや製造活動を除く大半の職場、学校、レストラン、商業施設は閉鎖。私の予定表の半分を埋めていた東南アジア各国への出張は白紙になり、在宅勤務、引き籠り生活を余儀なくされました。シンガポールの象徴であった華やかなベイエリア、夜中まで賑やかだったレストラン街も静まり返り、「従来の当たり前」が日常から消えてしまいました。

ただ今回再認識できたのは、周りの環境が変わっても、自分のやるべき本質は変わらないということ。これまでは「従来の当たり前」に惑わされ、輪郭が不鮮明になっていた本質が、コロナ禍において自分を見つめ直すことで浮き彫りになりました。仕事も楽しみ、プライベートも楽しむ!長い目でみれば、今は特殊な環境のもと、状況に応じて手段を変えて種々行っているだけで、やるべき本質は変わっていません。

現在、徐々に制限が緩和されつつあり、活動の幅も広がってきました。医療機関をはじめ、交通、物流等、社会基盤を支えてくださる方々のお陰で安全に普通に生活できることに日々感謝し、アジアのハブであるこの国から日本と世界を眺め活動していきたいと思います。市大同窓会シンガポール支部は現在20名が在籍しています。コロナ前は、同窓懇親会、ゴルフ等の活動を行っていました。支部の活動を早く再開できることを願っています。

鷹合俊博(工院平16修)

香港から日本を眺めれば

駐在員として香港に住み始めて4年が経過するが、近年の香港の歴史の中でも、かなり激動の中を過ごしてきたように感じる。当初の3年ほどは、中国の中間所得層の増加を背景に、中国から香港へのインバウンド旅客が年間5千万人を超えるなど、人も経済もこちらが圧倒されるほど非常に活気があったが、日本でも多数の報道がなされているように、逃亡犯条例や国家安全維持法をきっかけとして、ここ1~2年の香港の情勢は慌ただしく変化している。

そういった最中に今回のコロナによるパンデミックが発生し、香港での生活は以前と様変わりしてしまった。香港では、日本よりもずっと感染者数が少ないにも拘らず、政府による集合規制が徹底されており、本稿を執筆している9月初現在で、屋外での集合や飲食店の利用は2名までと制限され、少し前までは夕刻に夕食をすることすらできない期間もあった。当然ながら、公共の交通機関や施設でのマスク着用も義務化されており、これらが相まって外出の意欲が削がれ、かなりストレスの溜まる日常を送っている。また、日本と同様に会社がSplit OperationやWFH(Work from Home)を導入しており、ほとんど家から出ることなく一週間が過ぎることもある。

一見過剰とも思える香港の対応の原点にあるのは、2002年に発生したSARSでの経験であろう。実際、コロナの感染が広がり始めた当初より、ビル内の清掃の徹底や、アルコール消毒のボトルがそこら中に設置されるなど、感染症対策のスピードは目を見張るものがあった。



そのような香港で暮らしている立場として、日本のコロナへの対応は非常に『緩やか』であると感じる。同僚のローカルスタッフからの「日本人たちはもっと健康に対する意識が高いと思っていた」という言葉が心に残っており、日本に対するイメージも若干変化しているのではないと思われる。日本は香港の人々の旅行先として非常に人気が高いが、海外現地の人々の感覚の変化は、コロナ克服後の日本旅行にも多少の影響を与えらると思われる。世界中の情報がタイムリーに共有される環境となった今、改めて一人ひとりの行動に責任が問われる時代となったのではないかと、身の引き締まる思いである。

白鳥達也(経平20卒)

打倒コロナ鬱、妻と息子と公園へ、それが一番。

NY在住のアクター、ヨシ天尾です！2020年は好発進！のはずでした。1月半ばからブラジル・サンパウロでテレビ撮影。バラエティ番組の司会で、ブラジルのセクシー・セレブ、サブリーナ・サトーとの共演。いいぞいいぞ！撮影も順調で、シーズン2の話もちょうど出はじめた2月某日、コロナ発生のニュースを耳にしました。2月下旬NYに戻ってからも、徐々に感染は拡大。

3月半ばにはNY市で外出禁止令が発令され、私が剣術クラスを指導しているスタジオも全面閉鎖。毎年春、全米各地で開催される桜祭りでもサムライ公演を行ってきましたが、イベントは全てキャンセル。テレビ、映画の撮影も中止。オーディションもなし。ブラジルの話も消えた。夫婦ともにアクターという、普段から綱渡りの状況に、3歳になって活動範囲が広がった息子の育児、そこへコロナがやって来た！もうお手上げ～！となってもよさそうな状況で、沈まずに元気に生き残れているキョウ



ードは2つ。それは「ボイス」と「ファミリー」。

現場での撮影、ライブパフォーマンスがなくなった代わりに、自宅スタジオでの声の録音の仕事が増えました。ロックダウンが解除されてからは、妻と息子と共に公園、プール、動物園、お買い物や外食など、結構楽しんでます。私自身の仕事も声の録音に加えて、毎週のオンラインでの殺陣クラス、コメディビデオ作成などを行っているうちに、徐々にテレビ・映画等のオーディションも復活してきました。

リユニオンも増えました。昔の職場や仲間、そして大学の同窓生と新たにつながる。たとえオンラインだとしても、やはり人とのふれあいがたまらなく恋しくなってきた今日この頃。このコロナ禍での生活がいろんな事を考えさせてくれます。本当の友とは、人間の本质について、これからの人生いかに生きるべきか、我が人生に悔いはないか、などなど。ただし、考えすぎはいけませんね。コロナ鬱なんかなくなってたまるか！さあ、今日も考えるより先に、まずは息子と公園に、レッツ・ゴー！

天尾嘉宏(経昭61卒)

協和綜合法律事務所

所長 辯護士 阪口 春 男
(法昭30卒)

大阪事務所
〒530-0017 大阪市北区角田町8番1号
梅田阪急ビルオフィスタワー 34階
電話 (06) 6311-8800 番 FAX (06) 6311-8806 番

東京事務所
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目7番1号
有楽町電気ビル南館11階
電話 (03) 3216-1171 番 FAX (03) 3216-1173 番

中国上海事務所 上海大成律師事務所内

株式会社 iTest

【開発・検証エンジニア】

◆ 身近な家電製品や専門性の高い産業機器まで、組込みソフトウェアの開発・検証の「専門企業」です。

【新製品】

◆ リモートデスクトップを実現する「Secure文探」世界に向けて始動！！



株式会社 iTest 代表取締役社長 上島 健二
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目8番3号
新大阪サンアールビル北館605号
TEL : 06-6838-7127 <http://www.itest.co.jp/>



大阪市立大学同窓会・有恒会 支部連絡先一覧 (国内、海外)

No.	国内・支部名	支部長・会長 幹事代表、事務局等		学部卒年	メールアドレス
1	北海道支部	支部長	石黒 直文 矢橋 潤一郎	経昭29 経平6	isgr@jcom.home.ne.jp j.yabashi@hokkai-jp.com
2	東北支部	支部長	石橋 信勝 早川 公康	法昭44 生院平10	nt.bashi@nifty.com km-hayakawa@sendai-u.ac.jp
3	埼玉支部	支部長	沖津 由紀子	理院昭51	okiyuki.0306@gmail.com
4	千葉支部	支部長	福田 和記	商昭46	fukuda.bb@gmail.com
5	東京支部	支部長	深尾 愛二郎	経昭44	aijiro.fukao@socio-consultants.com
6	横浜支部	支部長	森 聡彦	経昭59	toshihiko-mori@mu-res.co.jp
7	湘南支部	支部長	植嶋 平治	商昭51	hueshima@nifty.com
8	静岡支部	支部長	山本 義彦	経博昭48	yamamoto-y@hotmail.co.jp
9	富山支部	支部長	粟島 憲治	商昭52	ken.awashima@nifty.com
10	石川支部	支部長	伊藤 光明	経昭49	ito_mitsuaki@yahoo.co.jp
11	福井支部	支部長	和田 龍三	経昭49	ryuzo@mitene.or.jp
12	愛知支部	支部長	滋野 公彦 奥田 篤志	経昭59 経平1	k-shigeno@admatechs.co.jp atsushi-okuda@kajima.com
13	三重支部	支部長	北村 純一	経昭46	ripple@k7.dion.ne.jp
14	有恒会 京滋支部	支部長	藤野 正純 上田 雅弘	商昭51 商昭59	fujino@mbox.kyoto-net.or.jp masahiroeda1959@yahoo.co.jp
15	有恒会 大阪北支部	支部長	小林 俊介 甘田 外成	法昭44 経昭40	koba@amigo.zaq.jp sotonarikanda@m8.gyao.ne.jp
16	大阪南支部	支部長	金村 福寿 崎山 光友	商昭56 商昭50	kanemura@fukujyu.jp m.sakiyama1161@gmail.com
17	北摂支部	支部長	池上 隆彦 中尾 浩己	医昭40 商昭42	hiromin_nakao@tcct.zaq.ne.jp
18	南大阪支部	支部長	頓花 修二 古下 政義	商昭54 法平3	tomihana.shuji@gmail.com ksm@city.sakai.lg.jp
19	北河内支部	支部長	梶巻 正男	理昭45	kajimaki-m@nifty.com
20	神戸支部	支部長	梅村 晋一 竹本 昌弘	法昭55 法昭53	umemura_shinichi@me.com law.o.takemoto@nifty.com
21	宝塚支部	支部長	原木 文吉	商昭43	bmast@jttk.zaq.ne.jp
22	姫路しらさぎ支部	支部長	松浦 康裕 吉備 文昭	経昭50 商昭51	matsuura1@zeus.eonet.ne.jp makibi@kuh.biglobe.ne.jp
23	奈良支部	支部長	高橋 敏朗 一柳 茂	営修昭43 商昭49	ichiryu633@rainbow.plala.or.jp
24	有恒会 和歌山支部	支部長	小佐田 昌計 山田 幸太郎	法昭43 商平3	yamada_k0027@pref.wakayama.lg.jp
25	有恒会 岡山支部	支部長	小野 健太郎	商平5	onoken55@gmail.com
26	有恒会 広島支部	支部長	井上 道 河合 直人	法平3 法平11	o.inoue@viola.ocn.ne.jp kawai@hiroso.jp
27	有恒会 福山支部	支部長	塚本 義政	法昭53	tsuka0418@ec2.technowave.ne.jp
28	山口支部	支部長	吉田 慈孝	理修平11	31344u@ube-ind.co.jp
29	山陰支部	支部長	梅林 広志	商昭49	harve415@sea.chukai.ne.jp
30	香川支部	支部長	高木 孝征	商昭51	tkyk.tkg.226@docomo.ne.jp
31	徳島有恒会	支部長	大平 恒己 沢田 久志	経昭41 商平6	taishi@ec3.technowave.ne.jp ok.hisashi_123@docomo.ne.jp
32	愛媛支部	支部長	曲田 清維 浮田 泰昌	生院昭52 経昭54	magata.kiyotada@sky.plala.or.jp ukitakaikei@dream.com
33	福岡支部	支部長	藤本 美佐子 棟居 秀信	生昭47 商昭52	fnaw1@soleil.ocn.ne.jp h-munesue@grace.ocn.ne.jp
34	大分支部	支部長	日名子 晃三郎 中野 洋介	経昭38 商平4	yono606@yahoo.co.jp
35	長崎支部	支部長	古河 幹夫	経昭52	furukawa@sun.ac.jp
36	熊本支部	支部長	鳥飼 香代子	生昭46	torikaikayoko@hotmail.co.jp
37	宮崎支部	支部長	橋口 律男	法昭49	hasiguti@d6.dion.ne.jp
38	鹿児島支部	会長 支部長	平田 宗興 中村 俊久	医昭46 商昭47	okihirata@gmail.com ntoshisakurajima01@ae.auone-net.jp
39	沖縄支部	支部長	天願 勇 目加田 博史	医昭47 商昭53	dr.isamu@tougou.jp mec@mekata.co.jp

海外・支部名	代表者	学部卒年	メールアドレス	海外・支部名	代表者	学部卒年	メールアドレス
上海支部(上海友好会)	奥田 洋一	工平9	okuda.5m3.yohichi@cn.nssmc.com	シンガポール	森田 宏	商昭45	morita@sky21.com.sg
台湾支部	田村 圭介	商昭62	tamurakeisuke7@gmail.com	ニューヨーク支部	天尾 嘉宏	経昭61	yoshiamao@gmail.com
香港支部	森實 章	法昭55	morizane@hongkongnavigator.com.hk	ホーチミン支部	猪谷 太栄	法平11	inotani@vitjp.com
バンコク支部	田宮久弥雄	経平13	tamiya.kumio@jp.panasonic.com	ジャカルタ支部	津田 俊宏	商昭55	tsuda@cabinindo.co.id
クアランブール支部	沼 裕子	経平7	numa.yuko@his-world.com	ハノイ支部	森田 圭祐	経平23	k.morita.wpolo@gmail.com

会員のひろば



「市大陸上競技部」という固い絆で結ばれ、初対面でもすぐ旧知の仲のように語らいができる、なんと素晴らしいことか。市大陸上競技部に所属し、「同じ釜の飯を食った」ことを誇りに思います。

創部100周年ということもあり、ご祝辞を頂いた荒川哲男学長をはじめ、100人にご寄稿いただき、写真や記録集などをも含めて100周年記念誌を構成しました。この100周年記念誌が、OB・OG各位のみならず、寄贈させていただいた近畿の各陸上競技協会、各大学、各高校等において、未来永劫引き継がれていくことに大きな意義を感じております。

さらには2022年春に大阪府立大学との統合を控え、大阪市立大学陸上競技部の記念誌としては最後になりましたことも、感慨深く感じる次第です。

大阪市立大学陸友会会長 亀井信吾(商昭52卒)

クラブOB会

陸上競技部創部100周年記念誌を発刊いたしました

1880年に創設された大阪商業講習所から数えて大阪市立大学創設140周年、文系同窓会の有恒会創設130周年を迎える節目の2020年に、市大陸上競技部が創部100周年を迎えました。100年前から先達たちが営々と築いてきた歴史に深く敬意を表したいと思います。

縁あって市大陸上競技部の門を叩き、共に汗を流し、時には悔し涙に暮れ、時には勝利に感涙し、「忘れられない記憶」と「生涯の友」という人生における貴重な財産を得ることができた陸上競技部OB・OGの面々。



松原法律事務所

松原 健士郎

事務所 〒770-0003 徳島市北田宮2丁目6番33号
TEL. 088-625-8505 FAX. 088-622-9455

読者の声

新大学への提言
「森之宮移転につき是非一言いいたい」

とかく、大学やコンベンションセンターの界隈は静寂、特に夜は。さらに大学の休暇日が長く、コンベンションセンターは見本市や会議等が開催されなければ静寂。よって、私の考えは、住居マンションを近接地にするのはいいことだと思うが、駅から大学までの通りにひと工夫がいると思う。

最寄り駅から大学、そして大阪城までの導線を設定してそこにアーケードを設置しにぎやかな人の集まる通りにすることである。また、人集めのできる商業施設を誘致する、学生をバイトで使ってもらうために、学生が運営できる多目的ホールも確保しておくこと。そのプロムナードの名前案は、例えば、OPU 大阪城プロムナード。

また、学問の最高学府とかの固定概念とは惜別して、人々のための、皆のための、世界の人々のための意味合いを英語で講義する科目を3つぐらい入れ込むのがいいと思う。

実は1983-86年、シンガポールの2000室のホテル「Westin Stanford and Westin plaza」(当時名)の開業前、営業計画を担当しており、そこはホテル、事務所、住居、商業施設一体型の多目的ビルで、73階建てのアジア一高いホテルだった。

その施設を売るために、周りに人集機能を持つ施設や導線もないとエリア(面で)で活性化しないということで、近隣の建設予定だったサンテックコンベンションセンターと周りの5ホテルも一緒になっていろいろと催事を計画したり医学関係の学会にセールスに行ったりして3-5年先のビジネスを取ることだけに専念していた。

その甲斐あって、順天堂大学病院の眼科部長さんが世界眼科学会の会長をされており、日本のシンガポール大使館の大使を担ぎ出して国をあげての営業熱意が伝わり、官民一体の努力で4000人の眼科医と関連業者が集うコンベンションを誘致することができた。

森之宮だと思いつくのは、帝国ホテルとニューオータニがあるが、あと4、5件ホテルがあってもいい。一般的には、そんなに人が来るところではないのではと保守的な人は言うが、ポイントは、コンベンションセンターなどの施設が建てば、人を集められるということだ。お陰でシンガポールのアジア一大きく背の高いホテルが80%の占有率を保つことができた。大学では、医学会のみならず地理学会とか学術会議の誘致も可能ではないだろうか。

横浜みなとみらい21の開発についても、横浜駅西口に比べ東口が寂しい限りであったので、横浜みなとみらい21のサイト内にどういう施設を作るかの前に最寄り駅からの導線をダイナマイトの導線のように熱く燃え誘うプロムナードを作ることが先決ですよと提言したことが大受けした記憶ある。そのことにより地域共同体と一丸になり(対立せず)、今日の繁栄を築いている。

そのほか、思いつくことは、東大阪などに多い中小企業の製品展示場や商談所を一同に集めるのも面白いと思う。大学との共同研究もできる。大阪ソウルフードコートを常設、たこ焼き、お好み焼き、焼きそば、焼き鳥、串焼き、うどん屋等々を近接地に開設させることで人がイベントに関係なく集まってくる。大学の西側の開発地が人集施設の要になるだろう。

マイアミに世界中のテニス(錦織が育ったところ)やゴルフのプロを養成する施設があるがそのミニバンを作るのもいいだろう。卓球、バドミントン、フットサル、フ

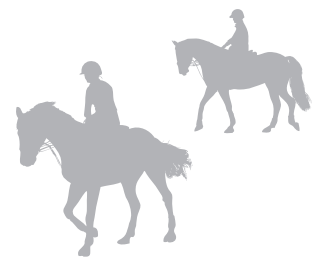
ィットネスクラブ等々、各スポーツやジムの指導者養成学校も面白い。

「Sports City 大阪」と銘打って関連施設を誘致する。アシックス(?)も大型ビジョンも設置して世界のスポーツイベントをライブで見せるスポーツバーとかいろいろと考え得る。馬術でなく軽く乗馬で周辺を一周できるようなインフラを作れば面白い。その管理運営は大学の馬術部に任せる。

いつも餌代稼ぎでアルバイトに明け暮れていた同級生を思い出す。年齢10~15歳ぐらいの年寄り馬を使って軽く乗馬を楽しませてくれる乗馬センターもある。綱引き人付きなので馬が暴走しないようにしているので安心だ。まさに大阪都構想の膝下で豊臣秀吉の装束で馬に乗るもよし、秀吉の正妻ねねの装束でもいい。とかく乗馬を気軽にできる場所は日本には少ない。

水の都をアピールする意味で水上ボートの回遊先を見直し拡大する。さらに言及すると、日本最大のハロウィン会場を提供する。最後に、未来の電気自動車市場道路を整備、大学用地の西側の開発で馬と電気自動車が行く世界で唯一無比なところとして脚光を浴びるのでは。まさに夢は尽きない。

門口武史(商昭45卒)



森下会計事務所

所長 税理士 森下 豊
(商学部 昭和47年卒)

事務所 大阪市淀川区西中島5丁目12番8号
新大阪ローズビル303
TEL. 06-6308-2802 FAX. 06-6308-2151
E-mail: morisita@apricot.ocn.jp

読者の作品



作品名:トルコ・カッパドキアにて熱気球体験
 作者:梅村晋一(法昭55卒)
 2012年8月、カッパドキアにて熱気球体験のオプションツアーがあり、高所恐怖症の私は不参加を申し出。ところが他のツアー全員が参加と添乗員に告げられ、覚悟を決めての参加表明。素晴らしい感動ものの中浮遊体験となりました(笑)



作品名:葛
 作者:伴 享子(看昭35卒)
 くずの出回りは8月から9月。つる性の茎に大きな葉と紫色の花をつけます。秋の七草のひとつで、各地の山野でよく見られます。小さな花が集まって全体が円錐形になっています。くずはアジアの熱帯から温帯にかけて広く分布し、日本では昔から澱粉(葛粉)を取る植物として親しまれてきました。毎年家の近くで目にするので、親しみを感じています。私は退職後、水墨画に挑戦。十数回、水墨画展に出品し、臨画部門で佳作という評価を受けました。たまたまハガキを作っていたので、小さくして同窓会報に載せて頂きました。

皆様の作品(絵画・写真・書・俳句・アート他)をお待ちしています。出稿要領は最終頁の出稿規定をご参照ください。



ご存じですか?

ご自宅[🏠]で、京都銀行をご利用いただけます!!

▶ 例えば! 京銀アプリ&京銀ダイレクトバンキングで... ◀

口座開設

残高照会

振込振替

税金・各種料金払込 (Pay-easy)

投資信託・外貨預金



まずはダウンロード



京銀アプリ



(2020年8月1日現在)

同窓生の図書紹介

指学問・指折り数えて

鳥居貞義(商昭34卒)

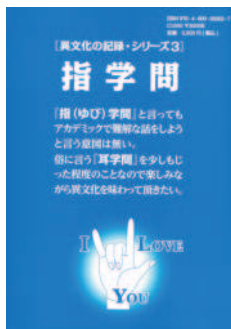
「誰も書かなかったことを書きたい」と文豪・森鷗外は小説のはじめに書かれていましたが、私も常に同じ意見で対処しています。理科系論文の実験データに代わる調査データを文科系論文に採用したことをはじめ、誰も着目しなかった点を追求したのが本論文です。

商談を始める前には相手が興味を持つ話題が必須です。指で数を数える方法が民族によって異なる点を発見した事例を参考に、「日本人は指を折って数えるが、あなたの国ではどのように数えますか」と質問した時、私の示した方法に驚きと興味を持たれました。ほとんどの国が全く違う数え方、即ち多くの国では指を開きながら数えるのです。

世界40民族についてデータを収集し、本書を上梓できたのは多くの幸運があったからです。仕事が役に立つ例は多くありますが、仕事始めが研究始めとなり、データの収集に役立ちました。

(東和印刷、2019年9月、2000円+税)

筆者記



北海道200年構想

久保信彦(商昭30卒)

著者は2007年3月退職に合わせて北海道札幌市に移住、ついに30年越しの夢をかなえることができた。しかし北海道で彼を待っていたのは、将来の夢を語らない現役や若者たちの姿、そして問題だらけの経済指標だった。50年前の現役社会人時代に感じたフロンティアスピリッツに溢れ、限りなく発展する熱い大地の姿は影をひそめていた。

このままで良いはずはない。北海道から受けた大恩に報いるすべはないのかと考えていた時、ある人の勧めもあって北海道の自立と再生、幸せの実現への手がかりを求める一冊の著作に取り掛かった。

本書は北海道産業のベースである農業を始めとして林業、酪農・畜産業、水産業、食品産業、観光産業、そしてエネルギーやゼロエネルギー住宅などの現状と今後の方向性を探り、相対優位産業を磨いて国内外で競争力を付けることを強調、北海道の再生を熱く語りかける。

(柏艚社、2020年8月、1700円+税)

世瀬義久記(経昭53卒)



犯罪からの社会復帰を問いなおす

掛川直之(創博平30卒)

強制施設等出所者に対する福祉的な支援が必要、と認識されるに至った背景には治安の最後の砦としてではなく福祉のそれとして存在する刑務所の実情がある。いくら希望してもそう簡単に刑務所には入れないが、累犯者だけは例外であり、生活に困窮する高齢者や障害者などの最後の砦としての刑務所が誕生することになる。

2000年代に入って日本の犯罪は右肩下がりで減少する一方で、再犯率の高さが問題にされている。本書は「社会復帰」という言葉が有しているはずの意味を確認したうえで本来の意味に立ち返り、社会福祉「ソーシャルワーク」にできること、やらなければならないことを考えていく。出所者の社会復帰に必要な要素について、さらには近年の刑事司法と福祉の連携のあり方に対し社会福祉学、とりわけ司法福祉学の立場から批判的に考察を加え、出所者の生活に寄り沿ったソーシャルワークのあり方を模索する。

(旬報社、2020年8月、2500円+税)

世瀬義久記(経昭53卒)



ゆうき君の月探検

二神元信(理昭40卒)

私は本と子どもが好きです。本屋さんへ行った折には絵本コーナーにも寄ります。幼児～小学低学年向けの絵本は数多く出版されています。けれどもそのほとんどは主人公が動物で、「教え」を動物同士または人と動物との交流に託したお話です。

一方昔話を除き、いわゆる起承転結のある日本の物語絵本はほとんど見かけません。子ども達は本にお説教や学びばかりを求めている訳ではありません。「冒険」、「探検」、「不思議」に話題が及ぶと格別な関心を示します。この本は、このような子ども達の期待に応えるべく作成した、新しいタイプの物語絵本です。

「ゆうき君」は月の世界で何を見つけ、「ゆうき君」にはどんな出会いと感動が待っているのでしょうか。子ども達に気に入ってもらえ、ひいては本好きになってくれればと思います。ストーリー展開で苦心したのは、月への往復、特に地球への帰還です。手軽な場面換わりではなく、そこには子どもが納得するだけの理屈や論理が必要と思い、試みました。

(静岡学術出版、2020年2月、1,200円+税)

筆者記





奇跡のリハビリ体験 四肢麻痺・要介護5からの生還 —歯周病に要注意!!

井上 茂(商昭41卒)

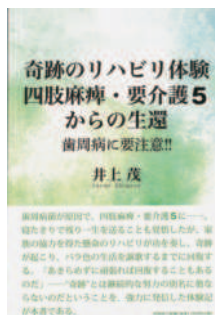
本書は著者の実体験を詳述した闘病記です。大病とは縁のなかった著者が、突然首から下が全く動かず緊急搬送されることに。原因は歯周病菌が歯茎の血管に入り、心臓と頸椎に悪さをしたことによりです。頸椎の膿瘍除去と心臓の僧帽弁を人工弁にする緊急手術で最悪の事態は免れましたが、寝たきりの状態を覚悟しなければならぬ要介護5と診断されました。しかしここから奇跡が起こります。

家族の惜しみない協力と本人の前向きなリハビリの努力により、退院時には要介護2まで回復し、さらに退院後も独自のメニューでリハビリに励んだ結果、要介護1まで回復することができました。

著者は本書で歯周病菌の恐ろしさを啓発しています。また、寝たきりでも可能なリハビリを自発的に行うなどプラス思考が随所に見られ、読み手に勇気と希望を与える個性的な闘病記です。多くの方への感謝の念に満ち溢れているのも魅力です。

(文芸社、2020年4月、1000円+税)

関野修記(商昭41卒)



地域のなかで子どもが育つ 学童保育

～ヘルシンキ・大阪の放課後～

塚田由佳里(生院平17修)

「小学生7割外遊びせず」—小学生の外遊びや異年齢遊びが極めて少なくなっており、子どもの暮らしにおける遊びは危機的状況にある。共働き家庭が増える今日、安全安心な放課後の居場所づくりが各地で取り組まれているが、施設内に子どもを囲い込む形で整備されるケースが多く、地域社会での生活体験や人やものとの関わりが得にくく、子どもの育ちへの影響が危惧される。

本書では働きながら子育てすることを前提とした社会システムが構築され、利用者のニーズに基づき教育・育児支援が行われるフィンランドの放課後施設や、長屋が残る地域空間を遊び場とし、ユニークな保育実践が展開される大阪市の学童保育の事例から豊かな放課後施設を実現するための5条件を提起している。

(西山卯三記念すまい・まちづくり文庫、人と住まい文庫vol.7、

2020年10月、1000円+税)

筆者記



持続可能な暮らし×自然系ゲストハウス

松原小夜子(生博54修)

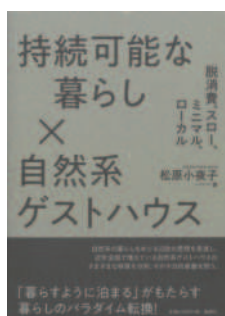
様々なモノを消費し、便利で快適な暮らしを享受しつつも、それらの転換の必要性を痛感させられる昨今。全国各地に生み出されている「自然系ゲストハウス」は、「暮らすように泊まる」簡易な宿で、自然系の暮らしに関する多彩なイベントや体験プログラムも行って、暮らし転換の具体的な方向を指し示してくれる。

本書の前半では、消費社会の形成と限界をみつめ、脱消費の暮らしに関する日欧の文献を参照しつつ今後のゆくえを探り、後半では、自然系ゲストハウスにおける衣・食・住・地域おこし等々のイベントの展開、宿泊者やイベント参加者の意識と価値観変化などを捉えている。

多くの人が自然系ゲストハウスに集い、暮らしのあり方をともに考えることで、わたしたちの暮らしが転換、再生されていくことを願いたいと思う。

(風媒社、2020年5月、2500円+税)

筆者記



教育力のある大学へ

古河幹夫(経昭52卒)

「選ばれる大学」になるために、大学自身がどう変わらなければならないか。長崎県立大学—University of Nagasaki—が、地方大学として長崎県でどのように存立してゆけばよいか、を着任して比較的時間もない教員を中心に、8人の教職員がそれぞれの専門分野から述べている。その内容は地方大学改革の理念、地元企業と協力してのインターンシップの実践、グローバル人材育成を目指す教育活動、少し難しい統計学のはなしなどから、学生のやる気を引き出すしかけづくりまで、多岐にわたる。

編者が副学長として勤務する長崎県立大学は、「長崎県立大学」「県立長崎シーボルト大学」の2つの県立大学が2008年に統合して生まれたもので、県北部の佐世保市と南部の長与町にキャンパスがある。佐世保キャンパスの副学長室を昨年7月に評者が訪ねた折にも、大学の一体感醸成が課題のひとつとして話題になった。また、長く有田焼として出荷されていた波佐見焼を、波佐見の町とともに独立したブランド化することに、大学人として尽力した熱い思いも聞くことができた。大阪公立大学—University of Osaka—のこれからを考えると、ヒントを与えてくれそうな一冊としておすすめする。

(海青社、2020年3月、2500円+税) 扇田豊記(法昭50卒)



追悼のことば



鬼追明夫先生を追悼する

荒鹿哲一(法昭45卒)



鬼追明夫先生には、私が弁護士になって1年目の時から、大東水害弁護団の末席に加えていただきました。地域住民の代理人となって国、大阪府、大東市に対する責任を追及することにより、都市水害をくり返さないという社会的に大きな意義のある訴訟に参加しました。先生は弁護団長として十数人の弁護士、原告団の多数の人々をまとめ、その方向性を正しく指導されました。そして国を相手とする住民訴訟という大型訴訟の進め方、難解な水理学という数学、物理学の理論をいかに裁判官に理解してもらうか、といったことを教えてくださいました。私自身の45年を超える弁護士生活で、出発点において先生から直接ご指導いただき、私の弁護士としての在り方、基本的姿勢に大きな影響を受けました。一審、二審では国、大阪府、大東市の治水対策が遅れたことへの責任を認め、損害賠償が認められ、その後続く全国の水害訴訟の先駆的役割を果たしました。けれども最高裁では残念ながら「改修途上にある河川については、特段の事由なき限り、改修が遅れたとしても責任は問えない」として敗訴しました。先生は「敗戦時において指導者の真価が問われる」として原告団、弁護団をまとめ上げ、2回も最高裁で戦い、その治水思想を後世の人々の審判に問うとして『水害と裁判と住民と』(清風堂書店刊)という540ページに及ぶ冊子を残されました。

(令和2年6月1日ご逝去)

巨星落つ

山口健一(法昭49卒)

鬼追先生は1960年に大阪弁護士会に登録され、その後、なにわ共同法律事務所を設立され、多くの有能な弁護士を育ててこられました。事務所は企業法務だけでなく、いわゆる庶民の事件も幅広く取り扱う事務所、多くの修習生あこがれの事務所でした。

鬼追先生は大きな事務所を運営しながら、大東水害訴訟や多奈川第2火力発電所建設差し止め訴訟など、大型の住民訴訟の弁護団長も務められました。また戦後最大の消費者事件と言われた豊田商事事件の破産管財人に就任され、私はこの事件では全国被害者弁護団の事務局長として、ともに被害者救済に携わりました。いつもは穏やかな先生でしたが、事件に取り組む姿勢には、なかなか厳しいものがありました。大阪市立大学の出身者としてはただ一人、日弁連の会長にも就任され、日弁連の発展にも多大な貢献をされました。

酒が大好きで、豪快な飲みっぷりで酔うと、「おい、相撲を

やろう」と言い出されるというエピソードの持ち主でした。囲碁やゴルフもたしなまれ、50歳から始められたというゴルフも、ご一緒したことがあるのですが、決して無理しない堅実なプレーぶりでした。弁護士としても一人の人間としても、偉大な先輩でした。

(令和2年6月1日ご逝去)

江幡淳子先生を偲んで

小西洋太郎(生院昭50修)



本学元教授の江幡淳子先生が令和2年4月2日、ご自宅で倒れ亡くなられた(死因は虚血性心疾患)。享年89歳。江幡先生は金沢大学理学部化学科をご卒業後、本学大学院家政学研究科修士課程、大学院理学研究科で理学博士の学位を取得された。1963年家政学部食物学科(現生活科学部食品栄養科学科)助手として着任、90年学科内に新しく開設された栄養制御学講座の初代教授に昇任され、95年に定年退職されるまでの30余年にわたり教育と研究に従事され、数多くの優秀な学生を輩出された。

先生が教員として過ごされた60年代～90年代は日本人の食生活がいわゆる欧米化へと大きく変化した時代であり、先生のご研究歴をみてもそれを窺わせる。すなわち、それまでの基礎的なご研究(細胞壁溶解酵素に関する研究など)から、「発ガン過程における野菜の抑制因子の作用機構」を主な研究テーマとされ、食生活の変化に伴って生じるガンなどの疾病予防に関する食品成分の機能性、とりわけ野菜類の摂取の重要性を指摘された。ご定年退職後、「JEF野菜研究所」を主宰されたことから、先生の熱意が伝わってくる。また先生は全国大学女性協会大阪支部長や市大教職員組合委員長を歴任され、それらの経験から自立した女性研究者の社会への参画を強く望んでおられた。

卒業生の話によると、異口同音に研究・教育に情熱を燃やす先生像が浮かんでくるという。例えばお子さんを出産される前日まで低温室で実験され、その研究者魂には驚かされた。また子育て中には、母親としての一般的な関心から、大阪府下の保育園における給食の実態調査をされ、研究の対象を社会に向けられた。一方、学生想いの先生は、学生の実験に夜遅くまで付き合い、研究室で宿泊されたこともあったようだ。

私は81年に本学に奉職して以来、教育者のあり方などについてご助言いただいた。ご退職後、しばしば三国ヶ丘駅でばったりお会いする機会があったが、いつも若々しくお元気な姿を思い出す。先生のご冥福をお祈りいたします。

(令和2年4月2日ご逝去)

謹んでご冥福をお祈りいたします(敬称略)

物故者氏名	学部卒年	逝去月日	物故者氏名	学部卒年	逝去月日
酒井 益夫	高昭16	平成30年12月	杉本 享子	文昭39	平成30年01月18日
山本 登志子	西華昭19		照屋 潔	医昭39	平成29年08月28日
手嶋 祥一	医昭25	令和01年08月28日	中嶋 信悟	商昭40	令和02年07月30日
中島 健造	医昭26	平成30年12月19日	檜本 慶彦	経昭40	令和01年09月05日
梁間 豊	医昭27	平成30年07月	沢田 香奈子	生昭40	
河南 清八郎	医昭27	平成31年04月28日	井上 隆光	商昭42	令和02年02月16日
加柴 良之助	学昭28	令和02年07月10日	一宮 義弘	医昭42	平成31年03月10日
河合 徹子	法昭28	令和02年06月	朝倉 美磨	経Ⅱ昭43	令和02年01月27日
中井 忠臣	医昭28	平成30年03月11日	有本 喬	法Ⅱ昭43	
町田 圭弘	医昭28	平成31年03月31日	森田 洋司	文修昭43	令和01年12月
志方 邦弘	商昭29	令和02年03月06日	東本 照男	商Ⅱ昭44	令和02年05月01日
池田 武	商昭29	令和02年05月28日	原 文男	経昭44	令和02年01月28日
山本 洋	法昭29	令和02年02月13日	殿元 義己	法昭44	平成27年
楠部 治	医昭29	令和01年08月25日	梶 征一	法昭44	令和03年07月11日
中飯 速雄	商昭30	令和02年03月	道端 武彦	文昭44	平成28年
西谷 務	商昭31	令和02年07月	生野 照子	医昭44	令和01年08月09日
江幡 淳子	生修昭31	令和02年04月02日	高橋 仁	商昭45	平成31年04月18日
三邊 信夫	経修昭31	令和01年08月01日	敷島 義雄	法Ⅱ昭45	令和02年05月05日
宇佐美 秀昭	経昭31	令和02年07月02日	長尾 圭造	医昭45	平成30年12月02日
貝田 和男	医昭31	平成30年11月08日	寺田 忠之	医昭45	令和01年11月30日
服部 淳	医昭31	令和01年05月30日	川端 茂樹	経昭46	令和02年07月01日
小野 明德	商昭32		寺沢 明	文昭46	
鬼追 明夫	法Ⅱ昭32	令和02年06月01日	藤井 信一郎	法昭47	平成29年12月11日
壺井 丁美子	文昭32	令和02年04月22日	阪口 徹	商Ⅱ昭48	平成19年05月13日
清水 正和	文昭34	令和02年08月23日	笠原 猛	経昭48	平成30年04月28日
中村 純也	商昭35		藤田 敬之助	医昭48	令和01年11月16日
北村 庄吾	商昭35	令和02年05月22日	高倉 啓	商昭49	平成28年04月11日
近藤 啓太郎	経昭35	平成30年05月04日	森田 俊平	医昭49	令和01年08月22日
三鼓 喜一郎	商昭37	令和01年12月27日	後藤 容子	文昭50	平成28年
村岡 龍馬	経昭37	令和02年05月06日	黒田 祐司	法昭51	
大北 昭	医昭37	令和01年09月01日	佐藤 純市	医昭51	令和01年08月12日
小畑 豊三郎	医昭37	令和01年09月27日	浅井 康友	医昭52	令和01年06月24日
山中 清孝	法昭38	令和01年09月28日	矢野 寛司	医昭52	令和01年06月08日
田辺 隆久	経昭39	平成26年07月	山口 亨一	経昭55	令和02年04月27日
松村 勲	経Ⅱ昭39		石西 賢次	法修平12	令和02年02月11日
田中 隆夫	法Ⅱ昭39		西村 久子	生科卒	

文化交流センター 談話室ご利用のおすすめ(大阪駅前第2ビル6階)

談話室の利用時間は、平日と日曜日の午後1時から午後5時になっております。現在時間を短縮して開館しております。受付担当は、同窓会OBが下記の通り担当しております。

泉 裕 (文昭32卒) 陸上部OB
 佃 貞夫 (法昭34卒) 陸上部OB
 船木弘光 (文昭40卒)

芝野弘之 (工昭44卒)
 梶巻正男 (理昭45卒) 応援団OB
 竹中敏実 (経昭49卒) 陸上部OB

卒業生・旧職員・職員の方ならどなたでも記帳の上、自由にご利用になれます。



会報「有恒」以外にも 情報発信のチャンネルがあります

全学同窓会ホームページ

全学同窓会・各同窓会・大学の行事予定・活動内容及び支部・会員や在学生の動向など最新情報が、全学同窓会ホームページから閲覧できます。全学同窓会HPから、有恒会（文系同窓会）、理学部同窓会、工学部同窓会、医学部同窓会、生活科学部同窓会、よつば会（看護系同窓会）など各同窓会HPへ進むことができます。

大阪市立大学同窓会(全学同窓会) または
<https://www.osaka-cu.net/>まで。



- 五代友厚
- 開高 健
- 新大学関連情報
- 「全学同窓会」活動概要(動画)
- 「全学同窓会」活動報告(定期総会)
- 会員のひろば
- 学生歌・逍遙歌(ダウンロード可)
- メルマガアーカイブ
- 支部だより
- 理・工・医学部同窓会
- 生活科学部同窓会「よつば会」
- 会報アーカイブ

メールマガジン

全学同窓会HPの内容を抜粋したもの、大学広報室提供の最新情報をまとめて、月1回15日に配信中です。メールマガジン配信ご希望の方は、全学同窓会HPトップページの右上欄「メルマガ配信希望」からお申込みください。

フェイスブック／ツイッター

ホームページやメールマガジンだけでなく、日々更新されているフェイスブックやツイッターもやっています。こちらはタイムリーな話題が満載です。検索ワードは、こちらも「大阪市立大学同窓会」です。



フェイスブック
QRコード

物流を通じて豊かな明日に挑戦

株式会社 杉村 倉庫

杉村グループ：杉村運輸株式会社
杉村興産株式会社

本 社：〒552-0013 大阪市港区福崎1丁目1番57号
TEL 06-6571-1221 Fax 06-6574-8595

東京事務所：〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目2番10号
TEL 03-3272-2441 Fax 03-3272-2446

営 業 所：関西圏 4営業所、首都圏 4営業所

ホームページ： <http://www.sugimura-wh.co.jp/>

遺言・相続 借家・ガレージ賃料回収・立退

大小路法律事務所

大阪弁護士会所属

弁護士 保 田 友 久 (法平 20 卒)
 弁護士 保 田 友 大 (法平 21 卒)

〒590-0951
 堺市堺区市之町西 1 丁 2 番 24 号 202 号室
 TEL 072-275-8777 FAX 072-275-8780
 URL : <http://oshoji-law.main.jp/>

美術印刷・企画デザイン・フォト **NP**

ご提案・創造それが私共の商品です。
 Presentation & Creation

株式会社 日本プリンティング

代表取締役 大西基勝 (商昭 52 卒)

〒537-0002
 大阪市東成区深江南2丁目13番17号
 TEL (06) 6981-5566 FAX (06) 6981-5083
<http://www.nihonprinting.co.jp>



各学部同窓会及び 本部事務局のお知らせ

全学同窓会・各同窓会総会(評議員会)等日程

●工学部同窓会(評議員会)

令和3年2月13日(土)／時間・場所詳細未定

文化交流センター談話室(大阪駅前第2ビル6階)が 再開されました

新型コロナの影響により2020年4月から閉鎖されていた文化交流センター談話室が、2020年7月2日から制限付きではありますが再開されました。

開室時間が13時から17時まで、1テーブル当たりの利用者が原則2名(最大4名)までと、まだまだご不便をおかけしますが、皆様のご利用をお待ちしています。

なお、談話室は、本学教職員・本学卒業生と、その同伴者に限り利用できます。(談話室は無料で、予約不要です)。

所在地

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

Coil the World

お客様の安全・安心・感動を、我が社の『信頼』と共に

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
DCダイヤモンド電機株式会社 **ZEBRA 田淵電機株式会社**
 〒532-0026 〒532-0026
 大阪市淀川区塚本1丁目15番27号 大阪市淀川区塚本1丁目15番27号
 TEL: 06-6302-8141 FAX: 06-6302-8145 TEL: 06-6195-5230 FAX: 06-6195-5260
<https://www.diaelec.co.jp/> <http://www.zbr.co.jp/>

One Stop Company

多品種・小口・短納期を核とする鋼材加工製品のワンストップカンパニー

すばる鋼材株式会社

本社 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目4番38号 近鉄新難波ビル11階
 TEL.06-6635-2330(代) FAX.06-6635-2340
 大正倉庫 〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3丁目11番31号
 TEL.06-6552-1427 FAX.06-6552-9902
 関東支店 〒372-0814 群馬県伊勢崎市田中町1059番3号
 阪和興業株式会社北関東支店内
 TEL.0270-61-7901 FAX.0270-61-7904
 九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目19番24号
 大博センタービル4階 阪和興業株式会社九州支社内
 TEL.092-471-7539 FAX.092-471-7019
 URL: <http://www.subarusteel.co.jp> E-mail: info@subarusteel.co.jp

掲載広告一覧

阪和興業(株)	表2
大和ハウス工業(株)	P11
(株)Cominix	P15
小野薬品工業(株)	P17
三重交通グループホールディングス(株)	P19
ツカキグループ	P28
医療法人福寿会	P28
山口法律会計事務所	P32
(株)アシックス	P32
社会医療法人景岳会 南大阪病院	P38
ニシムラ(株)	P40
協和総合法律事務所	P45
(株)iTest	P45
松原法律事務所	P47
森下会計事務所	P48
(株)京都銀行	P49
(株)杉村倉庫	P54
大小路法律事務所	P54
(株)日本プリンティング	P54
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(株)	P55
すばる鋼材(株)	P55
サンクリエイテム工業(株)	P56
(株)ダイセル	表3
(株)阪急交通社	表3
住友ベークライト(株)	表4

会報広告料金表(消費税込み)

全ページ W181×H260(単位:mm)	
記事中(カラー)	180,000円
表4(カラー)	230,000円
表2(カラー)	220,000円
表3(カラー)	200,000円
半ページ W181×H130(単位:mm)	
記事中(カラー)	90,000円
1/4ページ W181×H68・W86×H130(単位:mm)	
記事中(カラー)	50,000円
1/8ページ W86×H68(単位:mm)	
記事中(カラー)	25,000円

※本件についてのお問い合わせ

大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会 広告担当:吉原(商昭49卒)
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 Tel:06-6605-2113 Fax:06-6605-2088

全学同窓会報誌 投稿規定

1. 投稿の種類等 原稿には、執筆者の氏名・学部・卒業年次、住所を明記して投稿をお願いします。

種類	説明やお願い等	字数
1 論壇・随想	「表題」は付けて下さい。(関連及び顔写真)	1,200字以内
2 同窓短信	近況や思い出など。(顔写真)	400字以内
3 支部だより	支部関係の活動や諸行事。(関連写真)	400字以内
4 会員の広場	同期会、ゼミ研究科OBOG会、クラブOBOG会、同好会等の諸行事。(関連写真)	400字以内
5 図書紹介	原則、会員および大学関係者に限ります。紹介する図書1部のご提供をお願いします。	400字以内
6 追悼のことば	故人の思い出など。(故人の顔写真)	400字以内
7 読者の声・作品	読者のご意見・読者の作品(絵画・写真・書・俳句・アート等)。(顔写真)	400字以内

※「図書紹介」を除き、原稿には原則として写真の添付をお願いします。

2. 原稿と写真等の採否および加筆・修正・削除など

- (1)原稿および写真等は、編集委員会に一任をお願いします。
- (2)原稿の字数は厳守をお願いします。オーバーした場合は、削除する場合があります。
なお、支部だより、会員のひろばへの投稿はHPIにて全文掲載します。

3. 原稿の作成、提供と掲載について

- (1)原稿及び写真は出来る限りメールにてお願いします。
写真ファイル(.jpg)をメール添付にて送信してください。
- (2)個人情報保護のため、詳細な住所は同窓会報誌に掲載しません。
- (3)参加者(「支部だより」と「会員の広場」)の「氏名・学部・卒業年次」はスペースの関係で同窓会報誌には代表者のみ掲載し、全員の情報はHPIにて掲載します。

4. 原稿の締め切り

- (1)1月発行・・・9月末日締め切り
- (2)7月発行・・・3月末日締め切り

5. 投稿方法と投稿先

- (1)メールアドレス
kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp (会報誌専用)
- (2)郵便
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学内 田中記念館3階
大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会宛

編集後記

新大学の名前と学長が決まり、早速インタビューをさせていただきました。辰巳砂氏は気さくな性格で、新しい大学の将来に真摯に情熱を持って立ち向かわれるという姿勢に共感を覚えました。同窓会としても新大学への全面協力と共に、卒業生を円滑に受け入れられるように、両大学同窓会及び支部同窓会と協調を取っていきたいと考えています。

令和2年はコロナに明け暮れ、社会全体が未曾有の変革を迫られた1年となりました。当初は大学140周年、同窓会130周年を記念し様々な企画がありましたが、ほとんど中止となり、その分、遠隔授業やリモート会議が定着、大声を出さない、マスク着用、他人と距離を取るなどの新生活様式が定着してきた模様。今年はウィズコロナで新しい価値観のもと、様々な場所で活躍されている同窓生の紹介や新大学の開学状況を引き続き掲載していきたいと考えていますので、ご愛読宜しくお願いします。(編集人)

お詫びと訂正

前号にて下記の間違ひがありました。お詫びして訂正いたします。

- 支部だより:「埼玉支部が新しく設立されました」
林氏の卒業学部(商昭35卒)→(経昭35卒)
- 事務局のお知らせ「医学部同窓会の日程」
令和2年6月13日(土)→令和2年6月20日(土)
- 支部だより:支部連絡先一覧 台湾支部
田村圭介氏の卒部卒年(商昭61)→(商昭62)

編集委員 (〇印編集責任者)

奥山正昭 (経昭44卒)	吉原純一 (商昭49卒)	世瀬義久 (経昭53卒)
〇小林俊介 (法昭44卒)	竹中敏実 (経昭49卒)	村上芳子 (商昭58卒)
田中祐尾 (医昭44卒)	谷口美樹子 (生昭50卒)	辻野美由紀 (看院平22修)
曾我部健 (理昭45卒)	藤山純一 (法昭51卒)	中村祐子 (文平27卒)
山本 孝 (工昭45卒)	亀梨祐司 (商昭52卒)	安藤根八 (創院平30修)
野田忠男 (工昭45卒)	上村修三 (商昭53卒)	



『新・空間時代』へ

Sun Create System

サンクリエイテム工業株式会社

代表取締役 **矢野 憲 治** (法S46卒)

〒299-0101 千葉県市原市青柳北4-2-5
TEL. 0436-98-3777 FAX. 0436-98-3888
携帯電話:090-3314-8399 mail: yano@suncrtem.co.jp

発行 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3-138 大阪市立大学内 大阪市立大学同窓会 電話 06(6605)2113

制作・印刷: 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目13-17 株式会社日本プリンティング

DAICEL

化学で
未来を
変えるの

ダイセル

株式会社 **ダイセル**

大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB TEL06-7639-7171
東京本社 〒108-8230 東京都港区港南 2-18-1 JR品川イーストビル TEL03-6711-8111

人と世界をつなぎ
新たな価値を創ります

詳細はこちらから
アクセス！



阪急交通社グループの多彩なサービス

国内旅行	海外旅行	団体旅行	物品販売	個人旅行
ビジネス渡航	地域交流	訪日旅行	送迎サービス	教育旅行



心に届く旅

阪急交通社

Direct to your heart



阪急交通社は阪急阪神東宝グループの一員です

うれしさ創造カンパニー
サステイナブルな社会の実現を目指します

環境と調和、社会との共存を目指して
提供するうれしさのかたち



プラスチックのパイオニア

 **住友ベークライト株式会社**

<http://www.sumibe.co.jp>

本社:〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル TEL.03-5462-4111